博士学位論文

二字漢字語のデータベースによる動詞化と形容詞化の日韓対照研究

名古屋大学大学院国際言語文化研究科

日本言語文化専攻

朴　善　婤

平成２６年３月

目　　次

第 1 章　序

1.1.　研究動機----------1

1.2.　研究背景----------2

1.2.1.　漢字文化の韓国----------2

1.2.2.　韓国における漢字の使用----------3

1.3.　本研究の目的および研究意義----------5

1.4.　研究範囲および論文の構成----------7

1.4.1.　品詞性の問題----------7

1.4.2.　態の問題----------7

1.4.3.　研接尾辞の付加の問題----------8

1.4.4.　論文の構成----------10

第 2 章　韓国語の漢字語の検討

2.1.　はじめに----------12

2.2.　韓国語における漢字語----------13

2.2.1.　韓国語の漢字語の起源----------13

2.2.2.　韓国における漢字語使用の背景----------16

2.2.2.1.　個人名・地名および職名----------17

2.2.2.2.　高使用頻度の漢字語および同音異義語----------18

2.2.2.3.　学校教育における専門用語および新聞・専門書籍などの書物----------19

2.2.2.4.　敬語・造語・縮約語----------21

2.2.3.　漢字語の語彙的特徴----------24

2.3.　語根としての２字漢字語に付加する語尾----------25

2.3.1.　２字漢字語における語根(root)の機制----------25

2.3.2.　２字漢字語の動詞性および形容詞性に関する問題----------29

2.3.3.　接尾辞に関する問題----------30

2.4.　おわりに----------31

第３章　２字漢字語の語彙性アスペクト

3.1.　韓国語の語彙性アスペクトによる予測----------32

3.2.　語彙性アスペクトの先行研究----------35

3.3.　高頻度の２字漢字語 2,000 語の抽出----------36

3.4.　韓国語の漢字語語彙性アスペクトの判定基準----------37

3.4.1.「開始」のアスペクト判断基準----------37

3.4.2.「継続」のアスペクト判断基準----------37

3.4.3.「終結」のアスペクト判断基準----------38

3.4.4.「状態」のアスペクト判断基準----------38

3.5.　データ入力と信頼性----------39

3.5.1.　*-hada* 付加の辞書記述と韓国語母語話者の判定の信頼性----------39

3.5.2.　使用頻度と語彙性アスペクトの判定と信頼性----------40

3.6.　分析および分析結果と考察----------42

3.6.1.　二項ロジスティック回帰分析----------42

3.6.2.　*-hada* 付加による動詞の予測----------42

3.6.3.　*-hada* 付加による形容詞の予測----------46

3.6.4.　動詞化および形容詞化と「状態」のアスペクトの関係----------49

3.7.　考察----------49

3.8.　おわりに----------51

第 4 章　2 字漢字語の形態面からの対照

4.1.　はじめに----------53

4.2.　日韓両言語における類似した漢字語----------54

4.3.　先行研究----------58

4.3.1.　２字漢字語の品詞性----------58

4.3.1.1.　動詞性の漢字語----------58

4.3.1.2.　形容詞性の漢字語----------60

4.3.1.3.　「-的」が付加される漢字語----------61

4.3.2.　日韓漢字語における品詞性による相違----------62

4.3.3.　日韓自他動詞の語尾形態の相違----------64

4.4.　研究方法－日韓漢字語基本資料の作成－----------65

4.4.1.　調査対象語の抽出手順----------65

4.4.2.　日韓２字漢字語の集計結果----------67

4.4.2.1.　日韓に共通する２字漢字 1,872 語の集計結果----------67

4.4.2.2.　語尾項目別の語数の集計結果----------68

4.4.3.　日韓両言語における品詞が相違する２字漢字語----------72

4.4.3.1.　語尾にずれがある語----------72

4.4.3.2.　韓国語に存在しない漢字語----------74

4.5.　調査の結果および考察－日本語教育への提案－----------75

4.6.　おわりに----------78

第５章　日韓２字漢字語データベースの作成

5.1.　はじめに----------79

5.2.　データベースの構成および調査項目----------79

5.2.1.　データベースの構成----------79

5.2.2.　データの調査項目----------80

5.2.2.1.　日本語における調査項目----------81

5.2.2.2.　韓国語における調査項目----------82

5.2.2.3.　日本語と韓国語の共通の調査項目の「-的」----------82

5.3.　データベース「資料Ｉ」の作成過程および結果----------83

5.3.1.　「「資料Ｉ」日本語２字漢字語 2,060 語」の作業過程----------83

5.3.1.1.　「資料Ｉ」の趣旨および内容----------83

5.3.1.2.　「資料Ｉ」作成における参照資料----------84

5.3.1.3.　「資料Ｉ」の作業手順----------85

5.3.2.　「資料Ｉ」のデータ作成結果----------86

5.3.2.1.　「資料Ｉ」の作成における集計結果----------86

5.3.2.2.　「資料Ｉ」の各シートの内容の検討----------87

5.3.2.3.　「資料Ｉ」の作成における問題点およびまとめ----------98

5.4.　データベース「資料Ⅱ」の作成過程および結果----------99

5.4.1.　「「資料Ⅱ」日韓同形２字漢字語 3,419 語」の作成過程----------99

5.4.1.1.　「資料Ⅱ」の趣旨および内容----------99

5.4.1.2.　「資料Ⅱ」の作成における参照資料----------100

5.4.1.3.　「資料Ⅱ」の作業手順----------101

5.4.2.　「資料Ⅱ」のデータ作成結果----------102

5.4.2.1. 「資料Ⅱ」の作成における集計結果----------102
5.4.2.2. 「資料Ⅱ」の各シートの内容の検討----------102
5.4.2.3. 「資料Ⅱ」の作成における問題点およびまとめ----------108
5.5. データベース「資料Ⅲ」の作成過程および結果----------110
5.5.1. 「「資料Ⅲ」韓国語２字漢字語 2,000 語」の作成過程----------110
5.5.1.1. 「資料Ⅲ」の趣旨および内容----------110
5.5.1.2. 「資料Ⅲ」作成における参照資料----------111
5.5.1.3. 「資料Ⅲ」の作業手順----------112
5.5.2. 「資料Ⅲ」のデータ作成結果----------113
5.5.2.1. 「資料Ⅲ」の作成における集計結果----------113
5.5.2.2. 「資料Ⅲ」の各シートの内容の検討----------113
5.5.2.3. 「資料Ⅲ」の作成における問題点およびまとめ----------122
5.6. おわりに----------123

第 6 章　総括

6.1. まとめ----------125
6.2. 総考および今後の課題----------130
6.2.1. 総察----------130
6.2.2. 今後の課題----------132

引用文献----------135

参照資料----------142

図表一覧

【図　覧】

図 1. 日韓自他動詞の語尾対応関係----------64
図 2. 1,872 語に対し、両言語間の動詞化および形容詞化する語尾のずれ----------93
図 3. 「資料Ｉ」の 1,872 語のうち、日本語と韓国語の形容詞の語数----------128

【表　覧】

第１章

表 1. 韓国における漢字語の起源的な系譜----------14
表 2. 造語と縮約語の例----------23

第２章

表 3. 日本語と韓国語の連体形の対照----------28

第３章

表 4. 「基本資料語」の上位 20 語の２字漢字語のアスペクト判定の例----------41
表 5. *-hada* が付加され動詞になる漢字語についての４種類のアスペクトの頻度-------43
表 6. *-hada* 付加(Y)による動詞の４種類のアスペクト(Xn)で予測する二項ロジスティック回帰分析の結果----------44
表 7. *-hada* が付加され形容詞になる漢字語についての４種類のアスペクトの頻度----46
表 8. *-hada* 付加(Y)による形容詞の４種類のアスペクト(Xn)で予測する二項ロジスティック回帰分析の結果----------48

第４章

表 9. 日韓共通した２字漢字語----------55
表 10. 日韓相違の２字漢字語----------56
表 11. 日本語と韓国語の２字漢字語の品詞入力の例----------66
表 12. 日韓の動詞および形容詞の比率----------67

表 13. 日本語のクロス集計表----------69
表 14. 韓国語のクロス集計表----------70
表 15. 日韓漢字語間に相違する内容による語の集計----------73
表 16. 日本語のみに存在する漢字語のうち、動詞化が可能な漢字語----------74

第 5 章

表 17. 「資料Ｉ」の２字漢字語の集計表----------86
表 18. 「資料Ｉ」〔シート１〕の一例----------87
表 19. 「資料Ｉ」〔シート２〕の一例----------88
表 20. 「資料Ｉ」〔シート３〕の一例----------90
表 21. 韓国語には無い２字漢字語に付加される語尾の集計 ----------91
表 22. 日韓漢字語における*-hada* と*-suru* のズレ①----------92
表 23. 日韓漢字語における*-hada* と*-suru* のズレ②----------92
表 24. 「資料Ｉ」〔シート５〕の一例----------94
表 25. 196 語のうち「-的」が付加される語として、形容詞の語尾の可否----------95
表 26. 形容詞の語尾が付かず「-的」が付加する漢字語----------96
表 27. 「資料Ⅱ」の日韓同形２字漢字語の集計表----------102
表 28. 辞書上の見出し語として記載されず、BCCWJ の例文数が 400 文以上の漢字語 ----------104
表 29. 辞書上の見出し語として記載され、BCCWJ の例文数が 50 文未満の２字漢字語 ----------105
表 30. １級語彙のうち２字漢字語に付加される語尾の語数----------106
表 31. 日本語独自の２字漢字語数----------108
表 32.「資料Ⅲ」における日韓同形２字漢字語の集計の割合----------113
表 33. 高使用頻度 2,000 のうち、上位 20 までの漢字語の例----------114
表 34. 韓国語における高使用頻度 2,000 語に付加される語尾の集計表----------115
表 35. 「資料Ⅲ」〔シート２〕の一例----------117
表 36. 「資料Ⅲ」〔シート３〕の一例----------118
表 37. 1,930 語のうち、動詞や形容詞の語尾が付加される語数の集計----------119
表 38. 日本語に無い韓国語の２字漢字語の上位 20 位----------121

「資料」一覧

資料編----------143

【「資料Ⅰ」日本語の２字漢字語 2,060 語 】----------144
〔シート１〕2,060 語の日本語辞書調査----------145
〔シート２〕1,872 語の日韓同形２字漢字語----------150
〔シート３〕韓国語に無い漢字語 188 語----------155
〔シート４〕日韓同形語の割合----------159
〔シート５〕日韓一致する形容詞----------163

【「資料Ⅱ」日韓２字漢字語 3,419 語 】----------164
〔シート１〕『旧試験』日本語２字漢字語 3,698 語----------165
〔シート２〕日韓共通２字漢字語 3,419 語----------170
〔シート３〕韓国語に無い 279 語----------175

【「資料Ⅲ」韓国語２字漢字語 2,000 語】 ----------177
〔シート１〕韓国語の高使用頻度 2,000 語----------178
〔シート２〕韓国語母語話者判定と辞書記述----------183
〔シート３〕両言語の共通する漢字語 1,930 語----------188
〔シート４〕日本語に無い漢字語 70 語----------192

第１章

序

1.1.研究動機

日本語と韓国語は語順が、主語・目的語・動詞（SOV）で同じであり、文構造および語彙体系がよく似ている。また漢字と固有字を併用するという点で、非常に類似した言語だと言われている（李于錫, 2002）。こうした背景のおかげで、韓国人日本語学習者にとって、他の言語話者と比べて、日本語は習得が容易な言語であると考えられる。これらの類似点の中で、特に日本語と韓国語に存在している漢字語は、音韻的・意味的な点で語彙的特徴が非常に類似している。しかし、このような母語からの影響が原因で、漢字語の使用に誤用が起きることが多い。守屋（1996）では、韓国語との日本語の言語干渉について調査を行っており、「学生時節」（→学生時代）、「俗談」（→ことわざ）「所望」（→希望）のような漢字語使用の語彙面における誤用が指摘されている。また、櫻井他（2005）では、日本語の学習において語彙の選択において、「私の悩み」の意味で「私の問題」と表現するなど文脈に合わない誤用があると指摘し、むしろ両言語の類似性が適切な漢字語語彙の選択を妨げている要素となり誤用が起きることもあると述べている。

漢字語は、韓国語の語彙全体の 69%を占める[1]。しかし、現在、韓国では、日常生活で韓国の固有の音表文字であるハングルを使っている。そのため、韓国人にとって漢字の書字的な認識は薄い。一方、日本語は、固有の表音文字である仮名を持ちながら、漢字も併用している。そのため、韓国語の語彙の半数が漢字語であることを自覚していない韓国人でも、日本語の学習を始めることで、韓国語の語彙の多くが漢字語であることに気づく。それは、日

[1] 語種の割合は、辞書によって異なる。約 40 万語の現代韓国語を収録している『国語大辞典』の語彙比率では、固有語が 25.90%、漢字語が 67.02%[1]、外来語は 7.08%である（李鷹百，1980）。

本語の漢字学習を通して、音読みの部分が韓国語の漢字語の音韻的な部分と共通性があり、韓国語の漢字に変換できる語彙が多数あることを意識するようになるからだと予想される。

日韓両言語は、漢字語の動詞化や形容詞化においても、語彙的特徴で類似している。しかしながら、日韓両言語が類似しているだけに、むしろ微妙な漢字語の意味や統語的な使用の違いに気づかず、韓国語での漢字語の意味・統語的使用をそのまま日本語の漢字語にも適用してしまう傾向がある。この傾向は漢字語使用における化石化を生み、超上級レベルの日本語学習者でも、なかなか誤りから逃れられない。そこで、本研究では、両言語における漢字語の違いを明らかするために、漢字語の動詞化や形容詞化に焦点を絞って、データベースを作成して、類似点と相違点を検討することにした。

1.2. 研究背景

1.2.1. 漢字文化圏の韓国

韓国は、漢字文化圏と言われているものの、表音文字であるハングルをすべての語彙に当てて使っている。漢字が使用されるのは、同音異義語である場合に、意味を明確にする必要がある場合は、括弧を付け漢字を併記する程度である。もちろん、文脈によって大体意味が把握できるため、漢字が併記されることは稀である。

李漢燮（2005）は、漢字語の使用状況を把握するために、1993 年度と 2005 年度の新聞で使われた漢字の使用調査を行ったところ、12 年の間に新聞での漢字の使用率が減っていることが分かった。また、同研究は、大学生に対して、漢字に関する意識調査を行った結果、

調査に参加した大学生の約５割強が実際の生活で漢字を使っていると答えており、多くの大学生が漢字教育の必要性を認めている。

その一方で、韓国の漢字背景が把握されていないある日本語教育の現場では、韓国人学習者に対して非漢字圏学習者と同じ方法で漢字を教える場面も見られる。非漢字圏学習者に対する漢字教育のアプローチには、様々な方法があるが、漢字の視覚的な提示を重視するため連想法やストーリー関連法を使う場合がある。その際、漢字の書き方の導入では、一文字ずつ行い、絵やイラストなどを使って漢字の成立を説明することから始めることが多い。韓国人日本語学習者は、韓国で中学校や高校ですでに漢文の教科書で漢字に接している[2]ため、漢字に関する認識をある程度持っている。そのため、このような方法は、韓国人日本語学習者においては、むしろ非効率的であると考えられる。

1.2.2.　韓国における漢字の使用

漢字語は漢字を基盤として作られた言葉である（朴兼喆，1994）。韓国内では、漢字は、日常生活では使用されないにもかかわらず、多様な漢字の検定試験があり、漢字教育を行っている小学校もある。

1970 年代になってから、「ハングル専用」の政策が導入され、韓国の生活の中から漢字が急激に減り始めた。韓国の言語生活を反映していることに関し、志部（1987：85）は、特に 1945 年以後の状況について、「解放後の漢字使用の状況は南北朝鮮で様相を異にするが、北（「北朝鮮」を指す）では 1949 年以後漢字が全廃されハングル専用となる。南（「韓国」を

[2] 学校教育を受けた世代によるが、現在の漢字教育は学校の選択に任されているため、出身校によって漢字の既有知識は異なる。

指す）では、民族主義に支えられたハングル専用論と漢字復活論の間を言語政策が揺れ動きつつ現在に至るが、1970 年代のハングル専用政策の残した影響は大きく若い世代では、高等教育を受けたものでさえ漢字運用能力は非常に低い」と述べている。当該の論文が出されたのが 1987 年のことで、いまから 25 年以上前のことではあるが、「ハングル専用論」と「漢字復活論」の間の文字に関連する論争は、いまだ続いている。

1980・90 年代には、新聞・雑誌・専門書籍・単行本などでも、全てハングルで表記したものが一般的にみられるようになってきた。さらに、漢字表記をせずハングル使用だけを主張した新聞が発行されてからは、漢字という文字はより遠い存在になった。このような社会の風潮は学校教育にも反映され、1990 年後半には、「漢文[3]」の教科が選択教科になり、漢字を教えない学校も現れた。この影響で、90 年代後半に中学・高校の時期を過ごした韓国人日本語学習者には、漢字を学校で勉強した経験が無い者が多くいる。2000 年度以後からは、漢字や漢文を教え始める高校も現れたが、全て学校の選択事項になっている。このように、韓国人の中でも、学校教育の事情によって漢字の認識の度合いが異なっているというのが現状である。

今日の韓国の漢字教育は、国語の中では、四字熟語や２字熟語など日常生活でよく使われている語を、基本的にはハングルで表記し、漢字表記は括弧付きで導入している。また、「漢文」の教科を通して中国や韓国の古代の詩を習う科目で漢字を導入し、教えている。

韓国政府の教育政策が変わるにつれ、学校によって漢字教育を実施するかどうかという漢字教育の受け入れ方が異なる。同じ世代でも出身の学校によって、日本語を学ぶ韓国人の間にも、漢字を教わったか教わっていないかという漢字の学習経歴に差が生じた。韓国の漢

[3] 現在、韓国では、「国語」ではなく「漢文」の教科目で漢字を教えている。

字教育の状況は変化が激しく、学校教育の中でも漢字教育の位置づけが定まらないまま、現在に至っている。しかし近年、学校の国語教育の中でも漢字語の教育が強調され始めている。これは、学校の漢字教育という形で指導するというよりも、これらが言語生活に密接な関係を保たれており、教科書の内容の大半が漢字語になっているため、より深い文章理解を促進することが目的であろうと考えられる。

韓国における漢字使用に関する政策の背景をまとめると、1950 年代には漢字教育における韓国の政策に大きなゆれが続き、1960・70 年代には混乱が激しかった。それが 1980・90 年代には、基本的にハングルを専用するという韓国の政策が定着したが、現在も漢字を混用すべきであるという議論は続いている。

現在の韓国の文字を取り巻く環境を見ると、漢字書字の意識が希薄化していることは確かである。しかし、上述した韓国の漢字文化や教育の背景を持っている韓国語母語話者は、日本語を学習するに当たって漢字語を再認識する上で、日本語の学習が一つの起爆剤となる可能性があることも考えられる。

1.3.本研究の目的および研究意義

日本語と韓国語の間には多くの言語的な類似点や相違点が存在している。しかし、これらの類似点や相違点に関しては部分的に紹介されていることが多い。特に、相違する語彙面においては韓国人のいくつかの誤用の事例を挙げるだけのことが多く、一部の誤用が紹介されるのみである。また、韓国人日本語学習者の中でも、漢字の書字知識がほとんどない学習者の場合は、漢字語は日本語の語彙として捉え、韓国語という認識はほとんどしていないこ

とから、漢字語の品詞や活用などの語彙的特徴に悩むかもしれない。このように、日本語を学習する上において、漢字語の語彙的特徴を示した具体的な資料や日韓の相違が参照可能なものとしての包括的な情報が提供されなくてはならない。しかし、実際には、学習者向けの実用的な資料を入手することは、なかなか容易なことではない。そこで、日本語と韓国語の語彙的特徴を比較対照したデータベースの必要性が求められる。

本研究では、韓国語に内在している漢字語の語彙的特徴を明らかにし、日本語と韓国語に存在している２字からなる漢字語を比較対照する。両言語の漢字語を比較対照の立場から検討し、学習に有効なデータベースを作ることを目的とする。

本研究において、日韓２字漢字語のデータベースを作成する意義として、韓国では漢字の使用がなく、韓国の国内での日本語教育においても、漢字や漢字語の指導はほとんど行われていない現状での活用が挙げられる。本研究で作成したデータベースは、日韓両言語の２字漢字語に付加する語尾の統語的形態に着目し、その類似点や相違点が明確に分かるように提示したものである。このデータベースの作成は、両言語の学習者にとっては運用における有効な資料となり、また教授する上においては、語彙指導の土台となる資料として活用できる。韓国語母語話者、あるいは日本語母語話者の教師どちらにとっても、韓国人日本語学習者を教える現場での漢字語の指導において、参考にすることができる資料になることに意義があると言えよう。

1.4.　研究範囲および論文の構成

本研究で対象とした項目は、日本語と韓国語の２字漢字語であり、両言語における形態的な漢字語の問題に重点をおいて、次の三つの問題に関して検討した。

1.4.1. 品詞性の問題

守屋（1996）では、韓国人日本語学習者にみられる文法項目の誤用のうち、「*快適した」「*貧乏して」のような品詞性における問題として、動詞化および形容詞化にすることを注意する必要があると述べている。「鬱蒼とした」のように、日本語ではサ変動詞にも形容動詞にもならず､名詞としてのみ使用する漢字語があることも指示しておくべきことが指摘されているが､本研究においては､２字からなる漢字語を､動詞および形容詞として使う際に、特定の語尾が付く漢字語を対象とする。これらは、動詞になる場合は「*-suru*：*-hada*」というように語尾が対応している。一方、形容詞[4]の場合は「*-da*：*-hada*」のような対応関係を保持し、形式だけでは「*-hada*」が「*-suru*」にも対応し「*-da*」にも対応しているように見える。しかし、韓国語での漢字語の用言としての語尾は、基本形の場合、動詞も形容詞も同じであるため、これが日本語学習の上での品詞における誤用の原因ともなる。

1.4.2. 態の問題

[4] 日本語においては、「形容動詞」または「ナ形容詞」に相当する。本論では、両言語を共に示す際は、便宜的に「形容詞」と呼ぶことにする。

澤邉他（2008）では、韓国人日本語学習者に対する質問紙調査から、最も困難なのは-하다(*-hada*)，-되다(*-doeda*)の漢語動詞であると報告されている。調査の結果では「*持続される」の誤用が最も多く、「*安定される」については、教師から一度注意されたことがあり、意識していたというインタビューの結果から、これらの日韓対応については、学習者が『気づき』を持つことが重要であると述べられている。

日本語の能動態の*-suru* に対し、韓国語では*-hada* が対応し、日本語の受動態の*-sareru* に対しては、韓国語では*-doeda* が対応している。しかし、これらの対応関係は常に保持されているわけではなく、非対応の関係の漢字語もある。例えば、日本語では*-suru* が付加される漢字語に対し、韓国語では*-doeda* を付加するため、態における対応関係は崩れてしまい、学習者の使用において誤用が見られる傾向がある。

1.4.3. 接尾辞の付加の問題

韓先熙（2003）では，韓国語母語話者が漢字語に「-的」を付加するに当たって、韓国語では付加しない「徹底」と日本語で付加しない「必至」を挙げて、結合する語と結合しない語が韓国語と異なるために､学習者の文章の中に誤用が生じてしまうことがと述べられている。

形容詞的な性質を持つ接尾辞である「-的」は、日本語でも韓国語でも付加可能な漢字として、両言語ともに漢字語に付加され高使用頻度で使われている。ただし日韓同形語間において、「-的」の付加可能な漢字語にはずれが存在している。これらは、同形漢字語であっても両言語間における漢字語の意味範囲が異なるからのではないかと考えられる。

韓国語では、漢字１字からなる語は極少なく、一般的には漢字２字の構成になって初めて語になる資格が得られる（金倉燮，2008）。本研究では、このような２字からなる漢字語の特徴を多角的な視点から検討を行い、日本語との比較対照を通して計量的に分析を行った。それにより両言語の学習者が双方の漢字語を有効に学習できるような資料を作成することが期待できる。

ここで、本研究を進めるにおいて、日韓漢字語を対照するために、本研究では次の２点を整理しておきたい。

まず１点目は、本研究において対象とした漢字語についてである。日本語の対象とする２字漢字語は、『（旧）日本語能力試験出題基準』の語彙から抽出したものであり、韓国語は、韓国語の中でも使用頻度が高い２字漢字語の上位 2,000 語を韓国語の均衡コーパス『21 世紀世宗計画』から抽出し、これらを対象とした。このように日本語の場合、『日本語能力試験出題基準』の語彙の中から、２字漢字語に限り抽出したのは、２字漢字語は両言語ともに、占有率、使用頻度が高く、２字漢字語の生産的な造語力が非常に類似している点が特徴であるからである。これらの２字漢字語は両言語の学習において、最も基本的な語彙に相当すると考えられる。

２点目に、日韓両言語の２字漢字語の語型形式を比較対照することである。これらの漢字語の語形式の対照のために、品詞性や態、接尾辞「-的」の付加および非付加などの語尾を検討する。日本語と韓国語の間で、共通する統語的な語構成構造の一つが、名詞である２字漢字語に用言の役割を果たす語尾をつけることによって、動詞または形容詞になる構造である。例えば、日本語の名詞「感動」に*-suru* を付け「感動する」という動詞になる。このよ

うに日本語と同じく名詞の漢字語に*-suru* に相当する語尾が付加することによって、動詞になる構造が韓国語にもある。これが、「-하다/*-hada*/」である。日本語と同様に、名詞の「感動［감동/ *gamdong*/ ］」に用言の語尾の*-hada* を付けることで、「感動 *hada*［감동하다/ *gamdonghada* /］」という動詞になる。これらの「感動 *suru*」や「感動 *hada*」は意味も同じであり、使い方も同一である。しかし、このように日本語と韓国語の漢字語で、同形語が常に対応関係にあるわけではない。「工夫」のように同形であっても意味が異なる同形異義語の漢字語や、「清掃」のように同形であるが意味領域が異なる同形類義語など様々な相違点を持っている漢字語が数多くある。本研究では、日本語の学習において基本となる２字漢字語と使用頻度が高い韓国語の２字漢字語を対象とする。

1.4.4. 論文の構成

本論文の構成は、次のとおりである。

第１章では、研究の背景や目的、本論文の構成について述べ、韓国の国語内の漢字語が使われている背景を述べた。現在韓国では、日常生活では漢字が使われていないため、韓国は漢字圏ではないと言われている。しかし、韓国語に内在している韓国の漢字文化の背景を第１章で述べ、本研究における日韓対照研究の位置づけを確認した。

第２章では、韓国語において漢字語の位相や漢字語の起源を紹介し、韓国語における漢字語の語彙的特徴に関する先行研究を概観する。それにより、韓国語において漢字語が固有語との結合し、運用される語構成が明らかになる。

第３章では、両言語で高使用頻度の２字漢字 2,000 語に対し、動詞あるいは形容詞となる

語彙性アスペクト特性の検討について述べている。日本語の漢字語に関しては松岡（2005）、松岡他（2009）を参考にし、韓国語の漢字語に関しては、本研究で行った調査の結果を報告する。韓国語の均衡コーパス『21 世紀 世宗計画』から抽出した漢字２字で構成される 2,000 語の高頻度語を対象に、動詞化または形容詞化を予測した。予測に使用した変数は、４つの語彙性アスペクト、「開始」・「継続」・「終結」・「状態」とコーパスでの出現頻度を合わせて５つである。このように、韓国語内の２字からなる漢字語に内在しているアスペクト性を検討することで、日韓両言語において、漢字語の品詞別分類がどうなるかを検討する。

第４章では、日本語と韓国語に存在する２字漢字語に付加する語尾による相違を中心に、計量的に検討した結果を述べる。本研究の調査において対象とした２字漢字語の語数は 2,060 語で、そのうち 1,872 語が日韓同形語であった。これらの 2,060 語を対象とし、日韓間における２字漢字語の形態的類似性と相違性を、品詞別語尾の日韓比較を通して計量的に検討する。さらに、韓国人日本語学習者への漢字語の学習案を提示する。

第５章では、本研究で作成した３つのデータベース、「日本語の漢字語 2,060 語」「日韓２字漢字語 3,419 語」「韓国語の高使用頻度２字漢字語 2,000 語」の内容やデータ作成について述べる。

第６章では、最後に本研究で行った日韓２字漢字語の比較対照を通じて作成したデータベースの活用案や指導案を提唱した。

第 2 章

韓国語の漢字語の検討

2.1.　はじめに

本研究では、日本語と韓国語における２字漢字語の統語的･形態的特徴を検討するために、比較対照という方法を大きな枠として用いる。韓国語母語話者の日本語学習において、学習者に作用している母語の漢字文化の影響については第１章で述べた。1 章に記述したように、韓国の現世代の人たちは、漢字文化圏としての背景を持ちながら韓国の固有文字のハングルを使っている。しかし、韓国人日本語学習者のほとんどは自国語に存在する漢字語を自覚できていないことが多い。彼らは日本語学習をきっかけとして、韓国語に存在している漢字語を認識するようになることもある。このように、韓国人日本語学習者は韓国語の中に潜在している漢字語を認識し、それらを日本語の漢字語と照らし合わせることで、韓国語母語話者の日本語の漢字語学習における有効な学習方法が明らかになると考えられる。また、日韓両言語の漢字語の比較対照を通して、漢字語に関する韓国語母語話者の正の転移や負の転移の背景がより明確になると考えられる。日韓対照研究においては様々な研究がされているものの、語彙に絞った研究はそれほど多くない（梅田，2004）。その多くない語彙研究の中でも、油谷（1990，2002，2007）、梅田（1986，1991，2004）が挙げられる。ただし、これらの論文では、日本語と韓国語の語彙の全般に関わる相違点や学習者の誤用を中心に述べられている。例えば、油谷（2002）では、日本の小説を韓国語訳にした際に出現した韓国語の語彙の誤用を分析している。小説の訳における誤用は、学習者の誤用とは異なり多彩な文体による様々な語彙分野の音韻的・意味的な誤用について幅広く扱っている。さらに語彙の文化的な差による誤用や文の構造にかかわる助詞の誤用も検討され、日本語と韓国語の相違点が明ら

かになっている。また同研究では、母語による干渉については母語と対象言語を知っていればある程度予測がつき、双方の言語能力が威力を発揮すると述べられている。このように、日本語と韓国語の語彙、その中でも類似性が高い２字漢字語を比較対照することにより、双方の漢字語の特徴が明らかになり、漢字語の存在の有無や類似点および相違点を明確にすることができると考えられる。

そこで本章では、日韓対照研究の観点から、韓国語の漢字語に焦点を絞り、漢字語の起源を含め、漢字語の語彙的な特徴および形態統語的に考察を行った先行研究を概観する。

2.2.　韓国語における漢字語

2.2.1.　韓国語の漢字語の起源

韓国語と日本語の漢字語が音韻的・意味的によく似ているのは、日本で発生した漢字語が韓国に伝わり、その語が現在でも使われているためである。李漢燮（1993）は、「現代韓国語においてはっきりは分からないが、多くの日本製漢語[5]がある」と述べている。同研究では、『日本語教育基本語彙』の中で日本製漢語を抽出した結果 786 語であった。この 786 語のうち韓国語と語形が一致するのは 687 語で、一致率は 88.68%であると述べている。しかし、その 88.68%の一致率を見せている漢字語の起源については今のところは明確ではないと述べている。類推できる経路としては、中国から同じ漢字語が韓国と日本に伝わり現在まで使い続けてきたという経路と、日本で作られ韓国へ伝わってきた経路、古代の韓国から日

[5] 李漢燮（1993）では、「漢語」という用語を使用しており、これは本研究で扱っている 2 字漢字語の意味と同一である。

本へ伝わった経路という３つの方法が考えられるという。当然ながら、これらの３つの経路は、通時的な交流過程を通して、88.68%という高い一致率の結果が出たと考えられる。

漢字語の起源的な系譜をみると、中国を起源とする漢字語、日本を起源とする漢字語、また韓国独自から生まれた漢字語がある（沈在箕他，2011；朴英燮，1995）。これらの三国を起源とする漢字語の例を、沈在箕他（2011）では、次の表１のように挙げている。

表１．韓国における漢字語の起源的な系譜（沈在箕他，2011）

起源	漢字語の例
中国	**合當**　［합당 / *habdang* /］（마땅；当然） **十分**　［십분 / *sibbun* /］（가장） **樣子**　［양자 / *yangja* /］（모양） **多少**　［다소 / *daso* /］（얼마나） **從前**　［종전 / *jongjeon* /］（전부터；前から） **容易**　［용이 / *yongi* /］（쉽사리） **許多**　［허다 / *heoda* /］（많다；多い） **報道**　［보도 / *bodo* /］（알리다） **初頭**　［초두 / *chodu* /］（처음） ＊［ ］は、韓国語の漢字語の読み。 （ ）は、韓国語の意味。 ；の右側は、日本語の訳である。 対訳がない語は、日本語と同様である。
日本	**相談**　［상담 / *sangdam* /］（相議［상의 / *sangui* /］） **約束**　［약속 / *yagsog* /］（言約［언약 / *eonyag* /］） **案内**　［안내 / *annae* /］（引導［인도 / *indo* /］） **役割**　［역할 / *yeoghal* /］（所任［소임 / *soim* /］）

	残高　［잔고 / *jango* /］（残額［잔액 / *janaeg* / ］） **納得**　［납득 / *nabdeug* /］（諒解［양해 / *yanghae* / ］） ＊［ ］ は、韓国語の読み。 （ ）は、韓国語独自の漢字語である。
韓国独自	**感氣**　［감기 / *gamgi* / ］; 風邪 **苦生**　［고생 / *gosaeng* / ］; 苦労 **寒心**　［한심 / *hansim* / ］; 情けない **八字**　［팔자 / *palja* / ］; 運勢 **片紙・便紙**　［편지 / *pyeonji* / ］; 手紙 **書房**　［서방 / *seobang* / ］; 夫 **査頓**　［사돈 / *sadon* / ］; 相舅（または、姻戚） ＊［ ］は、韓国語の読み。 ； は、筆者訳。『朝鮮語辞書』を参照した。

沈在箕他（2011）において、表 1 の中国を起源とする漢字語は、三つの流入経路が挙げられている。一つは、中国の古典からの流入である。二つ目は、仏教が伝来してきた経路である。三つ目は、中国では話し言葉の表記として使われていた白話文からの流入である。表 1 の中国を起源とする漢字語の例が、この白話文からのものである。これらの経路は、一部の語彙が中国語としてそのまま入ったわけではなく、漢字語として韓国語に受容されたということを看過することはできない。これは、漢字の形態論的透明性（transparency）と韓国の古典的な漢文教育の影響が、中国の漢字語が韓国語の体系の中に溶け込んだ要因である。また日本を起源とする漢字語の場合は、韓国の 19 世紀後半に大量流入した語である。同時期、

韓国で作られた漢字語もあったが、日本で作られた漢字語の方が一般的に使用されることになった。この過程で、日本で作られた漢字語は音読みの語彙だけではなく、訓読みの漢字語も受け入れ韓国式の読みに変えたもの（例、「大勢」:「대세/ *daese* /」、「見本」:「견본/ *gyeonbon* /」、「身分」:「신분/ *sinbun* /」など）もある。韓国独自の漢字語も、漢字が中国から伝来し始めてから国内でも絶えず作られてきた語である。これらの韓国独自の漢字語でも、漢字語というより固有語として認識されている語である。

以上、沈在箕他（2011）が提示した韓国語の漢字語の起源の系譜について大まかに検討したように、韓国では紀元前後から 1980 年代に至るまで約２千年間、韓国語を表記する有力な手段として活躍してきた（李漢燮, 1996）。このように漢字が韓国の固有文化へ溶け込み、同化を繰り返しつつ、現在の韓国語において重要な役割を果たす存在となった。韓国では、日常的には漢字の表記そのものの接触はほとんどないとも言えるが、韓国語に内在している語彙史的な重要性は看過できないと考えられる。

2.2.2. 韓国における漢字語使用の背景

衛満朝鮮が建てられた紀元前（BC）195 年前後に、ごく僅かであるが、漢字・漢文が韓国に伝えられた。中国との交流が始まったのは、漢の国が満州と朝鮮半島の北部に漢四郡[6]を設置し、漢族を移民させた以後だと推定されると朴英燮（1995）は述べている。その時期から漢字が韓国にもたらされたが、当時漢字は、交易や交流にかかわる人達だけが知り得た文字であった。紀元後（AD）４世紀に入って、仏教の伝来とともに漢字が一般に使われるよ

[6] 漢の四郡の一つである「楽浪」があり、この「楽浪」の遺跡から出た瓦に「楽浪礼官」「楽浪富貴」という漢字が陽刻されたものが発見された（李漢燮，1996）。

うになり、それ以降、漢字は、二千年もの長きにわたり使い続けられてきた。漢字表記された語が大量に流入してきたことで、古代の韓国語にも漢字語が浸透し、韓国語の固有語との区別が困難である語が多く存在するようになった。

2.2.2.1. 個人名・地名および職名

韓国の法律上、漢字の名前を付ける際は、決められた人名使用漢字の中から選ぶことになっている[7]。漢字は元々中国から伝来したものであるが、古代の韓国時代に作られた漢字も多くあり、韓国独自の人名漢字で付けられる名前もある。

また、韓国の地名においては、漢字に変換することができる。ただし、韓国の首都である「서울/ *seo¬ul*]」については、漢字語の由来かどうかという議論はあるものの、基本的には固有語に由来した語であると考えられているため、漢字には変換できない。それに比べて、その他の「부산（釜山/ *bu-san* /）」「대구（大邱/ *dae-gu* /）」「대전（大田/ *dae-jeon* /）」「인천（仁川/ *in-cheon* /）」などの大都市を始め多くの地名が漢字に変換できる。特に、町の名前の場合は、「海雲台[해운대/ *hae-un-dae* /]」であれば海に浮かぶ島など、漢字の意味からその町の由来が推測でき、漢字表記は地域の特性を知ることにも繋がる。さらに、韓国の専門職や会社の部署名および肩書きなどの役名は、呼称としてもよく使われる。例えば、「선생（先生/ *seonsaeng* /）」などの職名や「사장（社長/ *sajang* /）」・「부장（部長/ *bujang* /）」などの肩書きは、漢字語そのままでも使われるが、呼称としても使われ、語の直後に「-님/ *-nim*/ ；様」を付け、「선생<u>님</u>/ *seonsaeng<u>nim</u>*/ ；先生<u>様</u>」のような呼び方として一般的に使われている。このように社会的な地位に関わる職名において、漢字語が頻繁に使われる。

[7] 韓国語に教育漢字 1,800 字以外に、人名漢字が設定され、これらの人名漢字を使って名前を付けるように決められている。（http://help.scourt.go.kr/ICSFiles/afieldfile/2010/02/26/name.pdf を参照）

2.2.2.2. 高使用頻度の漢字語および同音異義語

現在韓国の日常ではハングル使用が一般的であるが、日付（年・月・日・時・分）の漢字は、そのまま日常生活でみられる場合もある。また、季節に関連する語や二十四節期の自然に関係した表現、数字（一 ～ 十・百・千など）や場所（「學校」・「圖書館」・「美術館」・「博物館」など）などにも漢字表記が用いられる。さらに、韓国語の日常会話では、ことわざや四字熟語がよく使われる。また、たとえば、漢字２字からなる熟語である「脚光（각광/ *gaggwang* /）」「正鵠（정곡/ *jeonggog* /）」「網羅（망라/ *mangla* /）」「隘路（애로/ *aelo* /）」「渦中（와중/ *wajung* /）」なども使用頻度は高いと言えよう。ただし、これらの漢字語もハングルで表記され使われるため、漢字語という意識はせず、日常生活で使われている。そのため、これらの語に関しては、意味を理解したとしても、漢字で表記されると語彙として理解されるわけではないため、音声的な定型表現として使用されていることである。

以上のような漢字表記を全てハングルで変換して使用するに当たっては、同音異義語の区別の問題が伴う。韓国語の同音異義語のうち、最も多かった語は、「조사/*josa*/」と発音される語で、32 語 ある（『標準国語大辞典』，1999）。例えば、「調査」「助詞」「照射」「措寫」「照査」などで、これらの 32 語には、「弔死」「朝使」など特定の条件で使われる語が多く、大体はテキストから意味が推測できる。また、「부정/*bujeong*/」の発音で、「不定」、「不庭」、「不整」、「不正」、「不淨」、「不精」、「不貞」、「副正」、「否定」、「簿正」、「腐井」、「負定」、「釜鼎」の 13 語の同音異義語が存在する。他に、「고사/*gosa*/」（29 語）、「사기/*sagi*/」（27 語）、「상사/*sangsa*/」（24 語）、「사전/*sajeon*/」（22 語）、「정수/*jeongsu*/」（23 語）などのように、韓国語には同じ発音の漢字語が多い。しかし、これらの語がどれくらい日常で使われる

かという使用頻度や同音異義語に関する情報は、テキストの意味内容から判断しなくてはならない。

韓国の国立国語研究院（2000）では、韓国人により一般的に使われ、日常生活にも直接に関連がある基礎的な語彙を理解するのに目的をおいた『韓国文化基礎用語』がある。この『韓国文化基礎用語』には、236 語が見出し語として掲載されている。これらの見出し語は、衣・食・主、名節、信仰、あそび、音楽、美術、文学、舞踊、文化祭、制度、特産物、象徴など 14 分野に関わっており、236 語のうち、124 語が漢字語であった。こられの 124 語の中でも、90 語は漢字語で「伽倻琴」「國樂」「螺鈿漆器」「無窮花」など、楽器から韓国の国花まで多様な分野に関わっている。また 34 語は混種語、つまり漢字とハングルの組み合わせになっている語で、四つの楽器で伝統的な演奏をする「四物（사물）놀이/ *samulnoli* /」、辛く作ったスープ「매운湯(탕)/ *maeuntang* /」、白いキムチ「白(백) 김치/ *baeggimchi* /」など、漢字とハングルの組み合わせでどちらかが意味を付加する要素として使われ、一つの語に成り立つ語も含まれている。

2.2.2.3. 学校教育における専門用語および新聞・専門書籍などの書物

韓国の学校教育における教科目名は、日本が明治時代に、外来語を翻訳する過程で作られた造語をそのまま導入したため、漢字語が多い。たとえば、「英語」「生物」「物理」「数学」などの科目用語として使われている語の中にも、漢字語が多く含まれている。しかし、ハングルで表記されるため、漢字語として意識されることはあまりない。また、大学では、「法律」「経済」「政治」「貿易」などの専門用語が漢字語である。アルファベット言語から学説を翻訳する場合にも漢字が使用され、どの漢字を当てるかが問題になる。これは、ハングル

では表現できない微妙なニュアンスを漢字にすることより微細に表現できるからである。

韓国の新聞や雑誌、専門書の用語には、漢字語が多く使用されている。特に、専門書の場合、ある特定分野に関する知識や経験を生かして論述していくことが多いので、漢字語の使用率は非常に高いと考えられる。それでは、一般大衆に対する情報伝達を目的とした新聞の場合はどうだろうか。以下に新聞の社説の一部を例に挙げ、どれほど漢字語が占めているのかを検討してみた。記事の内容は、ごく一般的な韓国の社会問題を扱ったものである。

＜新聞記事ー社説①＞

… **입사**한 **후** **대졸자**와의 **임금**과 **처우** **차별**을 겪다가 **대학**에 **진학**하겠다며 **중도 퇴사**하는 **경우**도 적지 않다니 **기업**만 나무라기도 어렵다. 그래서 **정부**와 지자체의 **정책적・재정적** **지원**이 **중요**하다. **군** **복무** **기간** 동안 **대체인력** **인건비**를 **지원**하고 **군** **복무자**를 **복귀**시키는 **경우**에도 **세제** **혜택・교육훈련비** **지급** **등**을 **검토**할 **필요**가 있다.

「2013.3.29　『国際新聞』」

＜新聞記事ー社説②＞

… **入社**한 **後** **大卒者**와의 **賃金**과 **處遇** **差別**을 겪다가 **大學**에 **進學**하겠다며 **中途 退社**하는 **境遇**도 적지 않다니 **企業**만 나무라기도 어렵다. 그래서 **政府**와 **地自體**의 **政策的・財政的** **志願**이 **重要**하다. **軍** **服務** **期間** 동안 **代替人力** **人件費**를 **支援**하고 **軍** **服務者**를 **復歸**시키는 **境遇**에도 **稅制** **惠澤・敎育訓練費** **支給** **等**을 **檢討**할 **必要**가 있다.

「2013.3.29『国際新聞』」

上の＜記事①＞の太字は、漢字語を表している。これらの漢字語を漢字表記に変換する

と、＜記事②＞のように表記することができる。＜記事②＞から分かるように、副詞や述語など文法文型は韓国語の固有語が使われているが、キーワードに当たる主要な概念を表現する語彙は、ほとんどが名詞であり、漢字語であることが分かる。

2.2.2.4. 敬語・造語・縮約語

韓国では、目上の人の前や公式の場では、硬い表現の漢字語がよく使われる傾向がある。演説・講演会や会議場など改まった公式的な場面では、ある程度決まっている語が使われることが多い。例えば、「의제（議題）/ *uije* /」「재청（再請）/ *jaecheong* /」「질의（質疑）/ *jilui* /」「정족수（定足数）/ *jeongjogsu* /」などは、日常生活ではほとんど使われない語が、会議では頻繁に使われる。また、招待状や行事の知らせなどの文章でも、相手に対するお礼の挨拶として漢字語がよく使われる傾向がある。

また、漢字は、実辞（substantive）、概念語（concept word）、自由形態素（free morphem）であるため、順次連結しても無理なく統辞構成になり文の意味が成り立つ（李乙煥,1990）。つまり、統語の展開性が自由自在であり、虚辞（particle）、拘束形態素（bound morpheme）、機能語（function word）を使わなくても適切で文法的な簡潔文が成立し、合成語の原理に基づいて構成されると述べられている。たとえば、「대학（大学）/ *daehag*/」、「대학（大学）」の漢字語に「입학（入学）/ *ibhag* /」というが合成され「대학입학（大学入学）/ *daehag-ibhag* /」、さらに「대학입학시험（大学入学試験）/ *daehag-ibhag-siheom* /」、「대학입학시험통보（大学入学試験通報）/ *daehag-ibhag-siheom-tongbo* /」などのように支障なく意味を伝えることができる。また、漢字語同士だけではなく漢字語と固有語との合成語として、「漢字語＋固有語」あるいは「固有語＋漢字語」のような形で各々の意味を指す一つの語が作られる。

たとえば、前者だと「방해（妨害）꾼/ *banghe-kkun*/」、「호기심（好奇心）-쟁이/ *hogisim-jengi*/」のように使用されている。「방해꾼」、「호기심쟁이」の両方ともに、人を表す意味で、「방해꾼/*banghe-kkun*/」は、「他人のことをよく邪魔する」を漢字語が意味し、「人をさげすんで指す」表現として、固有語の「-꾼/ *-kkun*/」が使われている。一方、「호기심쟁이/ *hogisim-jengi*/」は、珍しいことや未知のことにいつも興味や関心を持つ人を表す表現である。これも固有語の「-쟁이/ *-jengi*/」が「そのような人」を意味している。また、このような漢字語の造語の場合は、名詞の反対の意味を表す際、当該する漢語の前に「非」「不」「無」などの接頭辞を付けて表現することができる。これは、名詞だけではなく、形容詞にも見られている。形容詞の場合では（「자연（自然）스럽다/ *jayeon-seuleobda* / ：부자연（不自然）스럽다/ *bujayeon-seuleobda* /」;「自然だ：不自然だ」）、名詞の場合では（「소유（所有）/ *soyu* / ： 무소유（無所有）/ *musoyu* /」;「所有：無所有」）などの造語が発達している。

一方、縮約語については、表１に示したように５文字以上からなる漢字語は、２文字または３文字に縮約して使用されることが多い。縮約する際は、漢字の意味を考えて省略するが、実際に使う際の表記は全てハングルで用いられている。そのため、ある縮約語に初めて接した人は、漢字の表記がなければ、その語が縮約語であることすら推測するのは困難であると考えられる。そのため、新聞や雑誌では、省略語を載せる際は、括弧を付け漢字を明示するのが一般的である。ここでは造語力が優れた語の一つとして、接辞を挙げる。接頭辞の＜非ー・無ー・不ー＞、接尾辞の＜ー性・ー的・ー力＞などの漢字が、特定の漢字語に付加して作られる。または、接頭辞や接尾辞が両方付加される形式もある。これらは、一般的にもよく使用されている。一方縮約語の場合は、日本語でも同じく縮約語が使われているが、

どの漢字語を取り縮約するのかが異なっている。以下の表２に、造語や縮約語の例を挙げた。

表 2. 造語と縮約語の例

造語	１.「方向性」・「固定化」・「地球力」など ２.「-的」が付加される例 :「人間的」「協力的」「効率的」 ３.「人間的」:「非人間的」,「協力的：非協力的」 「参加」:「不参(加)」
縮約語	日語日文学科 → 日文科 大学入学試験 → 大入 ○○女子大学 → ○○女大

表２のような造語や縮約語は漢字語に限られているわけではなく、固有語にも外来語にも当てはまる。しかし、漢字の場合は、漢字１字で語が成立するため、その造語力と縮約力は固有語に比べて、非常に幅広く拡張して使われると考えられる。

以上、韓国人の個人名から日常生活で使われている縮約語まで、現在韓国で実際に使用されている漢字語の使用域について述べた。これらの中には、日本から伝わった漢字語も多く含まれており、特に学校教育での教科目中には、和製漢語が少なからず入っている。李漢燮（1993）によると、「国立国語研究所の『日本語教育基本語彙』（1978）に出現している韓日同形の漢語 687 語のうち、日本製漢語と見られるものは 152 語である」と述べている。こ

の 152 語の中に入っている語が、「学校教科目」をはじめ、「曜日」まで日常生活に関わる漢字語である。韓国人は、このような漢字語に対し、ハングルの表記のまま使っているため漢字語としての認識はほとんどないと言えよう。

2.2.3. 漢字語の語彙的特徴

漢字は中国から流入したもので、漢字語や漢文そのものは統語論的に中国語文法の支配にあるが、漢字語と韓国語の固有語が結合した場合は韓国語の文法に従うことになる（盧明姫，2005）。また、盧明姫（2005）は、韓国語において漢字語は２つの側面からの説明が必要であると述べている。その１つは、借用語として流入してきたため、中国語の中で使われていた漢字固有の性質を備えているという側面である。もう１つは、中国から伝来し、韓国語の固有語に同化されて韓国の古代から使われてきたことにより、韓国語の固有の性質を持ち合わせているという側面である。つまり、中国語では漢字の一文字が１つの形態素として自立して使われるという自立性機能が、韓国語の中ではその自立性機能は失われ、依存形式（bound form）として扱われている（鄭旼泳，1993）。このような韓国語の漢字語の依存性は、語根としての役割を果たすことで現れ、韓国語の固有語と結合することで、より生産的で細分化した表現力を持つことになった。例えば、「広い」という意味で、「넓다/ *neolbda* /」という韓国語の固有語があるが、この固有語に対して、「廣大（광대/ *gwangdae* /）」「廣範（광범/ *gwangbeom* /）」「廣闊（광활/ *gwanghwal* /）」などの漢字語は、「広い」状態をより詳しく説明することになる。ただし、これらの例の漢字語は「広い」という状態を表す性質を持っていることで、名詞の単独で使われるより、固有語の語尾の*-hada* が付加されて、形

容詞として使われるのが一般的である。

韓国語の漢字語彙性の特性について、沈在箕他（2011）は、音韻論的に国語体系に完全に同化しているという点を除けば､語彙の他の面は漢字語の本場である中国語の特性をそのまま維持していると述べている。また鄭旼泳（1993）は、漢字語が韓国語に同化していることの問題点を２点挙げている。１点目は、漢字語は自立形式の場合、その構成要素がどのような成分であっても韓国語内では名詞としての資格を持ち、格標識（case marker）あるいは繋辞（copula）が連結され多様な統辞機能を遂行する。しかし、依存形式である漢字語はそのままでは格標識や繋辞としては使用できず､複合語の語基として固有語または漢字語と結合するからこそ､韓国語の国語の語彙体系に受容され､国語の語彙として機能することになる。したがって､このような性質を有するために､語彙範疇が異なってくる､と述べられている。２点目は、漢字語の語基に固有語の要素が付加されることで、韓国語の語彙として使用可能な言語体系となる点である。例えば、動作動詞および状態動詞の用言の場合、漢字語の語基のみでは機能できないため[*-ha-*]などの固有語の要素と結合し、「漢字語＋固有語の語尾」という混種語を形成することになる。これは膠着語（agglutinative language）である韓国語の特徴をよく反映している。

2.3.　語根としての２字漢字語に付加する語尾

2.3.1.　２字漢字語における語根（root）の機制

語構成の基本要素である「語根」について、日本語の『日本文法大辞典』（松村，1988：

229）では、語構成要素の一つとして、root の訳語であると記述されている。『日本文法大辞典』では、①語基（base）と同じ意味で用いる場合、②共時的に考察する場合は語基、通時的に考察する場合は語根とする場合、③語根は語基の最小極限の単位として見られる場合、④語幹（stem）と同じものをさす場合、⑤形態論的にみて、語の変化しない部分とする場合と記述されている。

一方、韓国語においては、李翊燮（2013）は、語基を接辞で分けている。語基は単語の中心部を形成する形態素で、代わりに語根とも呼ばれる。しかし、語基のうち屈折語尾[8]とは直接結合させることはできず、また自立形式としても成立しない要素にごく制限された意味として使われるものがあると記述されている。例えば、‘깨끗-하다/ *kkaekkeus-hada*/’、‘조용-하다/*joyong-hada*/’、‘급（急）-하다/*geub-hada*/[9]’ などの‘깨끗/ *kkaekkeus* /’、‘조용/ *joyong* /’、‘급（急）/ *geub* /’のような語が狭義としての語根に属する。これらの語彙範疇は、固有語に限らず２字漢字語にも該当する事項であるが、２字漢字語の場合は固有語とは異なり、漢字語にはその語自体の中でも語構成が成立する[10]。

金倉燮（2008）では、２字の形式は形態的には単語として的確な形式を整えているが、実際の使用においては単語の内部のみで現れたり、他の要素との分離が難しくなったりして、自律形式としては単語として成り立たない語もあると述べられている。その例として、「利

---

[8] 屈折（inflection）を担う接辞として、一般には語尾（ending）と呼ばれている。

語彙素語形　：　뛰-ㄴ다、　뛰-고、　뛰-어라　［　走る、走って、走れ　］

/*ttwi-nda*/　/*ttwi-go*/　/*ttwi-eola*/

下線の語尾は「뛰다（辞書形/*ttwida*/ -走る）」という単語の屈折を担当している。このように、語基の後に直接に屈折語尾が結合できるのは、語根と区別して語幹と呼ばれる（李翊燮, 2013）。

[9] 日本語の訳は、

「깨끗-하다[*kkaekkeus-hada*]」：きれいだ、清潔だ

「조용-하다[*joyong-hada*]」：静かだ

「급（急）-하다[*geub-hada*]」：語根が１字の漢字語でありながら、日本語とは一致する語はなく、〈急いでいる状態〉を表す意味を示す。

[10] 漢字の一字一語の特性が強く作用されている六書は、漢字語の生成過程および構成の特徴を系列別に分類している（沈在箕他，2011）。

己」と「高貴」が挙げられている。「利己」の場合は、自立形式として使われない例で、「高貴」の場合は*-hada* という語尾との分離が難しい語の例として挙げられている。

従って、「利己」には、接尾辞の「-的」「-心」「-主義」が付加され「利己的」「利己心」「利己主義」という形式で使われており、「高貴」には*-hada* が付加され「高貴 *hada*」という形の形容詞として使われているのが一般的である。このように、２字漢字語でありながら、特定の語尾が付加されなければ、文の成分として成り立たないという狭義の語根として使われる２字漢字語は、語中の語彙特徴により品詞性がかかわっている。上述の「-的」や「-主義」などの漢字語の接尾辞が２字漢字語に付加され、さらに拡張した意味としての名詞が作られる。また、*-hada* などの固有語の語尾が付加され、動作性や状態性を表し、用言として使われる語にもなる。

一方、名詞として成り立つ語でも、実際に文中で述語として使われる際は、必ず述語の要素が必要な場合のように、「運動」や「反映」のような自立した２字漢字語でも*-hada* という語尾の要素が加わることで、動詞性や形容詞性を持つことになる。

要するに、動作および状態の意味が含まれている２字漢字語は、名詞単独としても使われるが、語尾が付加されることで動詞および形容詞としての機能を果たすことになる。これは、名詞と述語としての動詞および形容詞は、統辞的な語彙範疇が異なるということを表している。このような言語現象は、韓国語も日本語も同様である。これらの述語の役割をする動詞の場合は、韓国語では*-hada* に、日本語では*-suru* に相当し、形容詞の場合は、韓国語では動詞と同じく*-hada* に、日本語では*-da* に相当する。ただし、連体形になる場合は韓国語でも語尾が変化する。塚本（2008）は、日本語と韓国語の連体形の語尾を対照している。日本語は原則として言い切りの基本形と同形であり、韓国語の場合は、言い切りの基本形とは別の

形式をとると述べている。語尾の変形については、塚本（2008 : 33）の表を引用し、表３のようにまとめた。なお表３は、本論で扱う日本語の*-suru* と韓国語の*-hada* に焦点を絞り、整理したものである。

表 3. 日本語と韓国語の連体形の対照

		未完了	完了	回想	未了
日本語	動詞	*-suru*	*-sita*	*-sita*	*-suru*
	形容動詞	*-na*	*-datta*	*-datta*	*-na*
韓国語	動詞	-하는[*-haneun*]	-한[*-han*]	-하던[*-hadeon*]	-할[*-hal*]
	形容詞	-한[*-han*]	-하던[*-hadeon*]		-할[*-hal*]

（韓国語は、塚本(2008)による）

日韓同形の２字漢字語に語尾が付加されることにより、双方に対応しているため、両言語の学習者にとっては非常に多くの正の転移がみられる。これらは、膠着語である日本語と韓国語が、語彙形成において複合性や派生性など語の形成される過程が非常に類似しており、形態的特徴が似ているからであると考えられる。

両言語は、文の構造の類型も基本的には類似している。また、文の構成成分となる名詞節・述語節・副詞節なども類似点が非常に多い。しかし日韓間において語尾のずれなど、微細な点で両言語に相違する部分も少なくないため、特に韓国人日本語学習者が日本語を学習する上で注意すべき点が存在する。そのうちの一つが、韓国語では漢字語の名詞を用言化する場合に、その名詞が動詞的な意味を持っていても形容詞的な意味を持っていても、すべて*-hada*

を付加して用言化してしまう誤用である。一方、日本語では動詞的な意味の名詞には*-suru*を付加してサ変動詞として、形容詞的意味の名詞は*-da*を付加して形容詞として使うことに注意をする必要がある（梅田，1982）。

2.3.2. ２字漢字語の動詞性および形容詞性に関する問題

日韓同形の２字漢字語でも、動詞と形容詞[11]とで使われる語尾が区別されている日本語に比べ、韓国語の場合は、原型（辞書形）で区別がつかない（梅田，1982）。ただし、命令形[12]や勧誘形として使われる際は、動詞は可能であるが形容詞は不可能であるという違いや、後続する名詞を前から修飾する際に、連体形になる形（動詞は「*-haneun*」で、形容詞は「*-han*」）は異なり、動詞と形容詞の区別は明確である。このように、韓国語においても動詞と形容詞はその違いは明らかである一方、そのような相違点より形態的な*-ha-*[13]の付加による共通点が、より大きいことは確かである（李翊燮，2013）。特に、固有語より抽象的な意味や細分化された意味としてよく使われる漢字語の方が、品詞性の明瞭さが欠けていることは無視できないと考えられる。この品詞性の「不明瞭さ」により学習者は動詞としても形容詞としても使えると考えがちである。日本語教育・韓国語教育の現場を鑑みると、韓国人日本語学習者は、韓国語の*-hada*付加の語根や名詞の影響で、日本語の形容動詞に*-suru*を付け「*曖昧する」のような誤用を起こすことがあるが、日本人韓国語学習者の場合、動詞と形容詞の使

---

[11] 韓国語では、動詞と形容詞は一つに合わせて用言と通稱されることが多い。体言に対する用語として文の述語を担当する品詞という意味で使われている。このように韓国語での動詞と形容詞は、一つの品詞として呼ばれるほど共通点が多い（李翊燮，2013）。

[12] 形容詞の命令形は一般的に不可であるが、例外がある。「健康」「幸福」には命令形の語尾がつき、使われている。

[13] 「-hada」をさらに形態素分離を行った形で、「-ha」と「-da」に分けられる。

い分けにおいて韓国語母語話者ほどの混乱はないと言われている。

2.3.3. 接尾辞に関する問題

盧明姫（2005）は、接尾漢字語の代表例として「-的」を挙げ、「-的」が接尾辞の性質を最も強く持っていると述べている。主に物や人を表す名詞に付いて、それに似た性質をもっていることを表し、形容詞化する「-的」は、漢字語に付加する接尾辞として用いられる。品詞性をみると、日本語では「形容動詞」として扱われ、韓国語においては、『標準国語大辞典』の見出し語として記載されており、「（一部の名詞または名詞句の後に付けられ）‘そのような性格を持っている’‘それに関係ある’‘その状態になっている’という意味を加える接尾辞」と解説されている。このように「-的」派生語は形容詞の性質を持っており（金倉燮, 2008）、先行する名詞を後ろから修飾する冠形詞[14]として使われている。

同じ接尾辞の観点から*-hada* の分析を行った沈在箕他（2011）は、*-hada* 動詞が必要な理由として、次の二つの理由を挙げている。１つ目は、語彙体系内で意味および統辞的機能が同質なものを統合し表現する類概念語彙としての必要性、２つ目に、韓国語の固有動詞を用いて表現できない場合や適切な表現がない場合に外来語を引用することである。その際、引用する外来語の動詞を韓国語の文章構造内に受容するための装置が必要である。そのために*-hada* は、外来語の動詞を韓国語化する過程において、唯一の国語動詞化のメカニズムであると述べ、*-hada* 動詞を派生接辞の範疇に限定している。すなわち、*-hada* 動詞が生成された背景には、新しい語彙の体系が必要であったということである。

[14] 韓国語の品詞分類の一つで、助詞や語尾が付かず後ろの名詞を前から修飾する語である（李翊燮，2013）。

2.4.　おわりに

以上、2 章では、韓国語の漢字語の起源を、沈在箕他（2011）で提示した系譜を通して、韓国語の漢字語を中国と日本の漢字語との関係について概観した。古代韓国への漢字語の伝来過程や現代の韓国語内の漢字語の起源的な系譜について、沈在箕他（2011）は、（１）中国の古典から伝わったもの、（２）中国を経由した仏教の経典から伝わったもの、（３）中国語の口語、つまり白話文から伝わったもの、（４）日本で作られたもの、（５）韓国の独自のものという５つの経路があると提示した。

上述のように韓国語における漢字語は、韓国語の固有語と融合しつつ、自立形式ではなく依存性が著しい語彙的特徴を持っており、造語力が優れた点や固有語に比べ非常に生産的であることが確認できた。さらに、語根として使われる２字漢字語に付加される語尾について先行研究を概観した。*-hada* が付加され動詞性・形容詞性を含意している２字漢字語、接尾辞の「-的」の付加に関する語根のメカニズムについて略述した。これらの語尾の要素がなくては文の成分として成り立たないという、狭義の語根として使われる韓国語漢字語の語彙的特徴が確認でき、韓国語の漢字語の起源的な系譜を探り、その漢字語が韓国語の中でいかに使用されてきたかについて確認できた。本研究における日韓２字漢字語の対照研究は、このような韓国の漢字背景を前提に進めていく。

第 3 章

２字漢字語の語彙性アスペクト

3.1.　韓国語の語彙性アスペクトによる予測

本章では、韓国語の「식사（食事）/ *sigsa* /」「운동（運動）/ *undong* /」のように２つの漢字で構成された２字漢字語を対象に調査を行う[15]。調査に先立ち、韓国語における語彙の分布および日本語との関連について述べる。

韓国語の語彙は、固有語、漢字語、外来語に分類できる。約40万語の現代韓国語を収録している『国語大辞典』の語彙比率では、固有語が25.90%、漢字語が67.02%[16]、外来語は7.08%である（李，1980）。さらに、辞書に収録されていない学術用語を含めると漢字語の比率はさらに高くなるであろう。

韓国語と日本語では、漢字２字からなる語彙に関して、共通する語彙が多く、いずれの言語においても頻繁に使われている。日本語の場合、国語辞典に記載された見出し語のうち、約70％が漢字２字で構成されている（Yokosawa & Umeda，1988）。このように、日本語の場合、日常生活での漢字使用や漢字表記の語彙が多いことから、日常での漢字語の使用は高いということが分かる。一方、韓国語の場合は、ハングル使用によって音韻表記されるため、日常生活で漢字を目にすることはほとんどない。唯一の例外は、意味的区別が求められる同音意義語に対して使用される場合である。例えば、「이상 / *isang* /」の発音に相当する語は、全部で12語あり、高頻度語としては「以上 / *isang* /」「理想 / *isang* /」「異常 / *isang* /」などが挙げられる。前後の文脈だけで区別が難しい場合、「…이상 （理想） …」のように漢字を併記することがあることから、ハングルで表記されていても、それが漢字に置き換えて表記できることは韓国語母語話者によって意識されている。こうした事実から、表記の問題

---

[15] 韓国語のアルファベットにある音素表記は、「文化観光部告示第 2000-8 号」（2000.7．7）に従って行う。

[16] この比率には、〔固有語＋漢字語〕や〔漢字語＋外来語〕も含まれている。〔固有語＋漢字語〕や〔漢字語＋外来語〕と漢字のみで構成されている語を区別するために、本研究では、漢字のみで構成されている語を「漢字語」と呼ぶ。

とは別に、韓国語内での２字漢字語が使用されていることを、認識することができると考える。

韓国語と日本語は、ともに膠着語であること、用言類の形態的屈折によって文法関係を表すことから、漢字語に関する文法形式も多分に類似している。例えば、日本語では、漢字表記の名詞に、*-suru*（サ行変格活用動詞、以下、サ変動詞）を付加することで、動詞として使うことができる。韓国語においても同じ現象が存在する。韓国語の場合、*-hada*を付加することで動詞として使用することができるのである。韓国語と日本語におけるこうした類似性から、「体操」「安心」「見学」など、韓国語の「漢字語＋*hada*」の形式で動詞化できる語は、日本語でも「漢字語＋*suru*」で動詞化できる場合が多い。

さて、日本語の場合、漢字語が*-suru*付加によって動詞化されるかどうかは、その語の持つ語彙性アスペクトが影響していると言われている。具体的な研究として松岡 （2004）では、「開始」「継続」「終結」「状態」の４つの語彙性アスペクトにより、漢字２字で表記される語彙の動詞化がほぼ予測できるという分析結果を明らかにしている。実際、Tamaoka, Matsuoka, Sakai & Makioka (2005) は、1985年から1998年の間に出版された14年分の朝日新聞のデータから、使用頻度の高い2,000の漢字２字熟語を選んで動詞化する語を調査した。調査の結果、動詞化するのは802語で、全体の40.10%であることが明らかになった。さらに、二項ロジスティック回帰分析を使って、2,000語の動詞化を４つの語彙性アスペクトによって予測していた。その結果、４つすべてのアスペクトが*-suru*付加による動詞化を有意に予測した。特に、「終結」のアスペクトを持つのは、調査対象の2,000語のうち759語で、８語だけ（「葬儀」「犯行」「軍縮」など）を除く、759語のうちの751語が動詞化した。つまり、*-suru*付加による動詞化が成立しなかった。2,000語中、802語の動詞化する語彙の予測率は93.64% （751/802）と極めて高く、予測力の指標であるWald統計量も312.32と非常に強かった。もちろん他のアスペクトも有意な予測変数であったが、上記の予測率からも分かるように、動詞化する漢字２字の語彙のほとんどは「終結」のアスペクトを持っていた。そのため、

「終結」単独での予測率が、他のアスペクトと比べて高くなった。

それでは、言語類型的に日本語と類似した特徴を持つ韓国語の２字漢字語でも語彙性アスペクトで、動詞化を予測できるのであろうか。ここで一つ注意しておかなくてはならないことがある。日本語の場合、用言の末尾が*-u*か*-i*かで、動詞であるか形容詞であるかが判断できるが、韓国語の場合、このような形態的な区別は存在しない。本研究の調査対象である漢字語の動詞化と形容詞化においてもこの問題が関連する。というのは、２字漢字語の動詞化・形容詞化のいずれにおいても、原形（日本語では、終止形または辞書形と呼ばれている）が*-hada*になるからである。両者を区別する方法は２つ存在する。１つは、活用形によって区別させる方法である。例えば、現在時制の連体形の場合、動詞は*-haneun*となり、形容詞は*-han*となるので、両者を区別することができる[17]。もう１つは、意味で区別する方法である。形容詞の場合は属性や恒常的性質を表すことが多いのに対し、動詞の場合は動作に関連する事象を表すことが多い。そのため、ある程度区別することができるものの、例外もかなり見られるため、厳密な区別法とは言い難い。

以上を踏まえ、本研究では、動詞化と形容詞化を別々に検討することにした。具体的には、次の手順で研究を進めた。第１に、韓国の『21世紀 世宗計画』のコーパスから高頻度の２字漢字2,000語を選んだ。第２に、韓国語の『標準国語大辞典』を使って、これらの語彙に*-hada*が付加されるかどうかを記録した。そして、確認のため、韓国語母語話者の主観判定によって、辞書の記述がどのくらい母語話者の直感と合っているかについても検討した。第３に、これら2,000語についての「開始」「継続」「終結」「状態」の語彙性アスペクトの有無を複数の韓国語母語話者の内省で判定してもらい、判定者間信頼性を検討した。第４に、二項ロジスティック回帰を使って、４種類のアスペクトと使用頻度が、*-hada*付加による動詞化と形容詞化をどのくらい予測するかを検討した。

[17]日本語の「合格する方法」は、韓国語では「합격하는 방법（*habgyeog-haneun bangbeob*)」、形容詞の場合は「正直な人」が、「정직한 사람（*jeongjig-han salam*）」となる。

3.2.　語彙性アスペクトの先行研究

動詞をアスペクトに基づいて分類することで、動詞の性質が説明できる。Vendler (1967) は、アスペクトの観点から英語の動詞が表す内的時間の性質を図式化するために、現在進行形の「be+~ing」と共起するか否かと完了点を内包するのか否かを分類指標にして、４つの類型を提案した（日本語の説明は、平嶋（2003）による）。それらは、「達成（accomplishment）動詞」「活動（activity）動詞」「到達（achievement）動詞」「状態（state）動詞」である。また、日本語では、金田一（1976）がアスペクトの観点から動詞を４種類に分けている。状態を表わす「状態動詞」、ある時間を継続して行われる種類の動作・作用を表す「継続動詞」、瞬間に終わってしまう動作・作用を表す「瞬間動詞」、時間の概念を含まずある状態を帯びることを表し、常に「～ている」の形である「第四種の動詞」である。

さらに、油谷（1978）は、韓国語の動詞をアスペクトで分類している。まず動詞は「状態性」「結果性」「瞬間性」を持っていると判断し、それを「±状態性」「±結果性」「±瞬間性」のアスペクト素性を持っているか否かで、A類「＋状態、＋結果」、B類「＋状態、－結果」、C類「－状態、＋瞬間、＋結果」、D類「－状態、＋瞬間、－結果」、E類「－状態、－瞬間、＋結果」、F類「－状態、－瞬間、－結果」の６つに分類している。このようにアスペクトの観点から動詞を分類すると、複数のアスペクトを共有している場合もあれば、F類のように「状態・瞬間・結果」のどのアスペクトにも当てはまらない場合もある。

英語、日本語、韓国語について、語彙性アスペクトとして共通すると思われるのは、動作性のアスペクトとして活動性、達成性、継続性、瞬間性であり、これに状態性を加えた５つであろう。語彙性アスペクトをどう呼ぶか、またどのくらいの粒度で分類するかは、個々の研究によって多少の違いがあるものの、基本的なアプローチとして、ある動作が始まり、それが続き、そして終わるという流れから、「開始」「継続」「終結」を設定できるという点

では、概ね共通した見解が存在する。本研究では、松岡（他）（2009）およびTamaoka，et al. (2005)の研究成果を踏まえ、「開始」「継続」「終結」に、「状態」を加え、韓国語に対する分析を行う。

3.3.　高頻度の２字漢字語2,000語の抽出

本研究では、調査の基本データを得るべく、『21世紀 世宗計画[18]』コーパスに対する語彙抽出を行った。『21世紀 世宗計画』コーパスは、現代韓国語の話し言葉と書き言葉を収録した均衡コーパスである。語彙抽出は、次の手順で行った。（１）『21世紀 世宗計画』コーパス全体を形態素解析して、（２）正規表現を使い、漢字２つで構成される漢字語（表記はハングル）を収集した。そして、（３）使用頻度が高い順に並び替え、上位2,000語を選んだ。以下では、この2,000語を「基本資料語」と呼ぶ。

「基本資料語」に対して次の処理を行った。韓国の国語辞典である『標準国語大辞典』を参考にして、漢字に変換した。なお、同音異義語であることが確認された場合には、コーパスに掲載されている実際の用例のうち、任意で選んだ150文を目視で確認し、文脈に合う漢字表記に変換した。

さらに、抽出した2,000語の妥当性を検討すべく、コーパス全体の語彙量を調査した。まず『21世紀 世宗計画』コーパスの延べ頻度は26,329,643語であり、本研究の「基本資料語」の延べ頻度は、1,481,916語である。その全体に占める割合は、5.63％ (1,481,916/ 26,329,643)である。また、コーパス全体の名詞の延べ頻度は5,137,556語であり、この「基本資料語」の名詞全体に占める割合は28.84% (1,481,916/ 5,137,556) である。以上の結果から、本研究の「基本資料語」は、コーパス全体の語彙量から見ても、動詞化あるいは形容詞化を検討するため

[18]『21 世紀 世宗計画』（[http://www.sejong.or.kr]）は、約 2 億 46 万語で大規模言語資料として構築されたコーパスとして、韓国政府の文化観光部が、国立国語院および関連学会と共に、国語情報化発展計画の一環として、1998 年から推進してきた国語情報化事業である。

には十分なデータ量であると言えよう。

3.4. 韓国語の漢字語語彙性アスペクトの判定基準

本節では、「基本資料語」の語彙性アスペクトを判定する基準について述べる。「開始」「継続」「終結」「状態」の順に述べる。

3.4.1.「開始」のアスペクト判断基準

松岡（2005）は、「～以内、～まで、～で」を使用して「開始」のアスペクトを確認するテストを行った。例えば、「歯の治療後 1 時間以内の食事」であれば、“歯を治療した後、1 時間以内に食べ終わるような食事”という意味より、“歯を治療した後、1 時間以内に食べ始める食事”と解釈される。このことから、「以内」と共起する漢字語動詞は、開始の動詞性アスペクトを持つと述べている。松岡（2005）の基準は韓国語においても同様に適用できる。論証として、韓国語でも始めを表す表現があり、それが漢字語に後続することで開始を表すことができる。例えば、「식사시작（食事始作）/ *sigsasijag* /」のように 、韓国語の漢字語に「ー시작（始作）/ *sijag* /」（日本語の「始め」に相当する）を後続して使える場合は、「開始」のアスペクトを持っていると判断した。また、「瞬間的な意味」を持つ語や状態性を表す語は「開始」を持たないと判断した。

3.4.2.「継続」のアスペクト判断基準

松岡（2004）は、例えば「新しいビルが建設中だ」という文を作り、「ー中 」の接尾辞が共起する場合は「継続」のアスペクトを表すと判断している。韓国語でも、日本語と同様に

「ー중（中）/ ー*jung*/ 」という接尾辞があり、「건설중（建設中）/ *geonseoljung*/ 」は「建設」という出来事が継続していることを示す。同様の事例として、「식사중（食事中）/ *sigsajung*/ 」は、「食事」が継続していることを表す。以上の言語事実から「ー중（中）/ ー*jung*/ 」との共起可能性に基づいて「継続」アスペクトかどうかを判断した。

3.4.3.「終結」のアスペクト判断基準

Iida (1987) およびShibatani & Kageyama (1988) は、出来事を表す名詞の中に、「—直後」などの時/アスペクトを表す接辞あるいは名詞がつけられるものがあると指摘しているが、松岡（2004）では、このアスペクト接尾辞の共起可能性に基づいて名詞の終結性を判断し、「終結」のアスペクトの有無を検討している。韓国語においても、日本語と同様に「식사후（食事後）/ *sigsahu*/ 」のように「ー후（後）/ *-hu*/ 」を付けて瞬間および完了の意味を表すことができる。以上の言語事実から、「ー후（後）/*-hu*/ 」との共起可能性に基づいて「終結」のアスペクトかどうかを判断した。

3.4.4. 「状態」のアスペクト判断基準

松岡（2004）は、ある状態の持続時間を限定するということは、状態性を帯びた名詞であっても、時間的変化の可能性があるとしている。そして、名詞に「一時的な」という持続時間を限定する修飾句を加えた時に、その名詞が状態の一時的持続を表わすかどうかで、「状態」のアスペクトの有無を判断できると述べている。韓国語でも、「일시적인 대립（一時的な対立）/ *ilsijeog-in daelib*/ 」のような例があり、「일시적인（一時的な）/ *ilsijeog-in*/ 」による修飾可能性を確認することで、「状態」のアスペクトかどうかが判断できる。さらに、韓国語では、「영구적인（永久的な）/ *yeonggujeog-in*/ 」と「순간적인（瞬間的な）/ *sunganjeog-in*/ 」

のような時間的な属性を持った修飾句を加えることもできるので、これらも「状態」のアスペクトの判定指標として加えた。

3.5. データ入力と信頼性

3.5.1. *-hada*付加の辞書記述と韓国語母語話者の判定の信頼性

「基本資料語」に、*-hada*が付加されて動詞または形容詞になるかどうかを、次の２つの方法で検討した。(1)『標準国語大辞典』で、漢字語が見出し語として掲載されている場合には、まず名詞についての説明がくる。続いて、動詞または形容詞としての説明が続く。したがって、辞書の記載を見れば、*-hada*付加の可否が容易に判定できる。また、『標準国語大辞典』では、品詞が見出し語ごとに示されているので、判断はさらに簡単である。この基準で、*-hada*が付加されると記載されていれば１を、記載が無い場合は０を入力した。(2) 日常的な使用を確認するために、著者を含む２名の韓国語母語話者が主観判定を行った。「基本資料語」について日常的に*-hada*を付加して使う場合には１を、使わない場合には０を入力した。２名の判定者の一致度を検討したが、一致しなかったのは、2,000語のうち78語（3.90%）のみであった。そして、判定者間信頼性を検討するため、Krippendorffのalpha (α)[19]の信頼性指標（Hayes & Krippendorff, 2007）を使用し、一致度を調べた。その結果、単純一致率で、動詞の場合は0.984、形容詞の場合は0.937であった。Krippendorffのalphaの信頼度係数も0.924 (10,000回のブートストラッピングの結果、95%信頼区間は α=0.908から0.941) と極めて高かった。

次に、母語話者の主観判定の結果と辞書の記述の一致度を調べた。同じくKrippendorffの

[19] Krippendorff の alpha(α) は，ブートストラップ（bootstrap）法による数値計算を何回も繰り返しながら区間推定を行うところなどに利点がある。信頼性があるとみなすには、慣例的には 0.800 以上が求められるが，暫定的な結論を導くには、最低 0.667 以上であれば可能である（Krippendorff， 2004）。

alpha (α) の信頼性指標を使用し、計算した結果、辞書と第１判定者間の単純一致率は、動詞は0.938で、形容詞は0.839であった。KrippendorffのalphaのΣ信頼度係数は、0.884 (10,000回のブートストラッピングの結果、95%信頼区間は、α=0.863から0.903) と高かった。また、辞書と第２判定者間の単純一致率で動詞は0.896で、形容詞は0.811であった。Krippendorffのalphaの信頼度係数は、0.845 (10,000回のブートストラッピングの結果、95%信頼区間はα=0.821から0.865) と高かった。したがって、*-hada*付加の辞書を基準とした判定は、韓国語母語話者の内省と照合して信頼できると言えよう。

3.5.2. 使用頻度と語彙性アスペクトの判定と信頼性

「基本資料語」の頻度は、『21世紀 世宗計画』コーパスで出現する延べ頻度をそのまま使用した。さらに、「基本資料語」を対象に「開始」「継続」「終結」「状態」の語彙性アスペクトを持つかどうかを、韓国語母語話者（第１判定者）が判定した。3.4 に示した判断基準に基づき、「基本資料語」について、「開始」「継続」「終結」「状態」のそれぞれのアスペクトを持っていれば１を、持っていなければ０を入力した。以上の方法で判断した結果を、上位20位まで示したのが表４である。これら20語をみると、動詞化されるのは「始作」「政治」「生活」「教育」「意味」の５語で、形容詞化されるのは「必要」の１語のみであった。「始作」「政治」「生活」「教育」は何らかのアスペクトを持っているのに対して、「意味」はいずれのアスペクトも持っていない。表４から、語彙性アスペクトを持っていない語でも、*-hada*が付加されて動詞化あるいは形容詞化され得ることが分かる。４つのアスペクトの判断において、第１判定者の信頼性を検討するために、もう１人の韓国語母語話者を第２判定者として設定した。第２判定者には「基本資料語」からランダムに200語を選び、ブラインド方式で語彙性アスペクトの判定を依頼した。両判定者の単純一致率は0.871であった。さらに、KrippendorffのalphaΣの信頼性指標は、0.830 (10,000回のブートストラップの結果、95%信頼区

間は、α=0.782から0.876) とかなり高かった。したがって、本研究の第１判定者による「基本資料語」の語彙性アスペクトの判定は信頼性が高いと言えよう。

表４.「基本資料語」の上位20語の２字漢字語のアスペクト判定の例

No	韓国語	ローマ字表記	漢字表記	高使用頻度	*hada* 付加		開始 (inchoative)	継続 (durative)	終結 (telic)	状態 (stative)
					形容詞	動詞				
1	문제	munje	問題	12877	0	0	0	0	0	0
2	사회	sahoe	社會	11763	0	0	0	0	0	0
3	사실	sasil	事實	9017	0	0	0	0	0	0
4	시작	sijag	始作	7898	0	1	0	0	1	0
5	인간	ingan	人間	7536	0	0	0	0	0	0
6	정도	jeongdo	程度	7131	0	0	0	0	0	0
7	필요	pil-yo	必要	7108	1	0	0	0	0	1
8	정부	jeongbu	政府	6671	0	0	0	0	0	0
9	문화	munhwa	文化	6006	0	0	0	0	0	0
10	정치	jeongchi	政治	5901	0	1	1	1	1	0
11	의미	uimi	意味	5733	0	1	0	0	0	0
12	시간	sigan	時間	5727	0	0	0	0	0	0
13	여자	yeoja	女子	5559	0	0	0	0	0	0
14	국민	gugmin	國民	5507	0	0	0	0	0	0
15	경제	gyeongje	經濟	5492	0	0	0	0	0	0
16	대학	daehag	大學	5484	0	0	0	0	0	0
17	세계	segye	世界	5336	0	0	0	0	0	0
18	학교	haggyo	學校	5258	0	0	0	0	0	0
19	생활	saenghwal	生活	5183	0	1	1	1	1	0
20	교육	gyo-yug	敎育	5095	0	1	1	1	1	0

3.6．分析および分析結果と考察

3.6.1．二項ロジスティック回帰分析

二項ロジスティック回帰分析は、２値しかとりえない質的なデータを予測する手法である。ある事象の発生率をpとすると、オッズは$p/(1-p)$であり、その対数をとった$\mathrm{Log}(p/(1-p))$ が対数オッズと呼ばれる。ロジスティック回帰モデルは、$\mathrm{Log}\ p/(1-p) = B_0+B_1X_1+B_2X_2+....+B_pX_p$ の式で表される。これは、ある事象がおこる発生率である目的変数を、p個の説明変数で予測する式である。Wald統計量で各目的変数の貢献度を示す。本研究の場合は、２字漢字語に*-hada*が付加される場合を１、されない場合を０と記録して、この手法を適用した。具体的には、「基本資料語」について、「開始」「継続」「終結」「状態」の４つの語彙性アスペクト (X_1-X_4) と使用頻度(X_5)の５つを説明変数とした。そして、「基本資料語」に*-hada*が付加されて動詞化または形容詞化されるかどうかを予測した。ただし、本研究では、*-hada*付加の有無は、辞書によって決められているので、むしろ４つの語彙性アスペクトと使用頻度の５つの変数の予測力を、Wald統計量を参照して検討している。

3.6.2.　*-hada*付加による動詞の予測

「基本資料語」の2,000語のうち、動詞として*-hada*が付加されるのは843語（42.2％）であった。表５は、動詞としての*-hada*が付加される843語について、４つのアスペクトの重なり頻度を示した。アスペクトごとの漢字語の数は、「開始」が320語、「継続」が520語、「終結」が687語、「状態」が180語である。また、「単独での語数」の欄で、各アスペクトだけしか持たない漢字語の数を示した。例えば、「開始」のアスペクトを持つ漢字語は320語で、このうち287語は「継続」、311語は「終結」、22語は「状態」のアスペクトも同時に持っている。「開

始」のアスペクトしか持たない語は０であった。つまり、単独で「開始」のアスペクトだけを持つ漢字語は存在せず、すべてが「継続」か「終結」と重複することがわかる。

表５．　*-hada*が付加され動詞になる漢字語についての４種類のアスペクトの頻度

変数名	アスペクト	合計	重複する漢字語数				単独語数
			開始	継続	終結	状態	
X_1	開始	320		287	311	22	0
X_2	継続	520	287		493	44	11
X_3	終結	687	311	493		83	120
X_4	状態	180	22	44	83		89

注1: 高使用頻度の2字漢字語の合計は、2,000語である。
注2: 2,000語のうち動詞になるのは843語であり、その集計である。
注3: 灰色のセルは、その特定のアスペクトの頻度を示す。
注4:「単独での語数」とは、特定のアスペクト１つしかない漢字語の数である。

「終結」のアスペクトを持つ漢字語は、特に「開始」と「継続」のアスペクトとの重複が多かった。具体的には、「終結」のアスペクトを持つ漢字語687語の内、311語が「開始」、493語が「継続」のアスペクトを持っていた。これは、動作や行動の「開始」「継続」「終結」という一連の時間性が内在しているためである。また、「終結」だけのアスペクトを持つ漢字語も120語あった。これには、「出発」「到着」などの瞬間動詞が多く含まれていた。瞬間動詞には、動作や行動の時間相が存在しない。そのため、「開始」や「継続」のアスペクトと重複することがないので、「終結」のアスペクトのみを持つ漢字語が多くなったのであろう。また、「状態」のアスペクトは、時間的な相を含まないため、それだけのアスペクトしか持たない漢字語も89語と多かった。

表6. *-hada* 付加(Y)による動詞の 4 種類のアスペクト(Xn)で予測する二項ロジスティック回帰分析の結果

変数名	アスペクト	アスペクト含有数	動詞としての*-hada*付加・非付加語数		アスペクト内の予測率	全*-hada*付加語内の予測率	二項ロジスティック回帰分析の結果			
							B	Wald統計量	有意確率	オッズ比
X_1	開始 (inchoative)	330	付加	320	96.970%	37.960%	1.197	7.393	0.007	3.311
			非付加	10						
X_2	継続 (durative)	554	付加	520	93.863%	61.684%	1.746	35.677	0.000	5.734
			非付加	34						
X_3	終結 (telic)	720	付加	687	95.417%	81.495%	4.525	380.562	0.000	92.250
			非付加	33						
X_4	状態 (stative)	386	付加	180	46.632%	21.352%	2.030	120.992	0.000	7.612
			非付加	206						
X_5	使用頻度 (frequency)	—	付加	—	—	—	0.000	0.032	0.859	1.000
			非付加							

強制投入法による二項ロジスティック回帰分析の結果、Log $p/(1-p)$ = $1.216X_1 + 1.755X_2 + 4.518X_3 + 2.027X_4 + 0.000X_5 - 2.857$の回帰式が得られた。

まず、モデル係数のオムニバス検定の結果、$\chi^2(5)=1{,}693.649$, $p<0.001$で有意であり、この回帰式は動詞としての-*hada*付加を予測するのに役立っていることを示している。回帰式の当てはまりの良さを示す決定係数は、Nagelkerkeが$R^2=0.768$, Cox- Snellが$R^2=0.571$で高かった。表６に示したように、動詞としての-*hada*付加は、４つのアスペクトすべてで有意に予測された。そのなかで、説明変数の予測力の指標であるWald統計量が最も大きかったのは「終結」の380.562である。実際、動詞としての-*hada*が付加される843語のうち687語を予測しており、これは81.49%の予測率になる。

もちろん、「継続」のアスペクトでも843語の内520語を予測し、61.68%の高い予測率になる。しかし、「継続」と「終結」は、493語も重複しているので、「継続」のWald統計量は35.677と小さくなり、予測力は「終結」に比べてかなり弱い。一方、「状態」のアスペクトについては、動詞としての-*hada*が付加される漢字語の843語の内180語を予測し、それは21.35% (180/843) の予測率でしかない。一見すると、予測力が弱そうに見える。しかし、「状態」のアスペクトを持つ 180語の内、「終結」と共有するのは、わずかに83語であり、46.11% (83/180) の共有率であった。そのため、「終結」のアスペクトとの重複が少ないので、表６のWald統計量 を見ると、120.99と高く、予測力は、「終結」に次いで強かった。使用頻度は、-*hada*付加をまったく予測しなかった。日本語の場合 (松岡他，2009; Tamaoka, et al.，2005) と同様に、韓国語の漢字語の2,000語においても、「終結」のアスペクトだけで動詞としての-*hada*付加が843語のうち687語、つまり81.49%を予測できるという結果であった。

仮に、「終結」のX_3 と「状態」のX_4のアスペクトで動詞化が予測できるのであれば、この２つだけを予測変数とした分析で、予測力を比較することができる。強制投入法による二項ロジスティック回帰分析の結果、Log $p/(1-p)$ = $5.614X_3 + 1.906X_4 + 0.000X_5 - 2.691$の回帰式が得られた。モデル係数のオムニバス検定の結果、$\chi^2(2)=1{,}623.953$, $p<0.001$で有意であり、

回帰式が予測するのに役立っていた。回帰式の決定係数は、NagelkerkeがR^2=0.748、Cox-SnellがR^2=0.556で、動詞化の予測への貢献度が高かった。また、２つのアスペクトの個々のWald統計量は、「終結」が654.77で、「状態」が113.627となり、両者とも非常に高かった。このように、４種類の語彙性アスペクトすべてで予測した場合と、２種類のアスペクトで予測した場合の違いは、わずかであり、「終結」と「状態」で動詞化がほとんど予測できることが分かる。

3.6.3. -*hada*付加による形容詞の予測

漢字語2,000語について、形容詞としての-*hada*が付加されるかどうかと４つのアスペクトの重なりを示したのが表７である。2,000語のうち、形容詞としての-*hada*が付加されるのは86語で、わずかに全体の4.30％に過ぎない。表７は、形容詞の86語が持っている４つのアスペクトの重複語数を示している。

表７.-*hada*が付加され形容詞になる漢字語についての４種類のアスペクトの頻度

変数名	アスペクト	合計	重複する漢字語数				単独語数
			開始	継続	終結	状態	
X_1	開始	1		1	1	0	0
X_2	継続	1	1		1	0	0
X_3	終結	4	1	1		2	1
X_4	状態	78	0	0	2		76

注1:高使用頻度の2字漢字語の合計は、2,000語である。
注2: 2,000語のうち形容詞になるのは86語であり、その集計である。
注3:灰色のセルは、その特定のアスペクトの頻度を示す。
注4:「単独での語数」とは、特定のアスペクト１つしかない漢字語の数である。

形容詞としての*-hada*が付加されるのは、「状態」のアスペクトを持つ漢字語が78語と非常に多く、重複は「終結」のアスペクトで２語しかなかった。「状態」のアスペクトが形容詞としての*-hada*の付加を強く予測すると想定される。

動詞の場合と同様に、強制投入法による二項ロジスティック回帰分析を行った。その結果、$\mathrm{Log}\ p/(1-p) = 0.552X_1 - 2.037X_2 - 1.651X_3 + 3.777X_4 + 0.000X_5 - 4.772$の回帰式が得られた。モデル係数のオムニバス検定の結果、$\chi^2(5)=253.603, p<0.001$で有意であり、この回帰式は形容詞としての*-hada*付加を予測するのに役立っている。回帰式の当てはまりの良さを示す決定係数は、Nagelkerkeが$R^2=0.399$，Cox-Snellが$R^2=0.119$であまり高くなかった。説明力が低くなったのは、2,000語に占める形容詞の語数が少なかったことによる。表８に示したように、形容詞としての*-hada*の付加は、「状態」と「終結」のアスペクトによって有意に予測できた。「状態」は、Wald統計量が97.043 ($p<0.001$) で、形容詞としての*-hada*が付加される86語のうち78語が「状態」のアスペクトで予測し、予測率は90.70%になる。

「終結」のアスペクトのWald統計量が8.014 ($p<0.05$) で、有意に形容詞としての*-hada*の付加を予測する。しかし、表７から分かるように、これに該当するのはわずかに４語である。さらに、そのうちの２語は「状態」のアスペクトを共有している。そのため、Wald統計量の値も小さく、予測力は極めて弱いと言えよう。実際、386語が「状態」のアスペクトを持つものの、この内の*-hada*が付加されて形容詞になるのはわずかに86語であり、その内の78語を予測したに過ぎない。つまり、「状態」のアスペクトを持つからといって、すべてが形容詞化されるとはかぎらない。

表8. *-hada* 付加(Y)による形容詞の４種類のアスペクト(Xn)で予測する二項ロジスティック回帰分析の結果

変数名	アスペクト	アスペクト含有数	形容詞としての*-hada*付加・非付加語数		アスペクト内の予測率	全*-hada*付加語内の予測率	二項ロジスティック回帰分析の結果			
							B	Wald統計量	有意確率	オッズ比
X_1	開始 (inchoative)	330	付加	1	0.303%	1.163%	0.423	0.121	0.728	1.527
			非付加	329						
X_2	継続 (durative)	554	付加	1	0.181%	1.163%	-1.980	3.179	0.075	0.138
			非付加	553						
X_3	終結 (telic)	720	付加	4	0.556%	4.651%	-1.677	8.014	0.005	0.187
			非付加	716						
X_4	状態 (stative)	386	付加	78	20.207%	90.698%	3.739	97.043	0.000	42.048
			非付加	308						
X_5	使用頻度 (frequency)	—	付加	—	—	—	0.000	0.132	0.717	1.000
			非付加							

3.6.4. 動詞化および形容詞化と「状態」のアスペクトの関係

2,000語のうち「状態」アスペクトを持つ漢字語は、386語である。これらの内、*-hada*を付加されることで動詞になるのは、180語である。一方、形容詞になるのは78語である。「状態」のアスペクトを持つ漢字語で、動詞化される語数は、形容詞化される語数の２倍以上になる。しかし、「状態」のアスペクトを持つ漢字語の386語でみると、「状態」のアスペクトを持つ漢字語で動詞化されるのは46.63%、形容詞化されるのは20.21%になる。さらに、「状態」のアスペクトのみで動詞化するのは89語 (23.06%) であり、形容詞化するのは76語 (19.69%) である。つまり、「状態」のアスペクトを持っている漢字語であっても、動詞化あるいは形容詞化するわけではないことが分かる。

3.7. 考察

本章では、韓国語の*-hada*付加による動詞化と形容詞化について、２字漢字語の語彙性アスペクトの予測力を検討した。本研究では、Tamaoka et al. (2005) および松岡他（2009）の二項ロジスティック回帰の手法による日本語のサ変動詞*-suru*付加の研究を適用した。そして、韓国語の２字漢字語のうち使用頻度が高い2,000語について、「開始」「継続」「終結」「状態」の４つのアスペクトと使用頻度から*-hada*付加を動詞化と形容詞化を別々に集計して予測した。その結果、２字漢字語の使用頻度は、*-hada*付加による動詞化または形容詞化をまったく予測しなかった。つまり、漢字語がどのくらい頻繁に使われるかは無関係であることが分かった。

2,000語のうち、動詞としての*-hada*が付加されるのは843語（42.15%）であった。４つのアスペクトのうち、*-hada*付加による動詞化を最もよく予測したのは「終結」のアスペクトであり、Wald統計量が380.56となり、予測力が非常に強かった。具体的には、843語のうち

687語を予測し、予測率は単独で81.49%になった。また、「継続」のアスペクトを持つ漢字語は554語で、843語の内520語を予測し、その予測率は61.68％であった。しかし、「終結」との重複が493語もあるため、４つのアスペクトを合わせた場合の「継続」の予測力はやや低かった（Wald統計量=35.68）。さらに、「開始」のアスペクトの予測率は37.96% (320/843) であるが、他のアスペクトと重複しているので、Wald統計量は7.39で、予測力はさらに低かった。つまり、「開始」のアスペクトは無くても、「終結」または「継続」で代用できるということになる。一方、「状態」のアスペクトについては、*-hada*が付加されて動詞になる漢字語の843語の内180語を予測し、予測率は21.35% (180/843) になった。予測率は低いので一見すると予測力も弱そうに思えるが、他のアスペクトとの重複が少ないので、Wald統計量は120.99となり、予測力は「終結」に次いで強かった。

以上のように、*-hada*付加による動詞化の予測は、まず「±終結」のアスペクトによる予測力が極めて強いと言えよう。表６からアスペクトの重複を見ると、「開始」のアスペクトを持つ320語の内、「終結」のアスペクトを共有するのは311語であり、97.19% (311/320) である。また、「継続」については、520語の内493語を共有しており、94.81% (493/520) に当たる。一方、「状態」との共有は、180語の内83語であり、46.11% (83/180) であった。そのため、大多数の「開始」と「継続」のアスペクトを持つ２字漢字語が「終結」のアスペクトを持っていることになり、「終結」だけでほとんどの２字漢字語の動詞化を予測できることになる。一方、「状態」については、「終結」との重複が半分以下であり、予測力はある程度強くなった。さらに、「終結」と「状態」のアスペクトだけで動詞化を予測しても、４種類全部で予測した場合とあまり変わらなかった。そのため、韓国語の２字漢字語の動詞化は、大多数が「±終結」で、次いで「±状態」のアスペクトの特性によってほぼ決まると言えよう。

一方、2,000語のうち*-hada*が付加されて形容詞になるのは86語で、わずかに4.30％に過ぎない。それを有意に予測したのは、「状態」と「終結」のアスペクトであった。「状態」は、

全86語の内78語を予測し、90.70％の予測率と非常に高かった。「終結」は、わずか４語の漢字語にしかみられず、そのうち２語は「状態」のアスペクトと共有している。したがって、*-hada*の付加で形容詞になるのは、ほぼすべてにおいて「±状態」のアスペクトの特性を持っていると言えよう。なお、「終結」と「状態」のアスペクトが重複するのは、「만족（満足）/ *manjog* /」と「충족（充足）/ *chungjog* /」 の２語のみである。これらの語は、動詞にも形容詞にもなりうる。

「状態」のアスペクトが形容詞化をほぼ予測するように思えるが、予測力指標であるWald統計量は97.04で、動詞化の場合と比べてずっと低い。これは「状態」のアスペクトを持つ２字漢字語の2,000語の内、386語が「状態」のアスペクトを持つものの、その内、形容詞化するのはわずかに78語であることが原因である。つまり、「状態」のアスペクト全体でみると、形容詞化の予測率は20.21%（78 / 386）に過ぎないのである。確かに、「状態」のアスペクトは形容詞化を予測する必要条件ではある。しかし、むしろ形容詞化しない場合の方が多く、十分条件というには程遠い。つまり、「努力（노력/*nolyeog*/）」「認識（인식/*insig*/）」「強調（강조/*gangjo*/）」「記憶（기억/*gi-eog*/）」「独立（독립/*doglib*/）」など大多数の79.79%（100%－20.21%）の「状態」のアスペクトを持つ２字漢字語は形容詞化しないのである。

3.8. おわりに

本研究では、漢字２字で表記される韓国語の上位2,000の高頻度語を対象に、辞書で判定された動詞化または形容詞化を、「開始」「継続」「終結」「状態」の４つの語彙性アスペクトと使用頻度で予測した。動詞化を強く予測したのは、「終結」のアスペクトであり、それに次いで、「終結」との重複が比較的少ない「状態」のアスペクトであった。一方、形容詞化には、「状態」のアスペクトの予測率が極めて高かった。しかし、形容詞化された２字漢字語はほぼすべて「状態」のアスペクトを持つものの、「状態」のアスペクトを持つ２字漢字

語は、ほとんど形容詞化されず、動詞化される。そのため、予測力を示すWald統計量は、「終結」の動詞化と比べて、「状態」の形容詞化のWald統計量はかなり小さかった。

第 4 章

2 字漢字語の形態面の対照

4.1. はじめに

日本語と韓国語は、文法・語彙など言語類型的に非常に類似している。その中でも、漢字語の比率は、両言語で７割を占めるほど高く、日常で頻繁に使用されていることが挙げられる（Yokosawa&Umeda，1982；李于錫，2002）。これらの漢字語が同じ音韻である場合や、同様の意味である場合は、両言語の間に相互対応関係が成立し、直訳しそのまま使用することが可能である。また、漢字語の中でも２字漢字語の使用率は非常に高く、それらに関連する文法項目においては、高い類似性が見られる。それは漢字語の名詞に、ある特定の語尾を付けることで、名詞を動詞化および形容詞化して使うことができるという点である。そのため、梅田（1979）では韓国人学習者が母語の言語的特性を適用する場合に生じる誤用について、次のように述べている。「K（韓国語）の文の構造は、J（日本語）の場合と平行的に考えて殆どさしつかえない。文はその構造によっていくつかの類型に分類できるが、その類型のたて方は基本的には全く同じといってよく、文の成分になる名詞節・述語節・副詞節などの構造も日本語と非常に類似点が多い。しかし、微細な点ではやはり両言語で異なる点も多く、韓国人学習者の日本語学習に際して注意すべき若干の点を指摘する。」また、「韓国語では漢語の名詞を用言化する場合に、その漢字語が動詞的な意味を持っていても形容詞的な意味を持っていてもすべて*-suru* を付加してサ変動詞として、形容詞的意味の名詞は*-da* を付加して形容詞として使うことに注意をする必要がある。」と述べられている。特に漢字語の場合は、同形でも意味に微妙な違いがある場合は、その違いに気づかず韓国語の漢字語をそのまま使い、誤用が起きる傾向があると考えられる。

そこで本研究では、両言語の間に共通する２字漢字語に付加される語尾に着目した。具体的な内容は次の二点である。第一に、このような２字漢字語に日本語では*-suru* が付き動詞としてしか使用されないが、*-suru* に当てはまる韓国語の*-hada* は動詞にも形容詞にもなるため、動詞および形容詞の品詞を確認し区別する必要がある。第二に、韓国語では２字漢字語を動詞として*-hada* や*-doeda* を付加してよく使われている点も考慮し、それらの語の計量的な占有率を検討することが必要であると考えられる。最終的には、韓国人日本語学習者に対する日韓類似漢字語と相違漢字語の情報を利用した有効な学習案を提示したい。その一環として、２字漢字語の形態的な特徴を検討するために、２字漢字語を計量的に集計した。これらの集計の結果から、日韓２字漢字語に付加される語尾の特徴が、両言語においてどのような類似性や相違性を導き出せるかを検討する。また、抽出した日本語の２字漢字語を品詞別に分類し、それに対応する韓国語の漢字語においても品詞や語尾特性（能動態 / 受動態）による分類を行う。

4.2. 日韓両言語における類似した漢字語

現代の韓国語の文字は漢字表記ではないが、上述したように韓国語の語彙のうち、一文字でも漢字が含まれている語の割合は、69%にのぼる（이운영[20]，2002）。韓国語の語構成は、漢字のみからなる語だけではなく、一文字からなる漢字語を始め「固有語＋漢字語」、「漢字語＋外来語」、「固有語＋外来語」、「固有語＋漢字語＋外来語」からなる語も存在している。

[20] 이운영（LeeUnYeong,2002）『『표준국어대사전』연구분석（『標準国語大辞典』研究分析）』国立国語院。

そのため韓国語における漢字語の占有率は非常に高いと言えよう。これらの漢字語のうち、特に２字漢字語の場合は日本語のそれと語彙的・文法的な特性が非常に類似している。例えば、表９に示したように、まず日本語では、「大学」の場合は名詞のみで使用されている。一方、「食事」の場合は名詞として使われたり、「食事」の直後に動詞化する語尾を付加して動詞としても使われたりするように、両品詞で使われている。同様に、韓国語でも「大学」は名詞のみで使われ、「食事」は名詞で使われるか動詞化する語尾を付加し、動詞として使うことができる。このように、名詞のみで使われる漢字語や動詞として使われる漢字語は、一対一で対応関係が成立しているため正の転移が起こると考えられる。

表９．　日韓共通した２字漢字語

品詞	二字漢字語	日本語	韓国語
名詞	「大学」	名詞のみで使用 「大学」[*daigaku*]	名詞のみで使用 「大学」[*daehag*]
	「食事」	名詞として使用 「食事」[*syokuzi*]	名詞として使用 「食事」[*sigsa*]
動詞	「食事」	-*suru*が付加され動詞としても使用 「食事する」[*syokuzi-suru*]	-*hada*付加で動詞としても使用 「食事하다」[*sigsa-hada*]

[　　]は，漢字語の音読.

一方、表 10 のように相違しているところもある。例えば、「曖昧」のような形容詞は、形容詞を表す語尾が付き形容詞として使用される際に、両言語には違いが生じる。表 10 から分かるように、日本語の形容詞には*-na* が付加される一方、韓国語では動詞と同様に形容詞にも*-hada* が付加される。このように、両言語の間では形容詞の語尾が対応していないため、韓国人日本語学習者には誤用が起きる傾向がある部分であると考えられる。つまり、韓国語で動詞と形容詞の語尾が同じであることが日本語の形容詞の語尾使用においても影響を及ぼしていると言えよう。

表 10.　日韓相違の２字漢字語

二字漢字語		日本語	韓国語
品詞	「曖昧」	-*na*(-*da*)が付加され，形容詞 「曖昧な」(「曖昧だ」) [*aimai-na*]([*aimai-da*])	-*hada* が付加され，形容詞 「曖昧한」(「曖昧하다」) [*eme-han*]([*eme-hada*])
	「参考」	名詞 「参考にする」 [*sannkoni-suru*]	名詞・動詞 「参考하다」 [*chamgo-hada*]
態	「安定」	-*suru* が付加され，動詞 「安定する」[*anntei-suru*] -*sareru* の付加不可 「*安定される」は不可	-*hada* が付加され，動詞 「安定하다」[*anjeong-hada*] -*deoda* の付加可 「安定되다」[*anjeong-doeda*]

[　　]は，漢字語の音読．(　　)は，辞書形．

また、両言語間で２字漢字語が動詞である場合は、受動態が可能か否かという態の問題にも相違点が現れる。両言語共に同様の動詞であるが、態におけるずれがあり、これも韓国人日本語学習者にとって混乱が生じ誤用が起きる可能性がある。例えば、日本語では「矛盾」に*-suru* を付加し、「矛盾する」と能動態で使用されているが、韓国語では「矛盾（모순/ *mosun* /）」には*-hada*（能動態）ではなく*-doeda*（受動態）が付加される。そのため、韓国人日本語学習者は「*矛盾される」という誤用が起きる傾向がある。さらにもう一つの相違点として、韓国語では*-hada* が付加し動詞として使われている漢字語が日本語では名詞のみで使われる語がある。例えば、「参考」の場合、韓国語では「参考（참고/ *chamgo* /）」に*-hada* が付けられるため、「*参考する」[21]のような誤用が見られる。

以上のように、日韓両言語においては、２字漢字語に関連する問題としてずれが生じる部分をまとめると、以下の２点に着目することができる。１点目は、両言語間の２字漢字語における品詞のずれによる相違点である。即ち、２字漢字語が動詞化されるか形容詞化されるか、または名詞であるのかによって語尾の形態が異なるという点である。２点目は、同様に動詞であるが、２字漢字語が能動態として使われるか、受動態として使われるかという態の問題である。前者が日本語では*-suru* に当たり、韓国語では*-hada* に相当する。後者は日本語では*-sareru* に当たり、韓国語では*-doeda* に相当する。これらの「品詞の相違」や「能動・受動による態の問題」による両言語間の相違点は、韓国人日本語学習者にとって２字漢字語の使い分けに混乱が生じる部分である。

[21]『岩波国語辞典』(第六版)では、「参考」が〔名・ス他〕と記述されている。

4.3. 先行研究

4.3.1. ２字漢字語の品詞性

4.3.1.1. 動詞性の漢字語

『日本文法大辞典』（2001：380）では、「する」は主体が意志的または無意志的に、ある行為・作用を行ったり、ある状態になっていたりすることを広くさす、日本語の最も基本的な一語であると記述されている。ここでは、用法として、ⅰ単独用法、ⅱ代動詞、ⅲ「A する」の形の複合動詞となる場合があると記載されている。また、ここでⅲの「A する」に対しては、「A」には名詞に限らず、動詞および形容詞の連用形などを付加することが可能であると記載されている。このように多様な役割を持っている「A する」という形式で「する」の前に位置する「A」が２字漢字語である場合は、韓国語とは高い類似性が見られる。例えば、「食事」「運動」「出発」などの２字漢字語に*-suru* を付加し、「食事する」「運動する」「出発する」となり、動詞として使われる。このように２字漢字語の名詞に叙述の語尾が付き、動詞として使われる形式は韓国語も同様である。韓国語にも*-suru* に該当する*-hada* という語がある．*-suru* と同様に様々な役割を果たすが、そのうち、役割の一つとして２字漢字語の後に付いて、「식사（食事）하다/ *siksa-hada*/ 」「운동（運動）하다/ *undong-hada* / 」「출발（出発）하다/ *chulbal-hada* / 」のように動詞として使用される場合がある。しかしながら、常に*-suru* と*-hada* が対応するわけではない。上述したように両言語において同様の２字漢字語でも後続する語尾に「ずれ」がある語が存在する。以下例（1）のように、「矛盾」「汚染」をみると、動詞になるには日本語では*-suru* が付加される。両言語の対応関係だと韓国語でも

-hada が付加されるべきであるが、韓国語では*-hada* ではなく*-doeda* が付加されるのが自然でありよく使われる。(':'は、日韓対応関係を示す)

(1)　矛盾 *suru*　:　矛盾 *doeda*　(*矛盾 *hada*)

韓国語の*-hada* の受動態である*-doeda* は、日本語の*-sareru* に該当する。そのため、韓国人日本語学習者に「矛盾 *suru*」を「矛盾 *sareru*」に、「汚染 *suru*」を使うべきところを「汚染 *sareru*」を使ってしまうなどの誤用がみられる傾向がある。このような誤用は、韓国人日本語学習者も２字漢字語が動詞として使われることは認識していながらも、両言語に語尾の形態のずれがあるということを意識せず使用してしまい誤用が起きている場合である。(1) のような両言語の「ずれ」は、日本語の*-suru* と*-sareru* との関係と韓国語の*-hada* と*-doeda* との使い分けの関係にあると考えられる。生越（1982）では、２字漢字語を取り上げ、日本語の能動と受動を韓国語のそれらと比較検討し、その結果から、「日本語のスル形・サレル形の区別は、主語に対する積極的な働きかけの有無により、韓国語の*-hata* 形・*toeda* 形[22]の区別は、基本的には主語が動作性を持っているときは *hata* 形、動作性を持っていないときは *toeda* 形が用いられる。即ち、韓国語の能動態や受動態の使い分けは、主語の働きかけによって異なり、この働きかけ性は、漢字語の意味に関わるものであると考えられる」と述べている。つまり、(1) のように常に*-doeda* の方が自然な場合も存在し、文脈によって*-hada* よりは*-doeda* の方がより自然な場合があるのは、漢字語の意味自体が主体の動作から起こることではないということが言えよう。

[22] 生越(1982)での、*-hada* と*-doeda* の表記。

4.3.1.2.　形容詞性の漢字語

日本語では、状態を表す語として形容詞・形容動詞の二類がある。形容動詞を一品詞として認めるかはいまだ議論の交わされている問題であるが、日本の学校文法で広く普及しており、一品詞とされている（柏谷，1973）。形容動詞は、形容詞と意味面では同類であるが、名詞と同じ語尾が付き、活用も形容詞とは違い*-da* が付加する。例えば、「曖昧」「健康」などの名詞に*-da* が付加した形で「曖昧 *da*」「健康 *da*」のようになる。ただし、これらの形容詞は後続する名詞を修飾する際は、*-da* が*-na* に変わり、「曖昧 *na*」「健康 *na*」のように語尾が変形して形容詞のような役割を果たしている。このように２字漢字語に、ある特定の語尾を付加し形容詞として使われることは韓国語でも同様である。

（2）　　日本語　　韓国語

曖昧 *da* [曖昧 *na*＋名詞]　：　曖昧 *hada* [曖昧 *han*＋名詞]

健康 *da* [健康 *na*＋名詞]　：　健康 *hada* [健康 *han*＋名詞]

ただし、韓国語では形容詞になる語尾が、動詞のそれと同形の*-hada* である。その対応関係は（２）のようである（‘:’は、日韓対応関係を表し、‘[ ]’は、後続する名詞を修飾する際の形態である）。以上のように両言語同様に２字漢字語の名詞に後続するのは、日本語では*-na* が、韓国語では*-hada* であり（テンスが現在を表す場合、名詞を修飾する際は*-han* になり動詞との区別有り）、形容詞として使われている。このように韓国語は語尾だけでは動詞なのか形容詞なのか区別ができない（梅田，1982）。ゆえに、韓国人日本語学習者によく

みられる誤用は、日本語の形容動詞の語尾として*-na* を付加すべき漢字語に*-suru* を付けて使う誤用が起きてしまうことである。これらの問題が日韓両言語の漢字語にかかわる品詞の「ずれ」が生じるところである。

4.3.1.3. 「-的」が付加される漢字語

以上では２字漢字語の品詞について述べてきたが、２字漢字語に特定の語尾が付き述語として使われたり、様々な接辞がそれらの直後に付くことで生産的に使われたりといった特徴がある。宮岡他（2006）では、両言語共通の接頭及び接尾の各々12 個の字について調べている。本研究では、これら 24 個の接辞のうち、接尾として使われる 12 個の字の中で「-的」について検討する。日本語において「-的」は、英語の形容詞の翻訳として使われ始め、名詞の後に付いて＜その性格を表す＞＜それに関連して＞＜その状態になって＞という意味を持つ。「平和的」「比較的」「全国的」「一般的」などのように使われ、使用頻度の高い接尾辞である。韓国語においては、菅野（1981）の『朝鮮語の入門』で、「-的：-적[/ *jeog* /」という単語は体言的に用いられるが、主語としてではなく格語尾がつかない点などが日本語のいわゆる形容動詞と似ている、と述べられている。例えば、「平和的：평화적 / *pyeonghwajeo* /」「平和的だ：평화적이다 / *pyeonghwajeogida* /」「平和的に：평화적으로/ *pyeonghwajeogeuro* /」「平和的な：평화적인 / *pyeonghwajeogin* /」のように名詞的な結合形を持ち、形容詞的な意味特性を持って使われている （‘:’は、日韓対応関係を示す。左側は日本語、右側は韓国語)。これは日韓両方に同様な形態であり意味的な特性も同じであることが分かる。そのため、韓国語を日本語に直訳して使われることが多くある。韓国の辞書の『標準大国語辞典』の記述では、「-的」は、（１）その性格を表している、（２）それに関連している、（３）そ

の状態になっている、という意味を持った派生語だとされている（訳は、筆者）。例えば、日本語と同じく「音楽的：음악적/ *eumakjeog* /」「医学的：의학적 / *uihakjeog* /」のように使われている。また日本語では使われていないが、韓国語では「展望的（전망적 / *jeonmangjeog* /）」「脱線的（탈선적 / *talseonjeog* /）」などのように使うこともできる（括弧の表記は韓国語の音読）。このように、「-的」が韓国語内に受容され、韓国語内の語彙化過程を経て、韓国語独自の語彙として定着している。例えば、「予防的」は、＜前もって対処したり防ぐためにいたりすること＞を意味し、名詞を修飾する際は「予防的」や「予防的인」、副詞としては「予防的으로」のように使うことができる。以上のように、形容詞的な性質を表す意味として日常でも頻繁に使われている点においては日韓で同様であるが、使用範囲の漢字語にずれがある語が少なくない。宮岡他（2006）では、両言語において接辞と漢字２字熟語の結合の仕方がかなり類似していることを示唆している。しかし、同じ漢字語でも韓国語では付加して使われるが、日本語では付加しない語があるという「ずれ」があることは示していない。そこで、「-的」付加の客観的な記述の判定のために、韓国語は『標準国語大辞典』で、日本語は『明鏡国語辞典』を利用し、見出し語として掲載されている２字漢字語のみを集計し、両言語間のずれを検討した。

4.3.2　日韓漢字語における品詞性による相違

日本語における名詞の２字漢字語に、*-da* が付加される場合は形容動詞であり、*-suru* が付加される場合は動詞である。一方韓国語では、形容詞も動詞も基本形（辞書形とも言われる）に対して同形語の*-hada* が付加される。このように、両言語で品詞によって語尾が異なるこ

とは述べてきたとおりであるが、両言語における品詞が異なる場合もある。具体的に言えば、日本語では動詞であるが韓国語では形容詞である場合（「一定」「徹底」など）と、その逆の場合（「不平」「強引」など）もある。上述した「参考」がそれに当てはまり、日本語では名詞のみで使われ、韓国語では名詞と動詞として使われている。このように同形の漢字語に関して品詞が異なるということは、両言語において意味や使い分けに違いがあることが考えられる。

李于錫（2002）では、漢字語の品詞性は漢字語が持つ意味によって大きく影響を受けるのであり、漢字語の意味は品詞性と密接に関係していると述べている。また、特に、日本語と韓国語の対照に当たっては、漢字語の異同によって品詞性に「ずれ」が生じることになるとも述べている。さらに、日韓２字漢字語を品詞別に分類し、日本語と韓国語を並べ替えたものをデータベース化した。漢字語の品詞性については、辞書によって「ずれ」が生じた語に対する品詞の判定の際、判定基準が多少主観的であったことと、品詞性の「ずれ」の背景や要因をより明確にすべきであると述べている。しかし、日韓漢字語の品詞の「ずれ」に関して言及はなく、さらに複数の品詞を兼ねている漢字語について大略的に扱っているため、動詞と形容詞を兼ねている漢字語については「奔走」一語しか言及されていない。

上述したように、両言語で語尾のずれによって、韓国人日本語学習者は、《*-hada* は*-suru* で訳す》と覚えてしまい、*-na* が付くはずの「曖昧」にも*-suru* を付けてしまい「*曖昧する」という誤用が起きる可能性がある。また、日本語では名詞として使われるが韓国語では*-hada* を付加し動詞として使われる語「参考」、日本語では*-suru* を付加して動詞として使われることができる語でも韓国語では名詞のみで使われる語「影響」などが見られる。

4.3.3.　日韓自他動詞の語尾形態の相違

梅田（1982）では、韓国語と日本語間の漢字語の類似性や相違性について言及している。日本語は*-suru* を付ければ動詞になるという性質を持つが、韓国語の場合は、動詞および形容詞はどちらも「漢語＋*-ha*」と形態上は同じであるために、形態的手がかりだけでは区別ができないと述べている。また、生越（1982）では、韓国語母語話者が日本語を学ぶ際、ボイスの問題として能動形と受動形の使い分けは習得されにくいと指摘している。それは、漢語に付加する*-hada*（能動形）と*-doeda*（受動態）と、日本語の*-suru*（能動形）と*-sareru*（受動形）との使い分けに「ずれ」があるからである。図１は、日本語の*-suru* と*-sareru* に対し、韓国語の*-hada* と*-doeda* がどのように対応するのかを示したものである。*-hada* と*-doeda* をそれぞれ能動形と受動形として捉えているが、*-hada* を他動詞として*-doeda* を自動詞として捉える立場もある。

図１．　日韓自他動詞の語尾対応関係（生越，1982）

しかし、韓国語の場合に、同じ文の構造において、能動態（*-hada* が後続）でも受動態（*-doeda* が後続）でも成立する漢字語がある。それは、他動詞と自動詞という概念よりは、能動態や受動態を念頭においた立場から日本語と韓国語を対照し検討すべきだと考えられる。

４.４．研究方法 -日韓漢字語基本資料の作成-

本研究では、基本データとして、『（旧）日本語能力試験出題基準』（2007，改定版）を用いた（以下、『旧試験』）。本研究の調査では、『旧試験』の語彙から２字からなる漢字語を全て抽出し、韓国の辞書を用い、韓国語に存在する漢字語のみを対象にした。２字漢字語の情報の調査は、品詞や活用形情報が得られるものとして両国の国語辞書を用いて行った[23]。

4.4.1.　調査対象語の抽出手順

本研究で対象となる漢字語を選定するためにまず、『旧試験』から４、３、２級までの語のうち、２字からなる漢字語を全て抽出した（2,060 語）。これらの 2,060 語を韓国内の国語辞典を参照し、見出し語として存在しない漢字語は除外した。その結果、2,060 語のうち 1,872 語が見出し語として掲載されていた。本研究では、これらの 1,872 語を基本データとして取り扱うことにする。

本研究でのデータベースは、日本と韓国の国語辞書を利用し、掲載されている漢字語の情報をデータ化したものである。具体的な調査項目は、一語の見出し語に対して日本語では *-suru* の付加、*-na* の付加、-的の付加を調べ、韓国語では*-hada* の付加、*-doeda* の付加、「-的」の付加を調査した。

---

[23] 日本語は、サ変動詞の情報記述が辞書によって異なるため、『大辞林』(第3版)、『岩波国語辞典』（第7版）、『新明解国語辞典』（第4版）の三つの辞書を調べた。韓国語は、韓国の国立国語院から出された『標準国語大辞典』（2002）を利用した。

日本語の漢字語の情報と韓国語のそれとには若干の違いが存在する。具体的に、日本語の場合は、自他動詞の情報があり、*-suru* が付加された場合に自動詞か他動詞かの情報があるためそれを反映した。一方韓国語の場合は、自他動詞の情報はなく、*-hada* が付加された形が動詞か形容詞かの品詞の情報があり、上述したように*-doeda* が付加される場合は掲載されてあるため、それを反映した。入力方法は、付加可能であれば 1 を、付加不可能であれば０を記入した。

表 11.　日本語と韓国語の２字漢字語の品詞入力の例

№	漢字表記	日本語					韓国語					
		読み	*~suru* (V)	*~na* (A)	～的	品詞	読み	*~hada* (V)	*~doeda* (V)	*~hada* (A)	~的	品詞
1	問題	もんだい	0	0	0	名	문제	0	0	0	0	名
2	関係	かんけい	1	0	0	名・自サ変	관계	1	1	0	0	名
3	経済	けいざい	1	0	1	名・形動	경제	1	0	0	1	名
4	必要	ひつよう	0	1	1	形動・名	필요	0	0	1	0	形・名
5	日本	にほん	0	0	1	名	일본	0	0	0	0	名
6	女性	じょせい	0	0	1	名	여성	0	0	0	1	名
7	計画	けいかく	1	0	1	名・他サ変	계획	1	1	0	1	名
8	予定	よてい	1	0	0	名・他サ変	예정	1	1	0	0	名
9	発表	はっぴょう	1	0	0	名・他サ変	발표	1	1	0	0	名
10	不安	ふあん	0	1	0	形動・名	불안	0	0	1	0	形・名
11	代表	だいひょう	1	0	1	名・他サ変	대표	1	0	0	1	名
12	年度	ねんど	0	0	0	名	연도	0	0	0	0	名
13	国民	こくみん	0	0	1	名	국민	0	0	0	1	名

上の表 11 は、ランダムで例を挙げたものである。(但し、「経済」に*-suru* が付いた場合は、＜国を治め、民を救済すること＞という意味として記載されている。)

4.4.2.　日韓２字漢字語の集計結果

4.4.2.1.　日韓に共通する２字漢字 1,872 語の集計結果

日本語の２字漢字 2,060 語のうち韓国語にも存在している 1,872 語から、２字漢字語の占有率が両言語においていかなる違いがあるのかを調べるために語数をカウントした結果、以下の表 12 のような比率が出た。

表 12.　日韓の動詞および形容詞の比率

	日韓同形語		Verb	Adjective
4級	145 語	J	15 語(0.8%)	12 語 (0.6%)
		K	18 語(1.0%)	4 語 (0.2%)
3級	187 語	J	72 語(3.8%)	21 語 (1.1%)
		K	70 語(3.7%)	11 語(0.5%)
2級	1,540 語	J	522 語(27.9%)	138 語(7.4%)
		K	547 語(29.2%)	114 語 (6.1%)

＜ K:韓国語／J:日本語, 総語1,872語 ＞

ただし、韓国語の*-hada* は動詞、形容詞両方に付くため、品詞別の集計においては分けて集計を行った。集計の結果、日本語で*-suru* が付加されて動詞として使われる語は合計 609 語であった。一方韓国語は、*-hada* が付き動詞として使われる語が 631 語であった。これを

級別に分け占有率を表 12 に示した。表 12 のように、日本語も韓国語も３級から２級に上がるにつれ語数が急増していた。品詞別にみると、動詞の語数は日韓でほとんど同じ（日本語；15 語、72 語、522 語 / 韓国語；18 語、70 語、547 語）である。形容詞の場合は２級の語彙はほぼ同じであるが、４級と３級は日本語の方が韓国語より多かった（日本語；12 語、21 語、138 語 / 韓国語；4 語、11 語、114 語）。

4.4.2.2. 語尾項目別の語数の集計結果

両言語に現れる語尾による漢字語の語数を、クロス集計をした（表 13、表 14）。一つの漢字語に対し一つの語尾、または複数の語尾が付加されることが可能であるため、クロス集計表を利用した。また、単独語数（一つのみの語尾が付加する語）が分かり、その重複している語の数も確認できた。具体的には、日本語では「*-suru*」「*-na*」「-的」が付加される語数を集計した。単独語数をカウントし、一つの語尾が付加される語はどれくらい存在するのかを調べ、韓国語では「*-hada*（動詞/形容詞）」「*-doeda*」「-的」「単独語数」を調べた。

表 13 のクロス集計表は、日本語の漢字語に該当する語尾の付加が可能な語を集計したものである。[全体]から確認できるように、*-suru* が付加され動詞になる語は 609 語であり、*-na* が付加され形容動詞として使われる語は 171 語である。また、接尾辞の「-的」が付加可能な語は 157 語である。但し、クロスの集計表は、複数の語尾が付加される語も含まれている。例えば、*-suru* と*-na* の付加が可能な語や「-的」と*-na* の付加が可能な語などすべて含まれているため、各カテゴリーの単独語数も集計した。つまり、形容動詞の要素は持たず「-的」も付けられない動詞の語数は 529 語であり、動詞の要素も形容詞の要素も持たず単独で「-的」のみが付加する語が 95 語であった。

表 13.　日本語のクロス集計表

<日本語>

4級	V(-*suru*)	A(-*na*)	-的	単独語数
V(-*suru*)	15	1	0	14
A(-*na*)	1	12	0	11
-的	0	0	2	2
3級	V(-*suru*)	A(-*na*)	-的	単独語数
V(-*suru*)	72	7	7	58
A(-*na*)	7	21	1	13
-的	7	1	25	17
2級	V(-*suru*)	A(-*na*)	-的	単独語数
V(-*suru*)	522	18	47	457
A(-*na*)	18	138	7	113
-的	47	7	130	76
全体	V(-*suru*)	A(-*na*)	-的	単独語数
V(-*suru*)	609	26	54	529
A(-*na*)	26	171	8	137
-的	54	8	157	95

＜ V：動詞 / A：形容詞、単位：語数 ＞

［全体］の語数と２級の語数を比べるとほとんど差はないが、３、４級に比べ２級の語数が非常に多いことが分かる。これは日本語だけではなく韓国語も同様であった。まず表 13 の＜日本語＞では、動詞は 609 語で形容詞は 171 語である。この中に動詞と形容詞の両方を持っている漢字語は 26 語で、これらの 26 語には-*suru* も-*na* も付加されるため、品詞による意味の拡張が許されることを学習者は認識する必要があると考えられる。単独語数は、３級は 72 語のうち 58 語が単独で動詞になり（80.5％）、２級は 522 語のうち 457 語が単独で動詞になる（87.5％）。［全体］での動詞の単独語数の割合は 86.8％（609 語のうち 529 語）で

あり、レベルが上がるにつれ、*-suru* が付加される２字漢字語の確率が非常に高くなるという結果であった。また「-的」が付加される語は 157 語で、54 語が動詞として、８語が形容詞として、95 語が名詞として使われる語である。形容詞は８語であるが、使用頻度を考えると「-的」が付き「２字漢字語＋的」の形態でよく使われるのは「一般」「健康」「自然」「絶対」のわずか４語である。これ以外の４語は、「垂直的関係」「必要的記載事項」「水平的思考」「平和的解決」のように「-的」が付き合成語として使われている。このように、「-的」が付くとはいえ、全て同様に使われているわけではなく、直後に名詞が付加して使われる漢字語も存在している。

表 14.　韓国語のクロス集計表

<韓国語>

4級	V(-*hada*)	V(-*doeda*)	A(-*hada*)	- 的	単独語数
V(-*hada*)	18	5	0	0	13
V(-*doeda*)	5	5	0	0	0
A(-*hada*)	0	0	4	0	4
- 的	0	0	0	6	6
3級	V(-*hada*)	V(-*doeda*)	A(-*hada*)	- 的	単独語数
V(-*hada*)	70	27	1	11	35
V(-*doeda*)	27	27	0	4	0
A(-*hada*)	1	0	11	0	10
- 的	11	4	0	36	25
2級	V(-*hada*)	V(-*doeda*)	A(-*hada*)	- 的	単独語数
V(-*hada*)	543	287	8	94	210
V(-*doeda*)	287	291	5	53	1
A(-*hada*)	8	5	114	9	97
- 的	94	53	9	221	119
全体	V(-*hada*)	V(-*doeda*)	A(-*hada*)	- 的	単独語数
V(-*hada*)	631	319	9	105	258
V(-*doeda*)	319	323	5	57	1
A(-*hada*)	9	5	129	9	111
- 的	105	57	9	263	150

＜ V：動詞 / A：形容詞、単位：語数 ＞

一方表 14 の＜韓国語＞の場合は、動詞は*-hada* と*-doeda* を分けて集計しているが、*-hada* が付加される語と*-doeda* が付加される語は 1 語を除いて全て重なっている。動詞は 631 語で形容詞は 129 語である。この中に動詞と形容詞の両方を持っている漢字語は、*-hada* が付く動詞は９語で*-doeda* が付く語は５語である。これらのうち、３語が*-hada* と*-doeda* の両方が付き、韓国語では 11 語が動詞と形容詞の両方で使われている。日本語で 26 語に*-suru* と*-na* が付加されるのに比べ語数が少ないことを考えると、日本語の漢字語に含まれている意味を反映している品詞の範囲がやや広いのではないかと考えられる。単独語数は、３級は 70 語のうち 35 語が単独で動詞になり（50.0%）、２級の場合は 543 語のうち形容詞と「-的」付加語を除いた 443 語[24]が単独で動詞になる（81.1%）。「-的」が付加される語は 263 語で、動詞が 105 語、形容詞は９語、名詞は 150 語であった。また「-的」の付加が可能な語は、４級は６語、３級は 36 語、２級では 221 語が抽出された。「-的」が単独で付加される語とは、名詞であるということで、４級は６語全てが名詞のみで使われ、３級では 36 語のうち 11 語は動詞として使われ 25 語が名詞として使われる。また２級では、221 語のうち 119 語が名詞として使われている。

また、４級の動詞の場合は、18 語のうち５語は*-hada* と*-doeda* を併用している語であり、*-doeda* の単独では使われていない。このように*-hada* と*-doeda* が併用する語は、４級は５語（動詞の 18 語のうち 27.8%）、３級は 27 語（動詞の 70 語のうち 38.6%）であるが、２級では 287 語（動詞の 547 語のうち 52.7%）になり急増したことが分かった。これらのことから、レベルが上がることにつれ、学習者の能動態と受動態の使い分けの負担が大きくなることが

[24] *-hada* の単独語数（210 語）と*-doeda* の単独語数（1 語）に*-hada* と*-doeda* の両方が付く語数 232 語を合計したものである。

予測できる。

表 13 の＜日本語＞と表 14 の＜韓国語＞の［全体］を比べると、動詞は韓国語の方が 22 語多いことが分かる。つまり、韓国人学習者はこの日韓同様の 22 語の２字漢字語に対して、*-suru* を付けてしまう傾向があると考えられる。形容詞は日本語の方が 171 語で韓国語(129 語)より 42 語多いことが分かる。この 171 語のうち動詞と併用する語は 26 語で、この中でも韓国語でも同様に動詞と形容詞を併用する語は２語（「無理」、「満足」）であった。「-的」付加の場合、韓国語では 263 語に「-的」の付加が可能で、日本語は 157 語に付加可能であり、韓国語の方が 106 語多かった。これで「-的」の付加に関しては両言語の語数の差が非常に大きいことが分かった。特に、日本語では付加できないが韓国語で可能な語が 129 語で、日本語では付加が可能であるが韓国語では不可能な語は 23 語であった。

4.4.3.　日韓両言語における品詞が相違する２字漢字語

4.4.3.1.　語尾にずれがある語

日本語と韓国語における同形語でも、品詞が必ずしも一致するわけではない。以下の表 15 は、日韓漢字語を品詞別に分類して語数を集計したものである。

まず表 15 の①は、両言語とも動詞として韓国語には*-hada* が日本語には*-suru* が付加する。ただ、*-hada* ではなく*-doeda* のみが付加する「損害」は含まれていないため、両方とも動詞を表す場合は、557 語になり最も多くの割合を占めている。

一方、②と③は日本語と韓国語の動詞や名詞の条件がクロスされた場合である。つまり、②の漢字語は*-suru* を付加し動詞として使われるが、韓国語では*-hada* は付加せず名詞として

使われる語である。一方③の漢字語は*-suru* も*-na* も付加せず名詞として使われる漢字語で、韓国語では*-hada* を付け動詞として使われる語である。④は日韓両言語ともに同じ形容詞であるが、語尾形式の「ずれ」を、韓国人日本語学習者に認識させる必要がある。つまり、日韓両言語の品詞と語尾の「ずれ」を明確にすることが必要であると考えられる。最後に⑤と⑥は、同形の漢字語において両言語の品詞が互いに動詞と形容詞が逆になっている語の数である。②と③に比べ、語数がわずかであり、同形語に限られるため、両言語間で品詞情報は異なる漢字語であることを念頭に置く必要がある漢字語であろう。つまり、韓国語では動詞として使い日本語では形容詞、または動詞として使われる一方、韓国語では形容詞として使われる語である。前者が「架空」「過剰」「懸命」「強引」「得意」「必死」の６語で、後者が「一定」「謙遜」「混雑」「徹底」「広々」の５語である。

表 15．　日韓漢字語間に相違する内容による語の集計

日韓漢字語の対照		
①	両方，動詞として*-hada*や*-suru*が付く語	556 語
	〔両方, 動詞である漢字語(*-hada*は付加せず*-doeda*が付加する1語が加わる)	557 語
②	日本語では動詞であるが、韓国語では名詞である語	36 語
③	日本語では名詞(あるいは副詞)であるが、韓国語では動詞である語	66 語
④	日韓ともに，形容詞である語	93 語
⑤	同形語で、韓国語では動詞，日本語では形容詞	6 語
⑥	同形語で、日本語では動詞，韓国語では形容詞	5 語

4.4.3.2. 韓国語に存在しない漢字語

本調査の対象とした２字漢字語 2,060 語のうち、日本語にあり韓国語には存在しない語は 188 語であった。これらの 188 語を、２種類の辞書で調べた結果、19 語に*-suru* が付加され動詞として使われている。具体的には、表 16 のとおりである。

表 16. 日本語のみに存在する漢字語のうち、動詞化が可能な漢字語

No	表記	日読み	~*suru* (V)	~*na* (A)	品詞	頻度	級
1	心配	しんぱい	1	1	名･他サ変･形動	22071	3
2	世話	せわ	1	0	名, 他サ変	5097	3
3	商売	しょうばい	1	0	名･ス他	4889	2
4	承知	しょうち	1	0	名･他サ変	4306	3
5	返事	へんじ	1	0	名･自サ変	4173	3
6	味方	みかた	1	0	名、自サ変	2123	2
7	喧嘩	けんか	1	0	名･自サ変	2090	3
8	真似	まね	1	0	名, 自他サ変	1786	2
9	見物	けんぶつ	1	0	名･他サ変	1188	3
10	合図	あいず	1	0	名･自他サ変	884	2
11	作製	さくせい	1	0	名･他サ変	766	2
12	泥棒	どろぼう	1	0	名･他サ変	758	3
13	支度	したく	1	0	名･他サ変	751	3
14	油断	ゆだん	1	0	名･自サ変	738	2
15	両替	りょうがえ	1	0	名･他サ変	638	2
16	退屈	たいくつ	1	1	名･自サ変･形動	525	2
17	挨拶	あいさつ	1	0	名, 自サ変	193	3
18	寝坊	ねぼう	1	1	名･形動･自サ変	52	3
19	頂戴	ちょうだい	1	0	名, 他サ変	44	2

表 16 の品詞欄から分かるように 19 語のうち、「心配」「退屈」「寝坊」は形容動詞としても使われる。級別では、３級の語が 10 語で、２級が９語である。このことから、日本語

能力が初級であれ上級であれ、日本語独自の語彙の語数が、レベルが上がるにつれ増えるというわけではないことが分かった。むしろ、今までの漢字語の調査の結果から確認できたように、日本語の能力が上がるにつれ、日韓同形漢字語において動詞化および形容詞化する漢字語には相違点がみられた。このことは韓国人日本語学習者にとって、母語の影響で困難を感じる傾向が想定されると考えられる。

4.5. 調査の結果および考察 - 日本語教育への提案 -

本研究では、『旧試験』の２、３、４級の語彙から２字漢字語を対象とし、日韓両言語の類似点や相違点を、漢字語に付加される語尾の対照から計量的に検討し、これらの計量的な結果から両言語に存在するずれから分かる特徴を明らかにした。本稿で問題点として取り上げた（１）名詞が動詞化あるいは形容詞化（*-da*/*-hada*）する語で日韓ずれがある語（２）日韓両言語ともに動詞でも、その漢字語が能動態（*-suru*/*-hada*）か受動態（*-sareru*/*-doeda*）かにより、日韓でずれが生じる語（３）形容詞の性質を持つ接尾辞「-的」の付加のずれに関して、以下に、日本語学習者に有効な学習法を提案したい。

(1) 名詞が動詞化あるいは形容詞化（日本語では，*-da* / 韓国語では，*-hada*）する語で日韓にずれがある語がある。

これらのずれに関しては、まず両言語の動詞と形容詞の語尾の違いを認識させるのが重要であると考えられる。その上で、本調査対象語の 1,872 語のうち動詞が占めている割合は、日本語の 609 語（32.5%）と、韓国語の 631 語（33.7%）で、韓国語は日本語より 22 語多く、

形容詞の場合は日本語（171 語）の方が韓国語（129 語）より多かった。日本語では形容詞として使われるが韓国語では動詞とも形容詞ともならない 47 語に関しても言及し提示するのが望ましいと考えられる。一方、動詞と形容詞の両品詞を持っているものがあり、日本語は 26 語、韓国語は 11 語であった。韓国語の場合は、動詞になる語として*-hada*（９語）と*-doeda*（５語）が付加する語のうち形容詞とは３語が重なるため、動詞になる語と形容詞になる語は 11 語である。このように同様の漢字語において品詞が異なるということは、両言語において意味の領域や使い分けが相違するということである。そこに注意を払わせることによって両言語が相違することを認識されることができよう。

(2) 日韓両言語ともに動詞でも、その漢字語が能動態（日本語では，*-suru* / 韓国語では，*-hada*）か受動態（日本語では，*-sareru* / 韓国語では，*-doeda*）かにより、日韓でずれが生じる語がある。

態の問題においては、本調査で行ったのは韓国語の態のみである。韓国語の場合は、辞書に見出し語として*-doeda* が可能かどうか明示されているが、日本語の場合は、*-sareru* については辞書では言及されていない。そのため、本調査では韓国語のみ受動態を調査し、割合を検討した。両言語を直接対照はできないが、韓国語内での割合を検討すると、319 語（*-hada* が可能な語のうち 50.6%）が能動態・受動態が可能である。ただし、韓国語の態の使用においては、文による使用程度は異なるため、能動態より受動態の方がより自然に使われる漢字語もある。このような漢字語に関しては、韓国語で自然な受動態の語が日本語ではどのように対応するのかをまず認識しておくべきだと考えられる。

(3) 形容詞の性質を持つ接尾辞「-的」の付加に日韓間にずれがある。

「-的」付加のずれに関しては、両言語を各々集計した語数だけで 106 語の差があることから両言語の違いが明確であるということを認識させる。また、韓国語では付加しない 23 語もあるが、日本語では付加されない 129 語の方を提示し、これらの語に関しては「-的」が付かないことを提示することが有効であろう。特に、「-的」の使用に関しては両言語間に使い分けの違いが存在することも認識させることが望ましい。

その他に、本調査から分かったことのうち、次の２点を提案する。まず１点目は、両言語において同形の漢字語でありながら品詞に「ずれ」がある語（表 15 の②と③）や両言語で品詞が逆である語（表 15 の⑤と⑥）が存在していることを認識させる。ただし、⑤の場合は「過剰」「懸命」「得意」「元々」、⑥の場合は「広々」が、韓国語の辞典に記載されているだけであり、韓国語における使用頻度としては非常に低いため、日本語独特の漢字語としての指導方法がより有効であると考えられる。２点目は、日本語ではあるが韓国語では存在しない語を把握させることである。日本語には存在し韓国語にはない漢字語（表 16）の 188 語のうち、19 語に*-suru* が付加可能であり、「心配」「退屈」「寝坊」は形容動詞としても使用される。漢字語の級別の割合をみると、日韓両言語に存在する語は２級で急増するのに比べ、これらの 19 語は、４級にはなく、３級より２級の語が１語少なかった。このように、日本独自の漢字語の中でも、動詞化・形容詞化する語に関しては、名詞としての使用より語尾が付加された形態として早い時期から導入することがで、有効な学習に繋がると考えられる。

本調査から、日韓２字漢字語の語尾の割合は対照できたが、日常での使用頻度は考慮していないため、韓国語に存在していても実際に韓国語母語話者にいかに認識されているのかは

明確ではない。特に、教える側として指導する際は使用頻度を考慮することが重要だと考えられる。

4.6. おわりに

本研究では、日韓両言語に共通した 1,872 語の２字漢字語のうち、日韓２字漢字語がいかに類似し、相違しているのかを計量的に検討した。これらの漢字語に語尾が付き述語として使用されるという類似点を基に、同様の語尾でも品詞が異なる語や、同様の品詞でありつつも能動や受動のような「ずれ」がある語を抽出し、両言語における品詞特徴を検討した。今回の調査で日韓漢字語に付加される語尾にどのような相違点があるのかを検討したが、本調査の対象語である 1,872 語の中には、現代韓国語では使用頻度が非常に低い語がいくつかみられた。より有効な使い方や語彙的比較を行うためには、日常的に使用される高使用頻度の漢字語を対象とし、使用する場面においてはどのような使い分けがなされているのかを検討するという課題が残っている。

第５章

日韓２字漢字語
データベースの作成

5.1.　はじめに

本章では、本研究で述べてきた議論に基づき、日韓両言語において最も頻繁に使われている２字漢字語の形態的な要素に重点をおいて作成したデータベースについて述べる。日本語の漢字語を抽出する際には、日本語学習において必要とする基本語彙を対象とし、韓国語の漢字語を抽出するにあたっては、韓国語において使用頻度の高い語彙を対象とした。その手法として韓国語コーパス『21 世紀　世宗計画』を利用した。このように、両言語において調査の対象とした語彙の選定の基準を異なる方法に設定したのは、韓国語を母語とする日本語学習者と、日本語を母語とする韓国語学習者における２字漢字語の語彙的特徴や、漢字語に付加する語尾の傾向が比較対照できるようにするためである。ここでは、日本語と韓国語の２字漢字語の形態的類似性や相違性による使い分けが明確に分かるように作成した。

本章の趣旨は、漢字語の品詞および特性に着目し、日本語の漢字語に付加する語尾や韓国語の漢字語に付加する語尾の傾向をみることで、両言語の学習が効果的に行われることを目的とするものである。

5.2. データベースの構成および調査項目

5.2.1. データベースの構成

本論で作成するデータベースは、データの特徴により３つの資料に分けて記載した。こ

の３つの資料には、次の内容のデータを載せた。

（１）「資料Ⅰ」日本語２字漢字語 2,060 語

（２）「資料Ⅱ」日韓同形２字漢字語 3,419 語

（３）「資料Ⅲ」韓国語２字漢字語 2,000 語

以上３つの資料のうち＜「資料Ⅰ」日本語２字漢字語 2,060 語＞と＜「資料Ⅱ」日韓同形２字漢字語 3,419 語＞は、日本語における２字漢字語を中心に作成したものである。この２つの資料は、『旧試験』の語彙から２字漢字語を抽出し調査対象としたものである。調査においては２字漢字語の品詞の情報を得、語尾形態素の変形の確認ができるようにまとめた。また、「資料Ⅲ」は、韓国語の高使用頻度の２字漢字語を中心とし、「資料Ⅰ」と「資料Ⅱ」の同様のデータ項目を作成したものである。

以上の「資料Ⅰ」「資料Ⅱ」「資料Ⅲ」の作成手順や過程および調査の結果を、資料ごとに分けて述べていく。まず、各資料における調査項目から述べる。

5.2.2. データの調査項目

本節では、本データベースの２字漢字語の調査項目について述べる。本データベースは、日韓両言語とも一定の基準に従って抽出した２字漢字語に対して､以下の基準で調査を行った。まず、日本語の場合は、以下の項目を調べた。

（１）動詞として*-suru* が付加されるかどうか。

（２）形容動詞として*-na* が付加されるかどうか。

（３）接尾辞の「-的/*-teki*/」が付加されるかどうか。

次に、韓国語の場合は、以下の項目を調べた。

（１）動詞として*-hada* または*-doeda* が付加されるかどうか。

（２）形容詞として*-hada* が付加されるかどうか。

（３）接尾辞の「-的/*-jeog*/」が付加されるかどうか。

調査項目に対して、入力方法はすべての漢字語において、該当する項目が付加可能な語であれば１を、付加が不可能な語は０を入れた。調査項目と方法は以下のとおりである。

5.2.2.1. 日本語における調査項目

「*-suru*」が付加可能な漢字語においては、日本語辞書の見出し語の品詞情報は、辞書によって様々である。品詞の情報は基本的に見出し語の後に続くが、語種によって品詞の表示が示されていない辞書もある。本論のデータ項目である*-suru* の付加可否においては、「サ変動詞」「スル」と記述されている場合や「他サ変」「自サ変」「自他サ変」のようにサ変動詞の自他可否の詳細な情報が記述されている場合もある。各資料の調査においては、参照した辞書の記述に従い記入した。

「*-na*」が付加可能な漢字語においては、見出し語に*-na* が付加するかどうかの情報の確認ができず、まず「形容動詞」であるかどうかという品詞の情報が必要であった。そこで、見出し語が「形容動詞」であるかどうかをデータに記入した。本研究の調査項目として取り扱ったのは、連体形としての*-na* の付加可否である。しかし、辞書の記述では、*-na* の付加可否は判断できないため、データベースには辞書上の情報として「形動」と記述されていれば

それを優先した。そこで、品詞情報だけでは、*-na* の付加・非付加の判断ができないため、BCCWJ の検索例の検討や母語話者の調査から確認作業を行った。

5.2.2.2. 韓国語における調査項目

「*-hada*」が付加可能な漢字語においては、*-hada* が後続した見出し語の場合は、動詞なのか形容詞なのかという品詞の確認が必要であった。品詞の表示は、基本的に見出し語の下に記されている。動詞と形容詞の両方を持っている漢字語の場合は、[１]と[２]の番号が付き表示されている。まず＜[１][動詞]＞という品詞表示があり、その意味が記述された後、その次に＜[２][形容詞]＞という品詞表示があり、その意味が記述されて両方の意味が確認できるようになっている。辞書の記述を参考にし、それらの情報をデータベースに反映した。

「*-doeda*」が付加可能な漢字語においては、*-doeda* の付加が可能な語も*-hada* が可能な語と同様に、見出し語に続き、品詞が表示され動詞か形容詞かの確認ができるようになっている。*-doeda* が付加する漢字語はほぼ動詞であるが、動詞か形容詞かの確認作業が必要であった。

5.2.2.3. 日本語と韓国語の共通の調査項目の「-的」

「-的」は日本語（*/-teki/*）でも韓国語（*/-jeog/*）でも適用される項目であり、両方とも辞書の見出し語として取り上げられていたため、付加可否を確認できた。そのため基本的には辞書の記述に従った。ただし、辞書の記述と実際の使用においては両言語間にやや違いが生じたため、日本語の場合は辞書の情報だけではなく日常での使用も確認する作業が必要だった。そこで、日本語の場合は BCCWJ を利用して用例文を検索する作業を行った。

5.3. データベース「資料Ｉ」の作成過程および結果

5.3.1.「「資料Ｉ」日本語２字漢字語 2,060 語」の作成過程

「資料Ｉ」における漢字語は、第４章で述べた「日韓漢字語基本資料」と同様のデータである。ただし、５章では、データ作成に重点をおき、より詳細な情報を追加した。「資料Ｉ」は、日本語の漢字語の中でも、特に日本語を学習するに当たって、初・中級のレベルに相当する学習者に必要な基本的な２字漢字語に焦点を当てたものである。そのために、『旧試験』の語彙のうち、４、３、２級の２字漢字語を抽出し、作成を行った。

5.3.1.1. 「資料Ｉ」の趣旨および内容

「資料Ｉ」は、『旧試験』の４、３、２級の語彙から、２字からなる漢字語を抽出したものである。日本語の漢字語の品詞情報を含め、日韓漢字語の特性が比較できるように、５つのシートを設けた。この５つのシートの具体的な内容は次のとおりである。

〔シート１〕「2,060 語の日本語辞書調査」では、『旧試験』の２級までの語彙のうち２字漢字語を抽出した 2,060 語を対象とした。これらの 2,060 語を対し、辞書の記述を参照し品詞の情報を載せた。

〔シート２〕「1,872 語の日韓同形２字漢字語」には、〔シート１〕で対象とした 2,060 語のうち、日本語と韓国語との同形語を抽出した 1,872 語の情報を載せた。これらの 1,872 語を対し、日本語の品詞情報と韓国語の品詞情報を対応させ、両言語の語尾付加の情報が比較

できるようリスト化したものである。

〔シート３〕「韓国語に無い漢字語 188 語」は、2,060 語のうち韓国語には存在しない漢字語を別に設け、日本語独自の漢字語の特徴や品詞情報が分かるようリスト化したものである。

〔シート４〕「日韓同形語の品詞別割合」は、日韓同形語の 1,872 語を、日韓両言語で動詞と形容詞の比率を出し、各級別における動詞や形容詞の漢字語を載せたものである。ここでは、両言語の漢字語の動詞や形容詞、また「-的」付加可否の確認ができ、これらの双方について比較ができるようにした。

〔シート５〕「日韓の形容詞性２字漢字語」は、日本語と韓国語との間に存在する形容詞の漢字語を載せたもので、両言語で形容詞性が一致するかどうかを比較できるよう作成したものである。ここでは、日本語における形容詞性を表す漢字語に対し、韓国語の漢字語はいかなる品詞情報であるのかが確認できる。

5.3.1.2.「資料Ｉ」作成における参照資料

「資料Ｉ」の日本語２字漢字語 2,060 語のデータベースの作成における手順について述べる。「資料Ｉ」の作成においては、以下の日本の５種類と韓国の１種類の辞書を取り上げた[25]。

【日本語資料】『明鏡国語辞典』第二版；約６万４千語

『新明解国語辞典』第七版；約７万７千語

『角川新国語辞典』初版；約７万５千語

『岩波国語辞書』第六版；約６万３千語

『旺文社詳解国語辞典』初版；約４万４千語

[25] 辞書の選択において、基準にしたのは「サ変動詞」の記載情報があるものに限った。再販になっているものは、最新版を取り扱った。

【韓国語資料】『標準国語大辞典』[26]；約 51 万語

「資料Ｉ」で参照した資料として、日本語においては５種類を使用し、韓国語においては１種類を使用した。日本語の調査において、５種類の辞書を選んだのは、各辞書で品詞情報が異なっていたためである。辞書に掲載されている品詞の情報に辞書それぞれの特徴があったため、辞書の特徴を考慮しつつデータに反映した。

5.3.1.3. 「資料Ｉ」の作業手順

「資料Ｉ」の作業の手順は次のとおりである。日本語の使用頻度に関しては、NTT データベースシリーズを参照した。

①『旧試験』の語彙のうち４・３・２級から 2 字漢字語を抽出した。

↓

②2,060 語が抽出され、これらの語に対して以上の５種類の辞書を使った。全ての辞書の品詞を確認し、情報を記入した。

↓

③2,060 語を、韓国語に存在する語と存在しない語に分けた。韓国語にあるかどうかは、韓国の国立国語院が出した『標準国語大辞典』の見出し語にあるかどうかで判断した。

↓

[26] 『標準国語大辞典』には、509,076 語の表題語（見出し語）が掲載されている。表題語は主表題語と副表題語に分けて表記されており、主表題語が 440,594 語で、副表題語が 68,482 語である。一つの「見出し語」において、「語源表示」「発音」「意味および用例」「活用情報」「品詞」「関連語彙」「参考語彙」「慣用句およびことわざ」などの情報が掲載されている（李于錫, 2002）。

④『標準国語大辞典』を使い、韓国語における存在の有無を判断すると同時に、韓国語での品詞の情報を調べた。

5.3.2. 「資料Ｉ」のデータ作成結果

5.3.2.1. 「資料Ｉ」の作成における集計結果

「資料Ｉ」では、初級や中級における日韓同形の２字漢字語の割合の確認ができ、中級までのレベルでは日韓の間でどれほど類似しているかを確認するためであった。「資料Ｉ」の日韓における２字漢字語の集計結果は、次の表 17 のとおりである。

表 17. 「資料Ｉ」の２字漢字語の集計表

級	日本語全体	韓国語に有	韓国語に無
4	176 語	145 語	31 語
3	218 語	187 語	31 語
2	1,666 語	1,540 語	126 語
合計	2,060 語	1,872 語 (90.9%)	188 語 (9.1%)

「資料Ｉ」の日韓間の漢字語の対照関係に関しては、第４章で詳しく述べた。本章では、データベースの作成内容や活用について述べる。

5.3.2.2. 「資料Ⅰ」の各シートの内容の検討

「資料Ⅰ」〔シート1〕「2,060 語の日本語辞書調査」

2,060 語に対して辞書調査を行った際、辞書の目的によって品詞の情報や記述方法は様々であった。品詞情報の偏りがないよう 5.3.1.2 で言及した５種類の辞書を用いて調査を行った。同時に、辞書によって、見出し語として記載されていない漢字語は「×」で印を付けた。これらの未記載語も辞書によって様々であり、３種類の辞書からは 2,060 語のうち７語が見出し語として見つからず、１種類の辞書からは 53 語が見出し語として掲載されていなかった。具体的な語をみると、「番目」は５種類の全ての辞書において見つからず、「南米」「一月」「豚肉」「鳥肉」は４種類の辞書に見出し語としてなかった。〔シート１〕を作成した一部のデータ例は、次の表 18 のとおりである。

表 18. 「資料Ⅰ」〔シート１〕の一例

№	表層語	読み	新明解国語辞典	角川 新国語辞典	岩波 国語辞書	明鏡 国語辞典	旺文社 詳解国語辞典	頻度	級
1	明日	あした･あす･みょうにち	あすの口語;副詞的にも	名詞	・	名	名	2228	4
2	医者	いしゃ	・	名	・	名	名	4660	4
3	椅子	いす	・	名	・	名	名	257	4
4	一日	いちにち	・	名	・	名	名	18614	4
5	一番	いちばん	①－;②副詞	名･副	名･副	名･副	①名②副	15195	4
…									
177	挨拶	あいさつ	自サ	名･自サ変	名･ス自	名, 自サ変	名･自スル	193	3
178	朝飯	あさめし	朝ご飯のぞんざいな言い方	名	X	名	名	42	3
179	安心	あんしん	自サ	名･自サ変･形動	名ナノ･ス自	名･自サ変	名･形動･自スル	7039	3
180	安全	あんぜん	な･に	名･形動	名･ダナ	名･形動	名･形動	23819	3
181	案内	あんない	他サ	名･他サ変	①名･ス他 ②名	名, 他サ変	①名･他スル②名	5935	3
…									
395	愛情	あいじょう	・	名	・	名	名	2107	2
396	合図	あいず	自他サ	名･自サ変	名･ス他	名･自他サ変	名･自スル	884	2
397	相手	あいて	・	名	・	名	名	38539	2
398	生憎	あいにく	副(な･の)	副･形動	ダノナ･副(と)	副･形動	副･形動	137	2
399	曖昧	あいまい	な･に	形動	ダナ	形動, 名	形動	129	2
…									

「資料Ⅰ」〔シート2〕「1,872 語の日韓同形2字漢字語」

日本語の 2,060 語の漢字語が韓国語に存在するか否かを調べた。調査においては、韓国の辞書の『標準国語大辞典』を利用した。〔シート２〕のデータ作成の一部を挙げると、次の表 19 のとおりである。

表 19.　「資料Ⅰ」〔シート２〕の一例

No	表記	日読み	~suru (Verb)	~na (Adjective)	～的	級	表記	韓読み	~hada (V-Active)	~doeda (V-Passive)	~hada (Adjective)	~的
1	明日	あした・あす・みょうにち	0	0	0	4	明日	명일	0	0	0	0
2	医者	いしゃ	0	0	0	4	醫者	의자	0	0	0	0
3	椅子	いす	0	0	0	4	椅子	의자	0	0	0	0
4	一日	いちにち	0	0	0	4	一日	일일	0	0	0	0
5	一番	いちばん	0	0	0	4	一番	일번	0	0	0	0
						…						
146	朝飯	あさめし	0	0	0	3	朝飯	조반	1	0	0	0
147	安心	あんしん	1	1	0	3	安心	안심	1	1	0	0
148	安全	あんぜん	0	1	0	3	安全	안전	0	0	1	0
149	案内	あんない	1	0	0	3	案内	안내	1	1	0	0
150	以下	いか	0	0	0	3	以下	이하	0	0	0	0
						…						
333	愛情	あいじょう	0	0	0	2	愛情	애정	0	0	0	0
334	曖昧	あいまい	0	1	0	2	曖昧	애매	0	0	1	0
335	握手	あくしゅ	1	0	0	2	握手	악수	1	0	0	0
336	欠伸	あくび	0	0	0	2	欠伸	흠신	1	0	0	0
337	悪魔	あくま	0	0	0	2	悪魔	악마	0	0	0	1
						…						

見出し語になかった語は韓国語に存在しない漢字語として「ー」で示し、2,060 語を韓国語にある語とない語に分けた。その結果、日本語の 2,060 語のうち韓国語にもある日韓同形

語が 1,872 語であり、188 語は見出し語としてなかった。2,060 語のうち 1,872 語の日韓における割合をみると、表 17 から分かるように、４級では 82.3%（145 語 / 176 語）が同形語で、３級では 85.8%（187 語 / 218 語）、また２級では 92.4%（1,540 語 / 1,666 語）が同形語で、２級での同形語の比率が非常に高くなった。つまり、レベルが上がることにより、同形漢字語が増えていることが分かった。〔シート２〕には、これらの 1,872 語に対し、両言語の調査項目である日韓漢字語に付加される語尾を調べ、相互間に比較対照できるように記載した。

「資料Ｉ」〔シート3〕「韓国語に無い漢字語 188 語」

日本語の 2,060 語のうち 188 語は、韓国の辞書には見つからず、日本語独自の漢字語であった。レベル別の割合をみると、5.3.2.1.の表 17 に示したように、188 語のうち３、４級は 31 語で各々16.5%であるのに比べ、２級は 126 語で 67%に至り、中級のレベルになり日本語としての学習する負担も増えるが、全体の割合からみると、４級は 17.6%（176 語のうち 31 語）で、３級は 14.2%（218 語のうち 31 語）、２級は 7.5%（1,666 語のうち 126 語）になる。つまり、各レベルに該当する語彙の割合を考えると２級の方が最も負担が少ないことが分かる。〔シート３〕のデータの作成の一部例は、次の表 20 のとおりである。

また、188 語のうち*-suru* を付加し動詞として使われる語は 20 語であったのに比べ、形容詞は 35 語であった。全体語数（2,060 語）のうち動詞と形容詞の割合を比べ、形容詞の語数が動詞の語数より明らかに多いという逆の傾向がみられた。つまり割合からみると、動詞より形容詞の方が、韓国語にない日本語の独自の漢字語が多いということである。

表 20.　「資料Ｉ」〔シート３〕の一例

No	表記	日読み	~suru (Verb)	~na (Adjective)	～的	品詞	頻度	級
1	一緒	いっしょ	0	0	0	名	5755	4
2	上着	うわぎ	0	0	0	名	855	4
3	切符	きっぷ	0	0	0	名	2271	4
4	靴下	くつした	0	0	0	名	645	4
5	言葉	ことば	0	0	0	名	53016	4
				…				
32	挨拶	あいさつ	1	0	0	名	193	3
33	格好	かっこう	0	1	0	形動・名	2449	3
34	彼女	かのじょ	0	0	0	代	14209	3
35	着物	きもの	0	0	0	名	1870	3
36	近所	きんじょ	0	0	0	名	6007	3
				…				
63	合図	あいず	1	0	0	名	884	2
64	相手	あいて	0	0	0	名	38539	2
65	生憎	あいにく	0	1	0	副	137	2
66	足元	あしもと	0	0	0	名	3915	2
67	宛名	あてな	0	0	0	名	497	2
				…				

最後に、この 188 語のうち「-的」が付加する漢字語はなかった。これで「-的」は和語の漢字語には付加しないという特徴が明確であることが分かった。日本語独自の漢字語の集計語数は、次の表 21 のとおりである。

表 21.　韓国語には無い２字漢字語に付加される語尾の集計

	-suru	*-na*	- 的
４級	0	4	0
３級	9	6	0
２級	11	25	0
合計	20	35	0

＜単位；語＞

「資料Ⅰ」〔シート4〕「日韓同形語の品詞別割合」

〔シート４〕では、1,872 語のうち動詞・形容詞として用いることが可能な語の比率が確認できるようにした。 第４章の表 13 から分かるように、全体的な割合をみると、動詞の割合は韓国語の方がやや多いがそれほど変わらないことがわかる。しかし、形容詞の場合は韓国語の方が非常に低い集計結果が出た。

日本語で形容詞として使われる漢字語の多くは、韓国語では様々な形で使用されるかまたは日常ではほぼ使われていない語が多かった。例えば、２級の漢字語の場合、日本語では形容詞として使われる漢字語の中で、韓国語では「一般」「傑作」「幸運」「丈夫」などは名詞として使われるのが一般的であるが、「懸命」「感心」「地味」「強気」などは現代の韓国語として日常生活での使用がほとんどない漢字語である。

一方、日韓両言語で*-suru/ -hada* の使用において、ずれがある漢字語がある。表 22 と表 23 に示したように、韓国語では*-hada* を付加して使われる語が日本語では名詞で使われる語（表 22）や韓国語では名詞および副詞として使われる語（表 23）が日本語では*-suru* を付加して使われる語がある。

表 22 は、形容詞を除いた動詞のみを対象としその一部を挙げたものである。表 22 のうち、

特に「 観光(관광)/ *gwangwang/* 」「 行事（행사）/ *haengsa/* 」の場合は、*-hada* を付加した形式で、日常での使用頻度も高い語である。

表 22.　日韓漢字語における*-hada* と*-suru* のズレ①

No	表記	韓読み	*~hada*	*~doeda*	表記	日読み	*~suru*
1	政治	정치	1	0	政治	せいじ	0
2	専門	전문	1	0	専門	せんもん	0
3	電報	전보	1	0	電報	でんぽう	0
4	演劇	연극	1	0	演劇	えんげき	0
5	外交	외교	1	0	外交	がいこう	0
6	観光	관광	1	0	観光	かんこう	0
7	行事	행사	1	0	行事	ぎょうじ	0
8	組合	조합	1	1	組合	くみあい	0
9	期限	기한	1	0	期限	きげん	0
10	豫備	예비	1	0	予備	よび	0

表 23. 日韓漢字語における*-hada* と*-suru* のズレ②

No	表記	韓読み	*~hada*	*~doeda*	表記	日読み	*~suru*
1	意見	의견	0	0	意見	いけん	1
2	故障	고장	0	0	故障	こしょう	1
3	利益	이익	0	0	利益	りえき	1
4	勝負	승부	0	0	勝負	しょうぶ	1
5	熱心	열심	0	0	熱心	ねっしん	1
6	矛盾	모순	0	1	矛盾	むじゅん	1
7	苦痛	고통	0	0	苦痛	くつう	1
8	印象	인상	0	0	印象	いんしょう	1
9	影響	영향	0	0	影響	えいきょう	1
10	孝行	효행	0	0	孝行	こうこう	1

以上〔シート４〕では、日韓同形語の 1,872 語の中から両言語の品詞別の占有率が把握でき、その比率を把握することことができた。また、表 22 と表 23 のように動詞と形容詞のずれがある漢字語の確認もできた。それにより、日韓同形２字漢字語に付加される語尾の形態的なずれが観察でき、双方の言語形式の情報が得られたと考えられる。

図 2 は、1,872 語に対し、両言語における動詞化する語尾と形容詞化する語尾のずれを割合で示したものである。「日１韓０」は、日本語では当該の形態的語尾が付加するもので、韓国語には付加しない語である。「日０韓１」は韓国語では当該の形態的語尾が付加するもので、日本語には付加しない語である。最もずれが大きかったのは「的」が付加される語であった。具体的には、韓国語では「的」が付加されるが、日本語では付加しない語が 129 語で、韓国語では付かないが、日本語では付加する語は 23 語であった。

図２．1,872 語に対し、両言語間の動詞化および形容詞化する語尾のずれ

「資料Ⅰ」〔シート5〕「日韓の形容詞性2字漢字語」

〔シート５〕では、両言語における形容詞を比較できるデータを載せた。日本語と韓国語における２字漢字語の形容詞化の可否が同時に比較できるよう、「一致有無」欄を設けた。ここには、両言語で形容詞になることが一致する場合は１を、一致しない場合は０を入力した。その結果、日本語の形容詞は 171 語であり、韓国語の形容詞は 129 語のうち、形容詞として共通の漢字語は 104 語であった。一致していない漢字語は、日本語は 67 語で、韓国語の場合は 25 語であった。以下の表 24 は、〔シート５〕のデータの入力例の一部である。

表 24.「資料Ⅰ」〔シート５〕の一例

No	表記	日読み	~suru (Verb)	~na (Adjective)	～的	級	一致有無	表記	韓読み	~hada (Adjective)	~hada (V-Active)	~doeda (V-Passive)	~的
1	色々	いろいろ	0	1	0	4	0	色色	색색	0	0	0	0
2	黄色	きいろ	0	1	0	4	0	黄色	황색	0	0	0	0
3	綺麗	きれい	0	1	0	4	1	綺麗	기려	1	0	0	0
4	結構	けっこう	1	1	0	4	0	結構	결구	0	1	0	0
							…						
13	安心	あんしん	1	1	0	3	0	安心	안심	0	1	1	0
14	安全	あんぜん	0	1	0	3	1	安全	안전	1	0	0	0
15	簡単	かんたん	0	1	0	3	1	簡単	간단	1	0	0	0
16	危険	きけん	0	1	0	3	1	危険	위험	1	0	0	0
17	時代	じだい	0	1	0	3	0	時代	시대	0	0	0	1
18	失礼	しつれい	1	1	0	3	0	失礼	실례	0	1	1	0
							…						
34	曖昧	あいまい	0	1	0	2	1	曖昧	애매	1	0	0	0
35	安易	あんい	0	1	0	2	1	安易	안이	1	0	0	0
36	安定	あんてい	1	1	0	2	0	安定	안정	0	1	1	1
37	意外	いがい	0	1	0	2	0	意外	의외	0	0	0	0
38	異常	いじょう	0	1	0	2	1	異常	이상	1	0	0	0
39	偉大	いだい	0	1	0	2	1	偉大	위대	1	0	0	0
							…						

一方、両言語で一致していない漢字語は、双方異なる品詞で使われている。例えば、韓国語では形容詞として、日本語では動詞として使われる語が 12 語あり、その他の 13 語は名詞か副詞として使われている。その一方で、日本語では形容詞として、韓国語では動詞として使われる語が 19 語、その他の 48 語は、名詞か副詞として使われるが、「上手」「邪魔」「地味」「平気」「近頃」など韓国では非常に使用頻度が低い語もあった。このように一致しない漢字語に関しては、日本語における形容詞でも、韓国語とは異なる意味として理解しておくべきであると考えられる。

ただし、これらの 196 語の形容詞がすべて両言語において、高い頻度で使われるわけではない。日本語では 4 級の初級語彙に相当する「綺麗（기려/*gilyeo*/）」や「結構（결구/*gyeolgu*/）」の場合は、韓国語では現在の日常では使わず、「多分（다분/ *dabun* /）」「高級（고급/ *gogeub*/）」などは名詞として、「丁寧(정녕/*jeongnyeong* /)」は副詞として使われることが多い漢字語である。また、これらの 196 語に付加する語尾のうち、形容詞として*-hada* を付加して使うより、形容詞的な性質を持っている「-的」の接尾辞を付加して使う傾向がある語もある。そこで、これらの 196 語のうち「-的」が付加する語数を集計した。その結果、日本語が 11 語で、韓国語は 19 語であった。集計の結果を、表 25 に示した。

表 25. 196 語のうち「-的」が付加される語として、形容詞の語尾の可否

形容詞語尾	日本語（*-na*）	韓国語（*-hada*）
	11 語	19 語
付加	8 語	9 語
非付加	3 語	10 語

表 25 のように、「-的」が付加される日本語の 11 語と韓国語の 19 語のうち、形容詞の語尾が付加される語や付加されない語があった。具体的に語数をみると、日本語の場合は３語が形容詞の語尾は付かず「-的」のみがつき、韓国語の場合は 10 語に形容詞の語尾-*hada* が付かず「-的」のみが付加されることが分かった。ここで注目できるところは、韓国語では形容詞の語尾が付加しない 10 語に対して、日本語では形容詞の語尾が付加される語であった。つまり、名詞の２字漢字語に語尾が付加されることにより形容詞化されるということは、日韓両言語とも同様の現象である。ただし、両言語の違いは漢字語の形容詞性の性質を、形容詞の語尾（日本語では-*na*，韓国語では-*hada*）で表すか、また漢字の接尾辞の「-的」で表すかという点である。このような両言語の相違点が両言語の学習者にとって、混乱を起こす大きな要因になる可能性があると考えられる。〔シート５〕のデータに基づき、日本語と韓国語の形容詞の語尾付加や「-的」の付加を以下の表 26 に示した。

表 26. 形容詞の語尾が付かず「-的」が付加する漢字語

＜日本語の場合＞

No	表記	日読み	~suru (Verb)	~na (Adjective)	~的	級	一致有無	表記	韓読み	~hada (Adjective)	~hada (V-Active)	~doeda (V-Passive)	~的
1	合理	ごうり	0	0	1	2	0	合理	합리	1	1	0	1
2	進歩	しんぽ	1	0	1	2	0	進歩	진보	1	1	1	1
3	徹底	てってい	1	0	1	2	0	徹底	철저	1	0	0	0

＜韓国語の場合＞

No	表記	日読み	~suru (Verb)	~na (Adjective)	~的	級	一致有無	表記	韓読み	~hada (Adjective)	~的	~hada (V-Active)	~doeda (V-Passive)
1	時代	じだい	0	1	0	3	0	時代	시대	0	1	0	0
2	安定	あんてい	1	1	0	2	0	安定	안정	0	1	1	1
3	一般	いっぱん	0	1	1	2	0	一般	일반	0	1	0	0
4	架空	かくう	0	1	0	2	0	架空	가공	0	1	1	0
5	共通	きょうつう	1	1	0	2	0	共通	공통	0	1	1	1
6	純情	じゅんじょう	0	1	0	2	0	純情	순정	0	1	0	0
7	垂直	すいちょく	0	1	1	2	0	垂直	수직	0	1	0	0
8	絶対	ぜったい	0	1	1	2	0	絶対	절대	0	1	0	0
9	必死	ひっし	0	1	0	2	0	必死	필사	0	1	1	0
10	平行	へいこう	1	1	0	2	0	平行	평행	0	1	1	1

一方、形容詞の語尾や「-的」の両方とも付加される漢字語の場合は、韓国語をみると、「永久」「偶然」「自然」「天然」「平和」などがある。これらの場合は、形容詞の語尾の*-hada* よりは「-的」を付加した方がより自然な表現として頻繁に使われている。そのため、韓国人日本語学習者には「自然的」「天然的」などのような表現が見られる傾向があると考えられる。

さらに、〔シート５〕でもう一つチェックしておくべき部分は、日本語では形容詞と動詞の両品詞として使われる語であるのに対して、韓国語では形容詞のみになる語である。こられの漢字語に関しては、韓国人日本語学習者は日本語に対して*-suru* を使う可能性が高いと考えられる。

5.3.2.3. 「資料Ｉ」の作成における問題点およびまとめ

「資料Ｉ」の作成において問題点として挙げられるのは、次の２点であった。

一点目は、辞書記載の情報と実際の使用においてずれがあることである。「資料Ｉ」の作成において、２級の中級の語彙より４、３級の初級段階での語彙の方が、日韓の間にずれがある語の比率が高かった。つまり、調査対象の漢字語における品詞情報や韓国語に存在するかどうか、音韻的な問題をどこまで取り扱うかなどの基準判断を明確にする必要があった[27]。本データベースの作成の趣旨により、辞書の記述を中心に作成することにし、実際の使用に関しては母語話者の使用を参考にして反映する方法を取ることにした。

もう一点は、韓国語と日本語の調査の項目に差があることである。調査項目として、韓国語の場合は動詞としての能動態に相当する*-hada* と受動態に相当する*-doeda*、形容詞としての*-hada*、名詞、冠形詞[28]の役割をする接尾辞の「-的」の４つの項目を調べた。一方、日本語の場合は、動詞としての*-suru* が付加するかどうかと形容詞としての情報が分かるかどうか、接尾辞の「-的」の付加が可能かどうかを調べた。ここで、日韓の間にずれがあるところは、受動態の項目を見出し語として掲載しているかどうかの違いである。両言語の受動態である*-sareru* と*-doeda* の使用に関して、韓国語の場合は、辞書で見出し語として掲載されているので確認ができるが、日本語の場合は受動態としての*-sareru* の付加情報は確認できなかったため、日本語では調査項目に入れることはできなかった。この点に関しては、より幅広い調査や検討が要求されると考えられる。

---

[27] 韓国語にあるかどうかという調査では使用頻度は問わず、韓国語の辞書『標準国語大辞典』に見出し語として表示されている語は、韓国語に存在していると判定した。

[28] 韓国語の品詞の種類の一つで、体言の前に来て、後ろの名詞の内容を詳しく修飾する役割を果たす品詞(『標準国語大辞典』参照)。

5.4. データベース「資料Ⅱ」の作成過程および結果

5.4.1. 「「資料Ⅱ」日韓同形２字漢字語 3,419 語」の作成過程

「資料Ⅱ」は、「資料Ⅰ」と同様に日本語の漢字語を基準とし、韓国語を日本語に対応させる形式で作成したものである。「資料Ⅱ」のデータは、「資料Ⅰ」に『旧試験』の１級語彙の２字漢字語を加えたものである。『旧試験』の２字漢字語の全てを対象としたことにより、日本語における上級レベルの漢字語彙も加えることにする。

5.4.1.1. 「資料Ⅱ」の趣旨および内容

「資料Ⅱ」は、『旧能試』の語彙のうち、２字からなる漢字語を全て抽出したものである[29]。「資料Ⅱ」の項目の情報調査においては、『明鏡国語辞典』と『大辞林』の２種類の辞書で行った[30]。「資料Ⅱ」は、エクセルファイルの３つのシートにデータを分けた。

〔シート１〕「『旧試験』日本語２字漢字語 3,698 語」には、『旧試験』の語彙から２字漢字語を全て抽出した 3,698 語の情報を載せた。

〔シート２〕「日韓同形２字漢字語 3,419 語」には、「資料Ⅱ」の全体語数 3,698 語から韓国語に存在する漢字語を抽出した 3,419 語の情報を載せた。「資料Ⅰ」の〔シート２〕と同様に日本語の品詞と韓国語の品詞を形態的に対応させて比較できるように並べた。ここで、

---

[29] 通常は平仮名で表記する副詞など、漢字で表記可能な語は含まれている。
[30] 北原保雄(編)(2010)『明鏡国語辞典』第二版、約 7 万 4,000 語が収録されている。品詞の情報が記載されている。
三省堂(2006)『大辞林』第三版、書籍版は 23 万 8000 語、Web 版は約 26 万語収録されている。

「形態的な対応」としたのは、本資料の作成においては、両言語の漢字語において形態的なずれをみるためであり、意味のずれに関しては、対応される漢字語に灰色で色付けをした。

〔シート３〕「韓国語に無い漢字語 279 語」は、3,698 語のうち韓国語には存在しない漢字語を分け、その特徴や傾向が分かるようリスト化したものである。

5.4.1.2. 「資料Ⅱ」の作成における参照資料

「資料Ⅱ」の 3,698 語の日韓２字漢字語データベースの作成において参照した資料について述べる。「資料Ⅱ」の作成において以下の資料を取り上げた。

【日本語資料】『明鏡国語辞典』第二版

『大辞林』第三版；約 23 万８千語

『大辞泉』第二版；約 25 万語

『品詞別・レベル別 1 万語語彙分類集』

『分類語彙表』増補改訂版

「現代日本語書き言葉均衡コーパス」（BCCWJ）

【韓国語資料】『標準国語大辞典』

「資料Ⅱ」で参照した資料として、日本語資料には３種類の辞書と３種類の参照資料を利用し、韓国語においては１種類を利用した。「資料Ⅱ」では、「資料Ⅰ」の調査とは違い、品詞の情報は『明鏡国語辞典』を中心に調べたが、辞書によって品詞の情報が異なるため『大辞林』を加え、２種類の辞書を用いて調査を行った。この２つの辞書から見出しの語の品詞にずれが生じた語にかぎり『大辞泉』を参照して、共通の情報を優先した。これらの３種類

の辞書の他に、『品詞別・レベル別１万語語彙分類集』、『分類語彙表』、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」は、辞書の情報とは異なる実使用例の検索のために参照した。

5.4.1.3. 「資料Ⅱ」の作業手順

「資料Ⅱ」における作業は以下の手順で行った。

①『旧試験』の語彙のうち２字からなる漢字語は全て抽出した。

↓

②3,698 語が抽出され、これらの語に対して『明鏡国語辞典』と『大辞林』を用い、品詞の情報を調べた。この二つの辞書において、品詞のずれがあった場合は、『大辞泉』を参考として用いた。

↓

③「現代日本語書き言葉均衡コーパス(ＢＣＣＷＪ)」『品詞別・レベル別１万語語彙分類集』『分類語彙表』を使い、確認の作業を行った。

↓

④3,698 語を、韓国語に存在する語と存在しない語に分けた。韓国語にあるかどうかは、韓国の国立国語院が出した『標準国語大辞典』の見出し語にあるかどうかで判断した。

↓

⑤『標準国語大辞典』を使い、韓国語における存在の有無を判断すると同時に、韓国語での品詞の情報を調べた。

実使用例の調査の③においては、具体的に、１級の語彙のなかで品詞の情報がかなりずれ

ていたため、BCCWJ を用いて例文の検索例数を参考にした。また、*-na* の付加情報については、『品詞別・レベル別 1 万語語彙分類集』『分類語彙表』を参考にした。

5.4.2. 「資料Ⅱ」のデータ作成結果

5.4.2.1. 「資料Ⅱ」の作成における集計結果

「資料Ⅱ」の日韓両言語における２字漢字語の集計結果は、次の表 27 のとおりであった。

表 27. 「資料Ⅱ」の日韓同形２字漢字語の集計表

級	日本語全体	韓国語に有	韓国語に無
4	176 語	145 語 (82.4%)	31 語 (17.6%)
3	218 語	187 語 (85.8%)	31 語 (14.2%)
2	1,666 語	1,540 語 (92.4%)	126 語 (7.6%)
1	1,638 語	1,547 語 (94.4%)	91 語 (5.6%)
合計	3,698 語	3,419 語 (92.5%)	279 語 (7.5%)

5.4.2.2. 「資料Ⅱ」の各シートの内容の検討

「資料Ⅱ」〔シート1〕「『旧試験』日本語2字漢字語 3,698 語」

辞書の見出し語でサ変動詞として記述されている語は全て*-suru* が可能な語として 1 を、それ以外の名詞・形容動詞・副詞は 0 を入力した。その結果、*-suru* が付加され動詞として使用可能な語は 1,327 語であった。全体（3,698 語）の語数からみると比率は 35.7%で、２

級までの語数（2,060 語のうち 630 語）の比率と比べ（30.6%）ると、1 級の語彙のうち*-suru* が付加される語が多くなっており、5.1%増えていた。これは、上級に上がるにつれ*-suru* が付加される語が増え、動詞として使われる語数が増えていくことを表している。

また、*-na* の付加の調査では、3,698 語のうち 359 語が形容詞として使われている。形容詞の場合は、動詞が 1 級で増えた現象とは異なり、ほぼ同じ比率の結果であった。ただし、*-na* の付加可能かの問題に関しては、形容詞であることを前提で*-na* の付加の可否が問われるものなので、辞書の調査から形容詞なのかどうかを知った上で、さらに精密な調査をする必要があると考えられる。本データベースには、辞書上の形容動詞の情報を載せ、*-na* の付加が可能かどうかに関しては、コーパス BCCWJ を利用した。

最後に、「-的」の調査においては、辞書の見出し語として「-的」が付加された語があれば、「-的」付加可能な語として載せた。しかし、「-的」の付加の場合は、辞書上の記述と日常生活での使用にずれがあったため、形容動詞と同様にコーパス BCCWJ を利用し、用例数を参考にした。ここで、注目したのは、辞書の見出し語と BCCWJ 上から抽出された例文数との差が非常に大きかったことである。つまり、辞書には記載されているが、検索された例は 10 例以下の語もあり、辞書には載っていないが、検索例は 2,000 例以上の語もあった。辞書に載っていなかった漢字語で、例文数が 1 例である語が 346 語検索された。その一方、「最終的」の場合は 2,979 例が検索された。このように、日本語の「-的」の付加の場合は、辞書に記載されていないからといって、使われていないとは限らない。その例は、表 28 と表 29 のとおりである。表 28 に示した 15 語は、日本語の辞書には「-的」が付加された語としては記載されていないが、日本で出版されている各種の書物や新聞などでは使われており、日常でも一般的に使われている語であった。これらの語は韓国語においては、韓国の国語辞

書の見出し語として「-的」の使用が可能であり、日常で一般的にも使われている語である。

表 28.　辞書上の見出し語として記載されず、BCCWJ の例文数が 400 文以上の漢字語

No	表層語	日本語読み	BCCWJ例文数	日本語	韓国語読み	韓国語
1	時間	じかん	936	0	시간	1
2	医学	いがく	569	0	의학	1
3	安定	あんてい	843	0	안정	1
4	継続	けいぞく	864	0	계속	1
5	最終	さいしゅう	2979	0	최종	1
6	宗教	しゅうきょう	1047	0	종교	1
7	集中	しゅうちゅう	412	0	집중	1
8	身体	しんたい・からだ	719	0	신체	1
9	全体	ぜんたい	1216	0	전체	1
10	段階	だんかい	476	0	단계	1
11	短期	たんき	432	0	단기	1
12	長期	ちょうき	1732	0	장기	1
13	日常	にちじょう	1193	0	일상	1
14	軍事	ぐんじ	707	0	군사	1
15	持続	じぞく	504	0	지속	1

一方、表 29 から分かることは、辞書上では「-的」が付加可能である語であっても、BCCWJ からでは検索された例文が非常に少なかったということである。これらの日本語と韓国語を比較してみると、日本語では非常に例文が少なかったが、韓国語では一般的に、「自殺的」の場合は‘失敗や犠牲になることは既に分かっているにもかかわらず行動に移す’という意味として、「断言的」の場合は、‘ある主張や判断を根拠なしで打ち出す’という意味で使われている。

表 29．辞書上の見出し語として記載され、BCCWJ の例文数が 50 文未満の２字漢字語

No	表層語	日本語読み	BCCWJ例文数	日本語	韓国語読み	韓国語
1	傾向	けいこう	45	1	경향	1
2	公式	こうしき	36	1	공식	1
3	自殺	じさつ	7	1	자살	1
4	前進	ぜんしん	15	1	전진	1
5	大陸	たいりく	17	1	대륙	1
6	命令	めいれい	19	1	명령	1
7	記述	きじゅつ	35	1	기술	1
8	殺人	さつじん	28	1	살인	1
9	断言	だんげん	5	1	단언	1
10	知性	ちせい	34	1	지성	1
11	道具	どうぐ	32	1	도구	0
12	必要	ひつよう	44	1	필요	0
13	意志	いし	39	1	의지	0
14	解釈	かいしゃく	32	1	해석	0
15	禁止	きんし	11	1	금지	0
16	手段	しゅだん	22	1	수단	0
17	発見	はっけん	9	1	발견	0
18	方法	ほうほう	39	1	방법	0
19	摩擦	まさつ	10	1	마찰	0
20	行為	こうい	42	1	행위	0
21	後退	こうたい	2	1	후퇴	0
22	酸化	さんか	5	1	산화	0
23	対比	たいひ	17	1	대비	0
24	末期	まっき・まつご	17	1	말기	0

「資料Ⅱ」〔シート2〕「日韓同形2字漢字語 3,419 語」

「資料Ⅱ」の全体の 3,698 語のうち韓国語に存在する漢字語は 3,419 語であった。これらの日韓共通の２字漢字語 3,419 語を対象とし、品詞による語数を確認し両言語における２字

漢字語の品詞性の検討を行った。1級語彙まで含めることにより、両言語とも動詞になる語がさらに急増した。２級までの漢字語を対象とした「資料Ｉ」の 5.3.2.1 でも述べたが、レベルが上がるにつれて日韓同形漢字語の割合が増えることが分かった。さらに、日韓両言語間で漢字語の品詞性が共通する割合も増えていることは、表 27 から確認できる。上級のレベルになるにつれ､漢字語の形態面からも品詞性からも日韓共通の漢字語の割合は増加することが明らかになった。１級の語数 1,547 語を対象とし、調査した結果は以下の表 30 のとおりである。

表 30．１級語彙のうち２字漢字語に付加される語尾の語数

＜ 日本語 ＞

1級	V(-*suru*)	A(-*na*)	-的	単独語数
V(-*suru*)	702	-	-	661
A(-*na*)	8	133	-	124
-的	33	1	86	52

＜ 韓国語 ＞

1級	V(-*hada*)	V(-*doeda*)	A(-*hada*)	-的	単独語数
V(-*hada*)	741	-	-	-	287
V(-*doeda*)	408	410	-	-	2
A(-*hada*)	5	0	132	-	124
-的	87	46	3	174	84

表 30 から分かるように、3,419 語のうち動詞になる漢字語[31]は、韓国語の方が 39 語多いが、単独で動詞を表す語（「単独語数」を参照）をみると、日本語の場合は 661 語であるのに比べ、韓国語の場合は 651 語[32]であった。このことから、韓国語の方が日本語より動詞性だけではなく形容詞性も持っている語が多いということが分かった。

形容詞の場合は、２級までは韓国語より日本語の方が多かったのに比べ、１級ではほぼ同様の結果が出た。また、単独で形容詞である語は 124 語で同じ語数を示している。日本語の 133 語と韓国語の 132 語のうち、共通する形容詞は 101 語であり、その他の語は双方に動詞か名詞として使われている。

「-的」が付加される語に関しては、単独語数をみても、韓国語の方が圧倒的に多い結果が確認された。しかし、「-的」が付加され形容詞の語尾も付く語においては、日本語は 1 語で韓国語は３語であった。このことから、「-的」も形容詞の語尾も形容詞性を表すのにかかせない要素であるが、「-的」と形容詞の語尾の両方が同時に付加されることはほとんどないことが分かった。

「資料Ⅱ」〔シート3〕「韓国語に無い漢字語 279 語」

日本語の 3,698 語のうち、韓国語に存在しない２字漢字語は 279 語であった。これらの 279 語の動詞性や形容詞性、また「-的」が付加される語数を集計した。その結果は、以下の表 31 のとおりである。

---

[31] 日本語では*-suru* が付加される語で、韓国語では*-hada* が付加される語。

[32] 動詞の*-hada* が付加する語数（741 語）から、動詞の*-hada* と形容詞の*-hada* が両方付加する語数（５語）と動詞の*-hada* と「-的」が両方付加する語数（87 語）を除き、動詞の*-doeda* が単独で付加する語数（２語）を加えた語数である。つまり、数式で表示すると、「741 語－（５語＋87 語）＋２語」になる。

表 31.　日本語独自の２字漢字語数

	V(-*suru*)	A(-*na*)	～的	その他	合計
4級	0	4	0	27	31
3級	10	6	0	17	31
2級	13	25	0	91	126
1級	10	20	0	62	91
合計	33	55	0	197	279

<単位；語>

表 31 から分かるように、日本語独自の２字漢字語は、動詞性より形容詞性を持つ語が多く、「-的」が付加される語はどのレベルでも見つからなかった。つまり、「-的」の付加に関しては、漢字語にかぎり付加されることが明確になった。また、表 31 の合計をみると、上級の１級の漢字語より中級の２級の方が多いことが分かる。本来は１級と２級の語数はあまり変わらないという点を考えると、1 級の漢字語の方が韓国語との同形語が多いことが言えよう。さらに、各レベルの総語数のうち、日本語独自の２字漢字語が占める割合は（表 27）、１級がもっとも低いことが分かった。

5.4.2.3.　「資料Ⅱ」の作成における問題点およびまとめ

「資料Ⅱ」は、日本語能力の上級の学習者において必須の漢字語彙を対象にし、それらの品詞性の情報を載せるためのものであった。「資料Ⅰ」は「資料Ⅱ」より書き言葉として使

われる語が多く、特に「-的」付加においてゆれがある語が多かった。また、辞書の見出し語として「-的」のみではなく、合成語として使われる語も検出された。例えば、「禁止」の場合は、「禁止的」ではなく、「禁止的税関」が検出された。そこで「資料Ⅱ」では、接尾辞の「-的」の付加について、実際の使用を、BCCWJ を参考にしてさらに検討を行った。その結果、日本語における「-的」の付加は、辞書上の情報と実際の使用にやや差が存在することがわかった（表 28、29 参照）。このように、「-的」付加の可否における基準設定や、データ化する基準が問題点となった。そこで、辞書の情報を優先し、基本的なベースとしてデータに載せることにした。

「資料Ⅱ」のもう一つの問題点としては、「資料Ⅰ」と同じように、両言語間での使用頻度の違いが挙げられる。まず、日本語と韓国語を対応させた際、韓国語にも見出し語として存在はしていたが、「我慢」などのような仏教の用語や「風邪」のような専門用語がいくつかみつかった。さらに、そのような専門用語に*-hada* が使える語もあったため、調査項目の集計において*-hada* の付加の比率がやや上がる結果になった。また、２字漢字語としては頻繁に使われているが、*-hada* を付加した形としてはほとんど使用されていない語もあった。これらの点に関しては、母語話者の使用頻度の調査が必要とされる。

最後に、漢字の書体の問題として、「阻止」と「定年」の場合、同様の意味で韓国語では「沮止」と「停年」が使われている。使用漢字としては異なるが、日本語では「阻止/沮止」と「定年/停年」のように検索されたため、日韓対応している漢字語だと認めた。

5.5. データベース「資料Ⅲ」の作成過程および結果

5.5.1. 「「資料Ⅲ」韓国語２字漢字語 2,000 語」の作成過程

「資料Ⅲ」は、韓国のコーパス『21 世紀 世宗計画』から高使用頻度順で抽出した上位 2,000 語を対象としたものである。コーパス『21 世紀 世宗計画』に関しては、第３章でも述べたように、韓国語の中でも２字漢字語は使用率が非常に高いと言える。その中から高使用頻度の漢字語の上位 2,000 語を選んだものである。この 2,000 語の妥当性については、3.3 で述べた。これらの２字漢字語の形態的な語彙性特徴を日本語とのそれと比較対照ができるよう載せた。「資料Ⅲ」は、第３章の韓国語の漢字語の語彙性アスペクト予測を検討した際に基本資料として用いた漢字語のデータベースである。「資料Ⅲ」では４つのシートを設け、各漢字語が動詞および形容詞になるかどうか調べた。また、「-的」の付加においては、辞書調査と同時に韓国語母語話者に対して、実際にどう使用しているかのアンケート調査も行った。

5.5.1.1. 「資料Ⅲ」の趣旨および内容

「資料Ⅲ」は、韓国語の漢字語を中心とし、それらに日本語の漢字語を対応させることで、両言語の漢字語の品詞情報や語尾の付加可否が確認できる。これらの漢字語の特性が把握できるよう４つのシートに分け、データ化した。具体的には次のとおりである。

〔シート１〕「韓国語の高使用頻度 2,000 語」では、韓国語の使用頻度が高い 2,000 語を抽出し、これらの語に「*-hada/ -doeda/* -的」が付加するかどうかを載せた。

〔シート２〕「韓国語母語話者判定と辞書記述」では、韓国語の漢字語 2,000 語に対し、品

詞の判別を、辞書の記述と２名の母語話者の判定から確認できるようにした。

〔シート３〕「韓日同形２字漢字語 1,930 語」には、2,000 語のうち日本語にあるかどうかを調べた結果、1,930 語が抽出された。この 1,930 語に対し、韓国語の語尾の付加と日本語の語尾の付加を比較できるように双方を対応して載せた。

〔シート４〕「日本語に無い漢字語 70 語」には、2,000 語のうち、日本語には存在しない２字漢字語 70 語を載せた。「資料Ⅲ」における韓国語と日本語の２字漢字語の割合は、次の表 32 のとおりである。

5.5.1.2.「資料Ⅲ」作成における参照資料

「資料Ⅲ」は、韓国で使用頻度の高い２字漢字語の上位 2,000 語を載せたものである。「資料Ⅲ」の作成における手順について述べる。「資料Ⅲ」の作成において以下の資料を取り上げた。

【韓国語資料】『21 世紀　世宗計画』

『標準国語大辞典』

【日本語資料】『明鏡国語辞典』第二版

『大辞林』第三版

「資料Ⅲ」では、韓国語の漢字語の中でも、頻繁に使われている２字漢字語のうち、使用頻度が最も高い上位 2,000 語を対象とした。第３章で述べたように、韓国語における「基本資料語」として取り扱った 2,000 語は、韓国語において、使用頻度の非常に高い語彙である。これらの 2,000 語の品詞の情報は『標準国語大辞典』を参照して調査を行った。一方、日本

語の品詞調査において参照したのは、「資料Ⅱ」で用いた『明鏡国語辞典』と『大辞林』である。

5.5.1.3.「資料Ⅲ」の作業手順

「資料Ⅲ」の作業においては、次の手順で行った。

①韓国コーパスの『21 世紀　世宗計画』から、韓国語の使用頻度の高い２字漢字語上位2,000 語を抽出し、調査は『標準国語大辞典』を用い、品詞の情報を調べた。

↓

②調査項目に対し、韓国語母語話者の実使用度の調査を行った。

↓

③2,000 語に対し、『明鏡国語辞典』と『大辞林』を用い、日本語の有無を調べた。

↓

④日本語には1,930 語が存在し、これらの品詞情報の調査も行った。

まず①の辞書の調査作業において、１種類の辞書を用いた。日本語の調査では５種類の辞書を使って調査を行ったのに比べ、韓国語の調査では１種類のみ使用したのは、品詞の情報と同時に見出し語から[*-hada*、*-doeda*、-的/*jeog*/] の情報が全て確認することができたことと辞書間のゆれはそれほどなかったからである。従って、『標準国語大辞典』の１種類の辞書でも、[*-hada*、*-doeda*、-的/*jeog*/] の付加が可能かどうか分かるようになっているため、韓

国語における辞書の調査では他の辞書の確認作業は行っていない。

また②の母語話者の調査では、韓国語の*-hada* の付加に関して、辞書の見出し語の品詞情報の記述と実際の使用との間にずれがあったため、母語話者に対して*-hada* の付加が可能か否かに関するアンケート調査を行った。韓国語の 2,000 語に対応する日本語の漢字語の有無を調べると同時に『大辞林』を用い、日本語での品詞の情報も調査した。

5.5.2. 「資料Ⅲ」のデータ作成結果

5.5.2.1. 「資料Ⅲ」の作成における集計結果

「資料Ⅲ」のデータを作成した結果、以下の表 32 のような集計結果が得られた。韓国語の高使用頻度の 2,000 語のうち、96%が同形語として日本語に存在しているという高い比率が確認できた。

表 32. 「資料Ⅲ」における日韓同形２字漢字語の集計の割合

韓国語全体	日本語に有	日本語に無
2,000語	1,922語 (96%)	78語 (4%)

5.5.2.2. 「資料Ⅲ」の各シートの内容の検討

「資料Ⅲ」〔シート1〕「韓国語の高使用頻度 2,000 語」

「資料Ⅲ」では、韓国語の中でも最も高い頻度で使われている２字漢字語の 2,000 語を対象として作業を行った。韓国の国立国語院から出典された『標準国語大辞典』を参照し、見出し語として記載されていれば１を、記載されていなければ０を記入した。〔シート１〕の作成例は表 33 のとおりである。

表 33.　高使用頻度 2,000 のうち、上位 20 までの漢字語の例

No	韓国語	ローマ字表記	漢字表記	高使用頻度	動詞(-*hada*)	動詞(-*doeda*)	形容詞(-*hada*)	形容詞(-*doeda*)	―的
1	문제	munje	問題	12877	0	0	0	0	0
2	사회	sahoe	社會	11763	0	0	0	0	1
3	사실	sasil	事實	9017	0	0	0	0	0
4	시작	sijag	始作	7898	1	1	0	0	0
5	인간	ingan	人間	7536	0	0	0	0	1
6	정도	jeongdo	程度	7131	0	0	0	0	0
7	필요	pil-yo	必要	7108	0	0	1	0	0
8	정부	jeongbu	政府	6671	0	0	0	0	0
9	문화	munhwa	文化	6006	0	0	0	0	1
10	정치	jeongchi	政治	5901	1	0	0	0	1
11	의미	uimi	意味	5733	1	0	0	0	0
12	시간	sigan	時間	5727	0	0	0	0	1
13	여자	yeoja	女子	5559	0	0	0	0	0
14	국민	gugmin	國民	5507	0	0	0	0	1
15	경제	gyeongje	經濟	5492	1	0	0	0	1
16	대학	daehag	大學	5484	0	0	0	0	0
17	세계	segye	世界	5336	0	0	0	0	1
18	학교	haggyo	學校	5258	0	0	0	0	0
19	생활	saenghwal	生活	5183	1	0	0	0	1
20	교육	gyo-yug	敎育	5095	1	1	0	0	1

表 33 は、「資料Ⅲ」の中でも上位 20 位までの語である。つまり、2,000 語の中でも最も使われている 2 字漢字語の 20 語である。この表 33 のなかでは、最も頻繁に付加され使われている項目は、「-的」である。「-的」は 20 語のうち 10 語に付加され、さらに日常生活でもよく使われている。一方、動詞（*-hada*）の場合は、「政治」「経済」「教育」は動詞としての機能は可能ではあるが、動詞より名詞かまたは「-的」が付加された形式でより頻繁に使われていることが分かった。このように、辞書の記述だけでは、実際の使用頻度までの確認はできないが、品詞性や付加される語尾の性質により、その漢字語の使い分けや意味範疇を予想することができると考えられる。〔シート 1〕の韓国語における高使用頻度 2,000 語に対して、語尾が付加される語数を調べた結果、次の表 34 のとおりであった。

表 34.　韓国語における高使用頻度 2,000 語に付加する語尾の集計表

	動詞(*-hada*)	動詞(*-doeda*)	形容詞(*-hada*)	形容詞(*-doeda*)	―的	単独語数
動詞(*-hada*)	897	-	-	-	-	278
動詞(*-doeda*)	534	539	-	-	-	2
形容詞(*-hada*)	11	5	103	-	-	79
形容詞(*-doeda*)	0	0	1	2	-	1
-的 (*/-joeg/*)	163	86	12	0	389	215

〔2,000語のうち, 単位;語〕

表 34 は、2,000 語に付加する語尾の集計の結果をクロス集計表に示したものである。動詞、形容詞を問わず 2,000 語のうち*-hada* と*-doeda* が付加する語は、各々語 989 語[33]と 541 語[34]であった。単独語数をみると、「-的」が付加される語が動詞の*-hada* の次に多いという結果が出たが、他の語尾と兼用する語数が、動詞の*-hada* の場合は 897 語のうち 278 語(31.0%)であるのに比べ、「-的」は 389 語のうち 215 語(55.3%)であることを考えると、動詞の*-hada* の語尾より「-的」の方が付加されやすいということが言えよう。表 34 からは直接に確認することはできないが、2,000 語のうち５つの語尾の項目が一つでも付加されて使われる２字漢字語は、1,207 語であった。このように 60.4%が名詞だけではなく動詞や形容詞として、また「-的」が付加されて使われていることが分かった。これは、韓国語の文中で漢字語が使われる際は、名詞単独で使用されるより、派生語や合成語などの語構成が必要な語の体系が要求されるということが言える。

「資料Ⅲ」〔シート2〕「韓国語母語話者判定および辞書記述」

〔シート２〕のデータは、韓国語の高使用頻度の 2,000 語が動詞か形容詞かを、辞書に記述されている情報を優先し記入したものである。ただし、辞書の記述と日常生活での実際の使用と比べると、ずれがある漢字語が少なくなかった。そこで、これらの 2,000 語に対し、韓国語母語話者に実使用のアンケート調査を行った。調査は、韓国人母語話者２名に各漢字語の項目が動詞と形容詞として*-hada* や*-doeda* が使われていれば１を、そうでなければ０を入力するようにした。表 35 のように、〔シート２〕には、調査した母語話者の使用方法と辞書の記述情報と同時にの比較できるように並べて載せた。

---

[33] 897 語（動詞）＋103 語（形容詞）－11 語（動詞/形容詞共通）
[34] 539 語（動詞）＋2 語（形容詞）－0 語（動詞/形容詞共通）

母語話者の使用方法の調査の結果、母語話者の間でも差が生じ、*-hada* や*-doeda* を付加し動詞や形容詞として使う場合にも個人差があることが判明した。しかし、母語話者の２名の判定者間の信頼度係数は、動詞の場合は 0.93 で、形容詞の場合は 0.94 という高い信頼性がみられた。また、母語話者の判定と辞書の記述においてもずれがあった。辞書表記では可能であった漢字語でも母語話者の判定においては不可能だと判定された語が、その逆の場合より多かった。しかし、辞書の記述情報は、使用頻度の反映ではないことはもちろん、特殊語や専門用語も記述されており、多義語など全ての言語情報が扱われているため、母語話者の使用方法とのずれは当然のことであると考えられる。

表 35.「資料Ⅲ」〔シート２〕の一例

No	韓国語	表層語	『標準国語大辞典』見出し語		母語話者判定			
			動詞	形容詞	母語話者１（動詞）	母語話者１（形容詞）	母語話者２（動詞）	母語話者２（形容詞）
1	문제	問題	0	0	0	0	0	0
2	사회	社會	0	0	0	0	0	0
3	사실	事實	0	0	0	0	0	0
4	시작	始作	1	0	1	0	1	0
5	인간	人間	0	0	0	0	0	0
6	정도	程度	0	0	0	0	0	0
7	필요	必要	0	1	0	1	0	1
8	정부	政府	0	0	0	0	0	0
9	문화	文化	0	0	0	0	0	0
10	정치	政治	1	0	1	0	1	0
				…				

「資料Ⅲ」〔シート3〕「韓日同形2字漢字語 1,930 語」

〔シート３〕では、韓国語で最も使われている２字漢字語の 2,000 語のうち、どれ程の語数が日本語に存在するかを確認した。日本語の参照資料は、『明鏡国語辞典』と『大辞林』を用いて、見出し語として検索できる語は、日本語に存在している語として取り入れた。

調査の結果、両言語において同形語は 1,930 語で、残りの 70 語は見出し語として掲載されていなかった。〔シート３〕のうち、使用頻度の上位 10 位の語を例として取り上げたのが表 36 である。表 36 をみると、「始作（시작/*sijag*/）：始め」が存在せず、その他の９語については、日本語においても使用頻度が非常に高い語である。さらに、動詞や形容詞、また「-的」が付加される漢字語もほぼ似ていることが分かる。このように、両言語間に共通する 1,930 語に関しては、正の転移がみられ、容易に習得できる利点が考えられる。

表 36.「資料Ⅲ」〔シート３〕の一例

No	漢字表記	韓国語読み	動詞 (*-hada /-doeda*)	形容詞 (*-hada*)	- 的 (*/-jeog /*)	漢字表記	日本語読み	動詞 (*-suru*)	形容詞 (*-na*)	- 的 (*/-teki /*)
1	問題	문제	0	0	0	問題	もんだい	0	0	0
2	社會	사회	0	0	1	社会	しゃかい	0	0	1
3	事實	사실	0	0	0	事実	じじつ	0	0	0
4	始作	시작	1	0	0	–	–	–	–	–
5	人間	인간	0	0	1	人間	にんげん	0	0	1
6	程度	정도	0	0	0	程度	ていど	0	0	0
7	必要	필요	0	1	0	必要	ひつよう	0	1	1
8	政府	정부	0	0	0	政府	せいふ	0	0	0
9	文化	문화	0	0	1	文化	ぶんか	0	0	1
10	政治	정치	1	0	1	政治	せいじ	0	0	1
					…					

そこで、これらの 1,930 語に対して、調査項目の語尾が付加される語数を両言語ともに集計した。その結果、以下の表 37 のとおりである。表 37 では、品詞性が比較できるように、動詞や形容詞の語尾は省いた。動詞も形容詞も日本語の方が多く、単独語数においても動詞の場合は、日本語の方が、約 100 語多いということが分かる。つまり、これらの 100 語に対し、*-hada* が付かない漢字語に*-suru* が付加されるということで、韓国人日本語学習者は動詞の語を名詞かまたは他の品詞として使い、誤用を起こす傾向があると考えられる。

一方、「-的」の付加に関しては、韓国語の語数は日本語の語数より 166 語多く、単独語数でも日本語より 89 語多い結果が出た。これは、形容詞においては日本語より韓国語の方が少なかったが、その形容詞性の役割を「-的」が付加された形式で担当しているからであると考えられる。

表 37. 1,930 語のうち、動詞や形容詞の語尾が付加される語数の集計

韓国語	動詞	形容詞	-的	単独語数
動詞	873	-	-	700
形容詞	12	99	-	77
-的	163	12	389	216

日本語	動詞	形容詞	-的	単独語数
動詞	902	-	-	798
形容詞	19	117	-	89
-的	87	11	223	127

＜ 単位;語 ＞

ここで、韓国語ではどのような漢字語に「-的」が付加されるのかをみるために、二つの方法で抽出した。一つは、韓国語の単独語数 216 語のうち、日本語の辞書において「-的」が付加された見出し語としては掲載されていない語を抽出した。その結果、95 語が抽出された。これらの 95 語のうち、一部の例を以下に示す。

自體的　企業的　内部的　思想的　産業的　地方的　正常的
條件的　核心的　職業的　世代的　外部的　露骨的　時事的
權威的　必須的　情緒的　極端的　浪漫的　總體的　均衡的

もう一つは、韓国語で動詞でありながら「-的」が付加される語のうち、日本語では「-的」が付加されない語を抽出した。その結果、80 語が抽出された。これらの語は日常生活でもよく用いられ、使用頻度も高い語である。その一部の例を挙げると、以下のとおりである。

説明的　表現的　行動的　繼續的　協同的　獨立的
競爭的　展望的　持續的　制限的　公開的　成功的
對立的　矛盾的　說得的　抑壓的　超越的　統制的

以上の語に関しては、日本語の発話において、韓国人日本語学習者が誤用を起こす傾向がある語であると考えられる。

「資料Ⅲ」〔シート4〕「日本語に無い漢字語 70 語」

〔シート４〕には、日本語には存在せず、韓国語のみにある 70 語のデータを載せた。〔シート４〕の作成例は、表 38 のとおりである。

表 38.　日本語に無い韓国語の２字漢字語の上位 20 位

No	漢字表記	韓国語読み	ローマ字表記	動詞 (*-hada* /*-doeda*)	形容詞 (*-hada*)	- 的 (/*-jeog* /)
1	始作	시작	sijag	1	0	0
2	代身	대신	daesin	1	0	0
3	受惠	수혜	suhye	0	0	0
4	便紙	편지	pyeonji	1	0	0
5	與否	여부	yeobu	0	0	0
6	日製	일제	ilje	0	0	0
7	部處	부처	bucheo	0	0	0
8	處地	처지	cheoji	0	0	0
9	苦生	고생	gosaeng	1	0	0
10	傷處	상처	sangcheo	0	0	0
11	形便	형편	hyeongpyeon	0	0	0
12	食口	식구	siggu	0	0	0
13	對備	대비	daebi	1	0	0
14	促求	촉구	choggu	1	0	0
15	次例	차례	chalye	0	0	0
16	威脅	위협	wihyeob	1	0	1
17	膳物	선물	seonmul	1	0	0
18	節次	절차	jeolcha	0	0	0
19	操心	조심	josim	1	0	0
20	近處	근처	geuncheo	0	0	0

これらの 70 語において、動詞や形容詞の語数は、動詞は 29 語で形容詞は 4 語であった。「-的」の付加は、表 38 にある「威脅」（；力で人を脅かす）のみであった。これらの漢字語に対する日本語の訳は、日本語独自の漢字語が使われる語や和語に相当する。つまり、これらの 70 語に対しては、漢字語そのままでは日本語としては用いられないことは当然のことである。しかし、これらの漢字語においては、韓国人日本語学習者に誤用が見られる傾向があると予想される。

5.5.2.3. 「資料Ⅲ」の作成における問題点およびまとめ

「資料Ⅲ」の作成に当たって、最も困難であったのは高使用頻度の漢字語の確認作業であった。韓国語の漢字語には多くの同音異義語が存在しているが、大きな誤解がなければ、新聞や大衆媒体では漢字を表示することはほとんどない。日常生活では、ハングルを用いるため、使われていてもコーパスなどの検索エンジン上では、同じ語数でカウントされることが考えられる。この場合は、異なる意味で使われたとしても、自然に使用頻度が上がることになる。そこで、それらの同音異義語のうち、漢字語の使用頻度の識別のために、本調査では、韓国のコーパス『21 世紀 世宗計画』の用例を検索し、文脈から漢字語を当てる作業を行った。しかし、ここで問題となったのは、漢字は異なっていても意味が似ている場合は、その漢字の判断が難しくなる点である。また、意味が異なっても、用例がほぼ同じ頻度で使われる漢字語も存在した。例えば、「検事」と「検査」は、両方とも*/ geomsa/* のように同じ音韻体系を持ち、用例文の頻度もほぼ同じであった。このような漢字語は、用例の内容を検討し、同じ内容であれば、カウントから除いて多い方を選び、データに入れた。

5.6.　おわりに

第５章では、本論で述べた議論に基づき、日韓両言語の学習者にとって基本語彙だといわれるほど使用頻度の高い２字漢字語のデータベースを作成した。データベースは、抽出した漢字語の特性によって「資料Ⅰ」「資料Ⅱ」「資料Ⅲ」の３つに分けた。さらに、これらの漢字語を日本語と韓国語において､付加される語尾の項目をより分かりやすく比較対照ができるように〔シート〕別に分けた。

以下のデータの情報を「資料Ⅰ」にまとめた。

（１）日本語能力の中級レベルに相当する２字漢字語2,060語を対象とし、使用頻度や品詞の情報を載せた。

（２）2,060語のうち、日本語と韓国語と共通する1,872語に対し、日本語の品詞と韓国語の品詞を対応させ、比較できるようにした。

（３）2,060語のうち、韓国語には存在しない日本語独自の漢字語188語を載せた。

（４）1,872語の中で、日本語と韓国語の同形語の品詞性が確認できるように品詞別に分けて載せた。

（５）両言語間における、形容詞性を持っている漢字語が比較できるよう載せた。

以下のデータの情報を「資料Ⅱ」にまとめた。

（１）『旧試験』から抽出した日本語能力の上級に相当する２字漢字語3,698語の使用頻度や品詞の情報を載せた。

（２）3,698語から韓国語に存在する漢字語を抽出した3,419語の情報を載せた。「資料Ⅰ」と同様に日本語の品詞と韓国語の品詞を対応させ、比較できるように並べた。

（３）3,698語のうち韓国語には存在しない漢字語279語に対し、その特徴や傾向が分かるようリスト化した。

以下のデータの情報を「資料Ⅲ」にまとめた。

（１）韓国語の使用頻度が高い2,000語を抽出し、これらの語に「*-hada*/*-doeda*/-的」が付加するかどうかを載せた。

（２）韓国語の2,000語の品詞の判別を辞書の記述と母語話者の判定の結果を載せた。

（３）韓国語の語尾の付加と日本語のそれらを比較できるように、同形漢字語を並べて載せた。

（４）2,000語のうち日本語に存在しない２字漢字語70語を載せた。

以上のように３つの資料を通して、日本語と韓国語の間における形態的な語彙性特徴が明らかになり、類似点や相違点の確認ができた。資料の作成において生じた問題点は、両言語間の相違点であるというより、各言語内での問題点であり、辞書上の記述情報と日常での実使用とのずれや、韓国語の場合は、同音異義語の処理の問題も挙げられる。

第６章

総括

6.1　まとめ

本研究では、日本語と韓国語の間に存在する２字漢字語に着目し、両言語における同形漢字語に付加される語尾を集計し、計量的な分析および考察を行った。また、片方の言語のみに存在している漢字語も分析の対象に入れ、それらの漢字語に付加する語尾をデータ化し、日韓で比較対照できるデータベースを作成した。次に、各章ごとにまとめ、結論を述べる。

第１章では、研究動機・背景・目的について述べた。研究動機では、日本語と韓国語の語彙的・文法的類似性や相違性を明らかにするにあたり、韓国語の語彙や文字政策について述べた。現在、韓国の日常生活で使用されている文字はハングルであるため、漢字を使うことはほとんどなく、韓国は非漢字圏として扱われている。しかし、韓国は、漢字文化を背景としてもっており、一部であるが漢字教育も実施されているところもある。研究背景では、日韓両言語間の類似性のうち語彙的類似性は非常に高く、両言語とも自国語の語種の中で漢字語が半数以上を占めていることを記述した。現在韓国で使われている語彙の７割は漢字語であることや、それらが使われている場面など韓国における漢字語の使用を、実例を挙げ紹介した。そこで研究目的として、日韓における２字漢字語のデータベースを作成することを述べた。

第２章では、従来行われてきた韓国語の語構成についての先行研究を提示し、本研究の位置づけを確認した。次に、韓国語の漢字語、語根としての２字漢字語に付加する語尾について先行研究を検討した。特に韓国における漢字語の起源を提示し、漢字語の語彙的特徴の検討を行った。具体的には、漢字語に付加される語尾において、動詞性・形容詞性を含意して

いる２字漢字語に関する語根のメカニズムを分析し、それに付加される接尾辞の*-hada* や *-doeda*、「-的」について検討することで、漢字語が韓国語の言語体系に同化され、固有語との融合により成立していることが明らかになった。

第３章では、韓国語の高使用頻度の 2,000 語を抽出し、これらの漢字語に*-hada* が付加されて動詞になるのか形容詞になるのかを、「開始」「継続」「終結」「状態」の４つのアスペクトおよび使用頻度で予測する二項ロジスティック回帰分析を行った。２字漢字語 2,000 語のうち動詞として*-hada* が付加されるのは 843 語で，その中でも「終結」のアスペクトの有無で 81.49%（687 語 / 843 語）が予測できた。「開始」と「継続」のアスペクトは，「終結」との重複が多かった。「状態」は他のアスペクトとの重複が少なく，「終結」に次ぐ 21.35%（180 語 / 843 語）の予測力を示した。形容詞として*-hada* が付加されるのは 86 語であった。「状態」のアスペクトの有無だけで形容詞としての*-hada* の付加が 90.69%（78 語 / 86 語）予測できた。つまり、２字漢字語の*-hada* 付加による動詞化は「±終結」と「±状態」のアスペクトの特性で予測でき、形容詞化は「±状態」で大部分が予測できることが分かった。

第４章では、日本語と韓国語の間に共通している２字漢字語の統語的形態の類似性と相違性を、計量的に検討を行った。２字漢字語の中でも、ある特定の語尾が付加されることにより、名詞が動詞化あるいは形容詞化する。これらの漢字語は、両言語間に同形語で品詞間のずれや態に関するずれが生じる語である。また、形容詞の性質を持つ接尾辞「-的」の付加も調査対象に入れ、「-的」の付加可否の傾向も検討した。その結果、調査対象語の 1,872 語のうち動詞は、日本語は 609 語（32.5%）で、韓国語は 631 語（33.7%）であった。一方、形容詞は、日本語は 169 語（9.0%）で、韓国語は 127 語（6.8%）であった。動詞と形容詞の両品詞を持っているのは、日本語は 26 語、韓国語は 11 語であった。さらに、動詞に関し

ては、韓国語は受動態と能動態を分けて集計した。その結果、*-doeda* が付加可能なのは、631 語のうち 318 語（50.4%）であった。これらの日韓両言語に現れる統語的形態の違いを明らかにすることで、母語の干渉が起こりやすい漢字語の語彙的特徴が明確になり、日本語または韓国語の学習をより効率的に進められると考える。

第５章では、本研究での最終的な目的とする「日韓２字漢字語のデータベース」について、漢字語の抽出からデータベースの作成の過程や結果を述べた。

データベースは３つの資料に分けて作成し、さらに漢字語の情報別に細分化した。具体的には、「資料Ｉ」には５つのデータ情報を載せた。ここでは、日本語能力の中級のレベルに相当する語彙のうち２字漢字語（2,060 語）の品詞情報が得られる（〔シート１〕）ようにした。その後、2,060 語の漢字語が韓国語に存在するかどうかを調べた。その結果、1,872 語が韓国語にあり 188 語が韓国語には存在していない語であった。これらの 1,872 語に対して、日本語と韓国語の品詞の情報が比較できるように載せた（〔シート２〕）。また、日本語独自の２字漢字語の品詞情報も参考にできる（〔シート３〕）。さらに、日韓同形漢字語である 1,872 語の品詞項目が、日韓両言語の間でどのように対応しているのかを同形語で比べられるようにした。1,872 語を４、３、２級に分けた後、品詞項目別に語数の割合を調べた結果、４級で韓国語の形容詞が最も低く（0.2%, 4 語）、２級で韓国語の動詞が最も高かった（29.2%, 547 語）[35]。また、両言語の同形語の品詞にずれが確認できた[36]（〔シート４〕）。「資料Ｉ」の最後の部分では、1,872 語の中で、日本語と韓国語の形容詞を比較した。ここには、韓国語では*-hada* が付加され、日本語では*-na* が付加される漢字語を抽出したものを載せた（〔シート５〕）。その結果、同形語で形容詞である語は 104 語であった。両言語の形容詞の語数の

[35] 表 13 を参照
[36] 表 22、表 23 を参照

割合は次の図３のとおりである。

図３.「資料Ⅰ」の 1,872 語のうち、日本語と韓国語の形容詞の比率

以上、「資料Ⅰ」の作成を通して、日本語の能力が中級レベルまで上がるにつれ、全体的に日韓同形語の語数は、急増したことが分かった。また、これらの同形語において、動詞は韓国語の方が多く形容詞は日本語の方が多いことが分かった。しかし、その差はそれほど大きくなかった。一方、「-的」の付加においては、日本語より韓国語の方が多かった。特に、２級の語彙では日韓の差が他の項目より非常に大きかった。

次に「資料Ⅱ」には、３つのデータ情報を載せた。日本語能力の上級のレベルに相当する語彙のうち、２字漢字語（3,698 語）の品詞情報と語尾の付加可否が得られる（〔シート１〕）ようにした。その後、3,698 語の漢字語が韓国語に存在するかどうかを調べた。その結果、3,419 語が韓国語にあり 279 語が韓国語には存在していなかった。これらの 3,419 語に対して、日本語と韓国語の語尾の比較ができるように載せ（〔シート２〕）、日本語独自の２字漢字語の品詞情報も参照できるようにした。（〔シート３〕）

以上、「資料Ⅱ」では、日本語学習において上級レベルに相当する２字漢字語を対象とし、日本語の語彙学習における基本的な２字漢字語の品詞性が確認できるようにした。さらに、韓国語母語話者にとって学習言語と母語との関係が明確に比較可能なように配慮した。この「資料Ⅱ」の作成を通じて、中級のレベル（２級）から上級のレベル（１級）に上がるにつれ、２字漢字語の語数のそのものは増えていない（２級：1,666 語、１級：1,638 語）が、動詞として*-suru* が付加される語は増えていることが分かった（２級：534 語/ 1,666 語、１級：691 語/ 1638 語）。このように初級から中級では２字漢字語の語彙数が急増するのに比べ、中級から上級の間ではそのような変化はなかった。つまり、上級レベルでの２字漢字語の語彙性の特徴は、２字漢字語そのものに内在している品詞性にあると考えられる。

最後に「資料Ⅲ」には、４つのデータ情報を載せた。この「資料Ⅲ」は、韓国語の漢字語を中心に載せたもので、韓国語の中でも最も使用頻度が高い２字漢字語のうち、上位 2,000 語を抽出したものである。これらの 2,000 語の品詞情報を調べ、品詞性に付加する語尾の付加可否の情報を載せた（〔シート１〕）。ただし、韓国語の場合は、調査項目である*-hada* の使用が、韓国の辞書記述情報と日常生活で使用に違いがあったため、韓国語の母語話者に対してアンケート調査も行った（〔シート２〕）。また、「資料Ⅲ」の日韓同形語の調査のために、2,000 語で日本語に存在するかどうかの調査を行った。その結果、2,000 語のうち、日韓同形語は 1,930 語で韓国語独自の漢字語は 70 語であった。これらの 1,930 語の品詞情報（〔シート３〕）や韓国語独自の漢字語 70 語の品詞情報（〔シート４〕）を載せた。

以上、「資料Ⅲ」の作成を通して、韓国語の２字漢字語のうち、動詞として使われる語の割合が非常に高いことが分かった（902 語/ 2,000 語）。それに比べ、形容詞として使われる語は少なく（103 語/ 2,000 語）、「-的」を付加する語が非常に多いことが明らかになった（389

語/ 2,000 語）。

以上、３つの資料の作成から、日韓同形語における２字漢字語の比較対照を通して類似点や相違点が明らかになった。本研究では、日韓両言語ともに、最も基本的である２字漢字語を抽出し、調査の対象とした。

ここでは、一方の言語では使用頻度が高く、もう一方では漢字語は存在はしているものの、実際の使用率は低い語があるなど、両言語で使用の実態が異なっているという問題点も明らかになった。

6.2. 総考および今後の課題

6.2.1. 総考

本研究では、日本語と韓国語の２字漢字語のデータベースの作成を目的とし、両言語の類似点や相違点を比較対照研究の視点から分析および考察を行った。両国内における使用頻度の高い２字漢字語を対象としたことで、学習者の漢字語彙学習の動機づけを高める契機となる可能性が考えられる。

本研究で行った議論から次のように考察ができる。

１．韓国における漢字語使用の背景は、韓国のあらゆる側面から発現されたものである。言語的分野では、ただ韓国語の語種で高い占有率を示していることに留まらず、漢字語は韓国語の固有語と共に用いられ、形態素が付加されることによって統語的・語彙的特徴が明示化される。

２．韓国語の２字漢字語における語彙性アスペクトを分析および考察することで、漢字語の品詞性による語尾の予測ができることが明確になった。これは、漢字の書字としての認識が薄い韓国人に対する新しい試みであると考えられる。これまで、韓国語母語話者は、漢字語も韓国語の固有語と同様に認識してきたが、日本語を学習することで、韓国語の中の漢字語を意識するようになる。本データベースはそれを支える貴重な情報である。

３．両言語の２字漢字語の形態的要素を計量的手法で検討を行うことで、両言語の漢字語の類似点を含め相違点の様相が明らかになった。日韓両言語における統辞的機能を果たす動詞および形容詞化する語尾や接尾辞「-的」の付加の計量的な分析の結果は、両言語の学習者にとって、漢字語の学習の範囲が明確に提示されうることを意味する。韓国人日本語学習者にとっては、学習範囲が提示されることにより日本語漢字語の学習負担を減らすことができる。学習者は、限定された範囲での漢字語を利用して、両言語の漢字語に属する語彙的特徴をパターン化することで、学習者自ら語彙学習のストラテジーを自覚することができると予想される。また、日本人韓国語学習者にとっては、使用頻度の高い２字漢字語の書字認識ができた時点で、母語の漢字語の知識を利用することができよう。もちろん例外や相違点については指導が必要であるが、一般的な韓国語の漢字の音韻的な要素を利用して学習を進める方法として有効である。

従来の日本語教育の現場では、語彙、特に漢字語の指導において、日本語母語話者の教師は韓国の漢字語使用の事情を知らずに教えることがあり、一方で、韓国人教師は漢字語の指導に対して消極的である。したがって、両言語の実際の教育現場における語彙教育の際に、本研究を通じて作成した日韓２字漢字語のデータベースが、２字漢字語の運用に貢献しうる資料として活用されれば、幸いである。

6.2.2. 今後の課題

本研究で試みた両言語における２字漢字語のデータベースの作成には、いまだ課題が残っている。

１．同音異義語のうち、データベースに該当する漢字語の抽出や多義語の選択をどこまで取り入れるかを、データ化する目的に沿って客観的な基準を設定する必要がある。

本研究のデータベースを作成する上で突き当たった問題は、多義語の取り扱いと、同形異義語が２語以上の場合の使用頻度の判断であった。本論では、前者において意味的な問題は検討の範囲としていないため、一般的に使われている意味であるかどうかは問わず、使われていない意味の情報も全て取り入れた。例えば、「索引」の場合、「インデックス」という意味が実際に使用される一般的な用法であるが、別の意味として「（綱で）引っ張ること」という意味も多義として持っている。そのため本研究では、「索引」に*-suru* が付加可能として取り扱った。これは、あくまで形態的な要素を扱っているがゆえに、回避できない問題であると考えられる。なお、後者においては、韓国のコーパス『21 世紀 世宗計画』を利用し、検索用例数を参照とした。日韓両言語において同形異義語の２字漢字語が、どのような形態的要素を持った機能範疇に入り、どのような語彙範疇まで拡張することができるのかを、語彙学習の視点から検討を行うべきであると考えられる。

２．漢字語を BCCWJ から用例を検索し、データベースに取り入れる場合、洩れた漢字語に関しての特定の指標が設定することが望ましい。

本研究では、漢字語の用例の検索において、日韓両言語ともコーパスによる検索用例の頻

度では非常に違いが生じた。両言語の学習において、漢字語の使用頻度を判断するのには、特定の語彙指導における目的に沿った基準や指標が必要であると考えられる。例えば、「業界」など特定の分野でしか使わない語は 4400 件、「消しゴム」などのような日本語学習においては初級語彙に相当する語は、259 件の出現数にしかならない。また、日本語の場合には、漢字表記や仮名表記によって出現頻度数に違いが生じるという表記法の問題もある。たとえば、BCCWJ の検索例では、漢字表記の「机」は 3500 件、仮名表記の「つくえ」は 67 件の出現数である。このように、コーパスによる検索例を利用する際は、特定の指標の設定が必要であると考えられる。今後は、研究課題に沿った語彙の指標を設定し、特定する語彙分野の範囲を決めて進めていきたい。

３．漢字語に内在している語彙的性質による動詞化および形容詞化の予測力を、言語事実的に一般化するためには、漢字からなる語構成を考慮するストラテジーが必要である。

漢字語を全てハングル表記で使用することで誤解を生じかねない同音異義語に関しては、括弧を付け漢字を表記する二重の表記法を伴う場合もある。このように韓国では、表面的にはハングル環境の中にありながら、漢字語は韓国語に浸透している。そうした語彙体系を持つ韓国人日本語学習者にとっては、図らずも日本語学習を通して自国の語彙を改めて意識化することになり、漢字語の持つさまざまな特徴を対比させながら、韓国語内の漢字語の語彙性アスペクトが判断できるということは、漢字語の意味の把握ができているとも言えよう。

現在、国字としてハングルを使っている韓国内では、漢字書字の認識が薄いということは確かである。しかし、漢字語であることを認識することによってはじめてそれを構成している漢字を意識化し、漢字一つ一つの概念を理解することに繋がるのではないかと思われる。ただし、これらを証明するには、さらなる検証が必要であると考えられる。

韓国語および日本語の各言語体系の下で発展していった漢字語の形態統語的特徴は、それぞれの統語現象や言語文化を反映したことに由来している。言語教育の観点から見れば、学習者に対してその相違点を明示化することがきわめて重要である。しかしながら、相互の言語の学習者にとって、両言語における漢字語の類似あるいは相違は、明確にされるべき点が数多く残っている。特に、語彙教育や語彙学習のための資料は十分ではなく、その活用する範囲も限られている。今後は、両言語における言語的特徴を考慮した上で漢字語の特性を、さらに意味的な用法も取り入れるなど対象範囲を広げ、第２言語としての漢字語学習を支援するための基礎データを提供していきたい。

終わりに、本データベースが、日本語と韓国語を学習するに当たって、有効な資料になることを心から望んでいる。そのためにも、より使いやすいものとなるよう、今後、体系的な補修作業や、資料に対する検討作業は同時に並行していくつもりである。

引用文献

和文

相澤正夫（1993）「『日本語教育のための基本語彙調査』と複合サ変動詞」『国立交互研究所報告 105　研究報告集』14：281-332，秀英出版.

天野成昭・近藤公久（編）（2003）『日本語の語彙特性　第 2 期 CD-ROM 版』（NTT コミュニケーション科学基礎研究所監修）三省堂.

池上禎造（1984）『漢語研究の構想』，東京：岩波書店.

石井正彦（1987）「漢語サ変動詞と複合動詞」『日本語学』Vol.6；46-59，明治書院.

井上優（2005）「学習者の母語を考慮した日本語教育文法」（野田尚史編）『コミュニケーションのための日本語教育文法』；83-102，くろしお出版.

梅田博之（1979）「朝鮮語を母語とする学習者のための日本語教材作成上の問題点」『日本語教育』40；35-46，東京：日本語教育学会.

梅田博之（1982）「韓国語と日本語―対照研究の問題点」『日本語教育』48；31-42，東京：日本語教育学会.

梅田博之（1986）「日本語と朝鮮語」『朝鮮語大辞典』上巻；23-24，角川書店.

梅田博之（1989）「韓国語と日本語」『神奈川韓国教育』創刊号；63-68，神奈川韓国総合研究院.

梅田博之（1991）「対照言語学-韓国・朝鮮語」『月刊日本語』12 月号；80-87，アルク.

永澤済（2007）「漢語動詞の自他体系の近代から現代への変化」『日本語の研究』3(4):17-32，東京：日本語学会.

生越直樹（1982）「日本語漢語動詞における能動と受動ー朝鮮語 hata 動詞との対照ー」『日本語教育』48；53-65，東京：日本語教育学会.

生越直樹（2008）「現代朝鮮語における様々な自動・受動表現」生越直樹・木村秀樹・鷲尾

龍一（編）『ヴォイスの対照研究ー東アジア諸語からの視点ー』; 155-185，くろしお出版

影山太郎（1993）『文法と語形成』ひつじ書房.

柏谷嘉弘（1973）「形容動詞の成立と展開」『品詞別日本文法講座4』鈴木 一彦，林 巨樹（編）：明治書院.

門脇誠一（1982）「日本語と朝鮮語の語彙」『日本語教育』48；43-52，日本語教育学会.

門脇誠一（1989）「日・朝語対照研究―「漢語＋する」と「漢語＋hada」について―」『北海道東海大学紀要』2；39-58，北海道東海大学.

韓先熙（2003）「漢語形容動詞の習得について―韓国人学習者を対象に―」『日本語学研究』第 7 輯；167-180，ソウル：韓国日本語学会.

菅野裕臣（1981）『朝鮮語の入門』東京：白水社.

菅野裕臣（1986）「朝鮮語の語彙について」『朝鮮語大辞典』上巻；33-35，角川書店.

金田一春彦（1976）「国語動詞の一分類」『日本語動詞のアスペクト』; 5-26，むぎ書房.

黒沢晶子（1990）「韓国語の漢語から見た日本語」『AJALT』第 13 号；60-65，社団法人国際日本語普及協会.

小林英樹（2004）『現代日本語の漢語動名詞の研究』，ひつじ書房.

近藤裕子（2006）「韓国人日本語学習者に対する漢字指導について」『大正大学研究紀要』 第九十一輯；166-157(逆引き版)，大正大学.

蔡京希（1988）「韓・日両国漢字音の対比研究」『日語日文学研究』第３輯；279-292，韓国日語日文学会.

櫻井恵子・斉藤麻子・稲熊美保・呉智恵・菊竹恭子（2005）「韓国人日本語学習者の使用語彙の分析」『日本學報』第 64 輯；75-86，韓国日本学会.

柴　公也（1986）「漢語動詞の態をいかに教えるかー韓国人学生に対して」『日本語教育』59 号；144-156，日本語教育研究会.

志部昭平（1987）「朝鮮語における漢字語の位置」『日本語学』2；85-96，明治書院

瀧口恵子・李美香（2005）「日・韓・中の語彙比較から見た韓国漢語」『徳島大学国語国文學』Vol.19；徳島大学国語国文学会.

塚本秀樹（2008）「日本語と朝鮮語における品詞と言語現象のかかわり―対照言語学からのアプローチ」『アジア・アフリカの言語と言語学 』3；29-46，東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.

西尾寅弥（1981）「造語法と略語法」『日本語講座4 日本語の語彙と表現』４版；28-62，大修館書店.

野村雅昭（1988）「二字漢語の構造」『日本語学』5；4-55，明治書院.

野村雅昭（1999a）「サ変動詞の構造」『日本語研究と日本語教育』；1-23，明治書院.

野村雅昭（1999b）「語彙調査データによる基本漢語の抽出」『早稲田大学日本語研究教育センター紀要』；21－54，早稲田大学日本語研究教育センター.

朴大王（2000）「接尾辞「-的」について―話し言葉における「的」を中心に―」『言葉と文化』創刊号；163-180，名古屋大学大学院国際言語文化研究科.

朴大王（2002）「日本語の「タリ活用」と韓国語の「hada 形容詞」に関する考察」『ことばの科学』第 15 号；197-210，名古屋大学言語文化研究会.

平嶋一美（2003）「フランス語動詞事象の意味分類に関する考察」『外国語教育研究』5；55-67，関西大学外国語教育研究.

松尾勇（2001）「接辞「-적（的）」について」『朝鮮学報』181；1-22，朝鮮学会.

松岡知津子（2004）「複合動詞「～スル」を形成する漢語名詞について」『日本語教育』120；13-22，日本語教育研究会.

松岡知津子（2005）『機能動詞スルと名詞が形成する文の構造と意味―漢語名詞との結びつきを中心に―』平成 16 年広島大学大学院教育研究科博士課程後期学位論文.

松岡知津子・玉岡賀津雄・酒井弘（2009）「アスペクトによる漢字二字熟語のサ変複合動詞化に対する予測」（由本陽子・岸本秀樹 編）『語彙の意味と文法』；121-137，くろしお出

版.

松村明（1988）『日本文法大辞典』９版（初版 1971），明治書院.

宮岡弥生・玉岡賀津雄・林炫情（2006）「接頭・接尾辞と漢字二字熟語との結合力に関する日韓」対照研究」『日本語學研究』第 16 輯；33-46，ソウル：韓国日本語学会.

村木新太郎（2004）「漢語の品詞性を再考する」『日本語日本文学』第 16 号；1-35，同志社女子大学日本語日本文学会.

守屋美佐子（1996）「韓国語との日本語の言語干渉ー韓国人学生の誤用例」『慶州大学校論文集』第８輯；235-248，慶州大学校.

山口明恵・秋本守英（編）（2001）『日本語文法大辞典』東京：明治書院.

油谷幸利（1978）「現代韓国語動詞分類」『朝鮮学報』87；1-35，朝鮮学会.

油谷幸利（1990）「日本語と朝鮮語の語彙の対照」『日本語と日本語教育』第７巻；81-105，明治書院.

油谷幸利（2002）「誤訳に基づく日韓対照研究」『言語文化』5(1)：75-92，同志社大学.

油谷幸利（2007）「同形異語をめぐって」『韓国語教育論講座　第１巻』：655-674，くろしお出版.

油谷幸利（2012）『日韓対照言語学入門』４刷（2005 初版），白帝社.

尹貞姫（2008）「日朝両言語における形容詞語彙の分類」『ことばの科学』第 21 号；99 -120，名古屋大学言語文化研究会.

李于錫（2002）『韓日漢字語の品詞性に対する対照研究 - 二字漢字語の品詞性 - 』ソウル：J&S.

李漢燮（1984）「日韓同形の漢字表記語彙」『日本語学』８月号 Vol.3；102-113，明治書院.

李漢燮（1993）「現代韓国語における日本製漢語」『日本語学』7 月号 Vol.12；50-58，明治書院.

李漢燮（1996）「現代韓国語における漢字使用について」『国語文字史の研究』３;181-202，

和泉書院.

李漢燮（2005）「最近の韓国における漢字事情」『日本語学』7 月 Vol.24；6-15，明治書院.

若生正和（2008）「日本語と韓国語の漢字表記語の対照研究―漢語動名詞を中心に―」『大阪教育大学紀要』第 I 部門 56(2)；69-83，大阪教育大学.

若生正和（2009）「日韓漢字動名詞の対照研究―日本語能力試験３・４級語彙を中心に―」高榮珍・三ツ井崇・洪宗郁・金善美編『朝鮮半島のことばと社会』; 342-354，明石書店.

ハングル（論文・著書タイトル漢字併記）

金倉燮（2008）『한국어 형태론 연구（韓国語　形態論　研究）』 태학사.

南基心・高永根（共著）（2012）『표준국어문법론（標準国語文法論）』第３版 탑출판사.

盧明姫（2005）『현대국어 한자의 연구（現代国語漢字의研究）』대학사.

梅田博之（1988）「한국어와일본어－언어교육상의문제점（韓国語와日本語―言語教育上의問題点）」『二重言語学会誌』第 4 号；144-158，韓国二重言語.

梅田博之（2004）「最近　日本에서의　韓日　対照言語学의　動向」　『국어국문학』136；7-45，韓国・国語国文学会.

朴英燮（1995）『国語漢字語彙論』박이정.

朴大王（2005）「名詞の形容動詞化―連体形を中心に―」『日本語学研究』第 12 輯；59-73，ソウル：韓国日本語学会.

朴兼喆（1994）「漢字問題の本質」『語文研究』通巻 81・82 号第 22 巻 1・2 号；261-263，韓国語文教育研究会.

沈在箕・조항범・문금현・조남호・盧明姫・이선영（共著）（2011）『국어　　어휘론 개설』 지식과 교양.

安熙濟（2006）「본용언 형용사 ‘하다’의 선행성분에대하여」『国語学』第 48 輯；145-174，国語学会.

이상규（2000）「현대국어 한자어의 기능단위 연구（現代国語漢字語の機能単位研究）」『한국언어문화』제 18 집；67-83，한국언어문화학회.

이운영（2002）『『표준국어대사전』연구분석（『標準国語大辞典』研究分析）』국립국어연구원.

李乙煥（1990）「漢字語의 意味論的 特性」『語文研究』通巻 65・66；164-170，韓国語文教育研究会.

李鷹百（1980）「국어辞典 語彙의 類別構成比로 본 漢字語의 重要度와 教育問題」『語文研究』通巻 25・26 号；136-141，韓国語文教育研究会.

李翊燮（2013）『국어학개설』３版 （1986 初版），학연사.

兪昌均（1994）「漢字와韓国語」『語文研究』通巻 83；261-263，韓国語文教育研究会 .

鄭旼泳（1993）「漢字語系 混種語의 形成類型」『語文研究』韓国語文教育研究会.

최병규（2002）「상태성동사에 관한 연구」『日本語文学』第 14 輯；364-387，韓国日本語文学.

英文

Hayes, A. F., & Krippendorff, K. (2007). Answering the call for a standard reliability measure for coding data. *Communication Methods and Measures*, 1(1), 77-89.

Iida, M. (1987). Case-assignment by nominals in Japanese. In Masayo Iida, Stephen Wechsler and Draga Zec (Eds.), *Working papers in grammatical theory and discourse structure: interactions of morphology, syntax, and discourse* (pp.93-138). Stanford, CA: CSLI.

Shibatani, M., & Kageyama, T. (1988). Word formation in a modular theory of grammar:

Postsyntactic compounds in Japanese. *Language*, 64(3), 451-484.

Tamaoka, K., Matsuoka, C., Sakai, H., & Makioka, S. (2005). Predicting attachment of the light verb-sure to Japanese two-kanji compound words using four aspects. *Glottometrics*, 10, 73-81.

Yokosawa, K., & Umeda, M. (1988). Processes in human Kanji-word recognition. *Proceedings of the 1988 IEEE international conference on systems, man, and cybernetics*, 377-380. August 8-12, Beijing and Shenyang, China.

Vendler, Z. (1967). *Linguistics in philosophy*. Cornell University Press.

参照資料

北原保雄（編）（2010）『明鏡国語辞典』第二版，大修館書店.

国立国語研究所（2011）「現代日本語書き言葉均衡コーパス（BCCWJ）」オンライン検索ツール中納言 URL；https://chunagon.ninjal.ac.jp/

国際交流基金（2007）『日本語能力試験出題基準』改訂版，凡人社.

国立国語院（1999）『標準国語大辞典』ソウル；Doosan - Donga.

国立国語院・文化観光部（1998）『21 世紀　世宗計画』URL；http://www.sejong.or.kr/

専門教育出版編集部テスト課（1991）『品詞別・レベル別 1 万語語彙分類集』専門教育出版.

西尾実・岩淵悦太郎・水谷静夫（編）（2007）『岩波国語辞書』第六版，岩波書店.

松村明編（2006）『大辞林』第三版，三省堂.

松村明監修（1998）『大辞泉』第二版，小学館.

山口明穂・秋本守英（編）（1985）『旺文社詳解国語辞典』初版，旺文社.

山田忠雄・柴田武・酒井憲二・倉持保男・山田明雄・上野善道・井島正博・笹原宏之（編）（2012）『新明解国語辞典』第七版，三省堂.

山田俊雄・吉川泰雄（編）（1981）『角川新国語辞典』初版，角川書店.

油谷幸利・門脇誠一・松尾勇・高島淑郎（編）（1999）『朝鮮語事典』９刷，1993 年 1 刷，（共同編集）小学館，韓国・金星出版社.

資料編

資料編には、本データベースの一部を載せる。

【「資料Ⅰ」日本語２字漢字語 2,060 語】

〔シート１〕2,060 語の日本語辞書調査（４級，176 語）

〔シート２〕1,872 語の日韓同形２字漢字語（４級，145 語）

〔シート３〕韓国語に無い漢字語 188 語

〔シート４〕日韓同形語の品詞別割合（４級）

〔シート５〕日韓の形容詞性２字漢字語（４，３級）

【「資料Ⅱ」日韓同形２字漢字語 3,419 語】

〔シート１〕『旧試験』日本語２字漢字語 3,698 語（４級，176 語）

〔シート２〕日韓同形２字漢字語 3,419 語（１級のうち 150 語）

〔シート３〕韓国語に無い 279 語（１級，91 語）

【「資料Ⅲ」韓国語２字漢字語 2,000 語】

〔シート１〕韓国語の高使用頻度 2,000 語（上位 150 語）

〔シート２〕韓国語母語話者判定と辞書記述（上位 150 語）

〔シート３〕韓日同形２字漢字語 1,930 語（上位 100 語）

〔シート４〕日本語に無い漢字語 70 語

【「資料Ⅰ」日本語２字漢字語 2,060 語】

〔シート１〕2,060 語の日本語辞書調査

〔シート２〕1,872 語の日韓同形２字漢字語

〔シート３〕韓国語に無い漢字語 188 語

〔シート４〕日韓同形語の品詞別割合

〔シート５〕日韓の形容詞性２字漢字語

No	漢字表記	J読み	新明解国語辞典	角川　新国語辞典	岩波　国語辞書	明鏡　国語辞典	旺文社　詳解国語辞典	頻度	級
1	明日	あした・あす・みょうにち	あすの口語;副詞的にも	名詞	・	名	名	2228	4
2	医者	いしゃ	・	名	・	名	名	4660	4
3	椅子	いす	・	名	・	名	名	257	4
4	一日	いちにち	・	名	・	名	名	18614	4
5	一番	いちばん	①一;②副詞	名・副	名・副	名・副	①名②副	15195	4
6	五日	いつか	・	名	X	名	×	0	4
7	一緒	いっしょ	一緒に→副詞	名・自サ変・形動	(御)～する	名，自サ変	①名・自スル②名	5755	4
8	意味	いみ	・	名	名・ス他	名・他サ変	①名・他スル②名	43472	4
9	入口	いりぐち	・	名	・	X	名	5029	4
10	色々	いろいろ	・	名・形動・副	名・副・ダナ	X	①名・形動②副	274	4
11	上着	うわぎ	・	名	・	名	名	855	4
12	映画	えいが	・	名	・	名	名	37275	4
13	英語	えいご	・	名	X	名	名	13038	4
14	鉛筆	えんぴつ	・	名	・	名	名	1259	4
15	大勢	おおぜい	一(副詞的にも	名	・	名	名・副	8938	4
16	叔父	おじ・おじさん	・	名	X	名	名	732	4
17	伯父	おじ・おじさん	・	名	X	名	名	338	4
18	祖父	おじいさん	・	名	X	名	名	769	4
19	大人	おとな・だいにん	・	名・形動	・	名	①名②形動	11459	4
20	叔母	おば・おばさん	・	名	・	名	名	463	4
21	伯母	おば・おばさん	・	名	・	名	名	208	4
22	祖母	おばあさん	・	名	・	名	名	1293	4
23	音楽	おんがく	・	名	・	名	名	19777	4
24	外国	がいこく	・	名	・	名	名	33746	4
25	会社	かいしゃ	・	名	・	名	名	121162	4
26	階段	かいだん	・	名	・	名	名	3680	4
27	学生	がくせい	・	名	・	名	名	42414	4
28	箇月	かげつ	造語	×	X	造	×	68392	4
29	菓子	かし・おかし	・	名	・	名	名	2748	4
30	風邪	かぜ	・	名	・	名	名	1634	4
31	家族	かぞく	・	名	・	名	名	47974	4
32	学校	がっこう	・	名	・	名	名	51047	4

33	家庭	かてい	・	名	・	名	名	27732	4
34	家内	かない	・	名	・	名	名	733	4
35	花瓶	かびん	・	名	・	名	名	214	4
36	漢字	かんじ	・	名	・	名	名	3337	4
37	黄色	きいろ	な	名	・	名	名	1157	4
38	切手	きって	・	名	・	名	名	2202	4
39	切符	きっぷ	・	名	・	名	名	2271	4
40	昨日	きのう・さくじつ	・(副詞的にも)	名	・	名	名	1046	4
41	牛肉	ぎゅうにく	・	名	・	名	×	5211	4
42	牛乳	ぎゅうにゅう	・	名	・	名	×	3157	4
43	今日	きょう	①名(副詞的にも)② ・	名	・	名	名	14588	4
44	教室	きょうしつ	・	名	・	名	名	10533	4
45	兄弟	きょうだい	・	名	・	名	名	5215	4
46	去年	きょねん	・	名	・	名	名	8116	4
47	綺麗	きれい	な/に	形動	ダナ	形動	形動	1261	4
48	銀行	ぎんこう	・	名	・	名	名	61818	4
49	果物	くだもの	・	名	・	名	名	2088	4
50	靴下	くつした	・	名	・	名	名	645	4
51	警官	けいかん	・	名	・	名	名	6432	4
52	今朝	けさ	・	名	・	名	名	413	4
53	結構	けっこう	① ・ ②な/に③副	①名②形動ダ③副	名・ダナ・副	名・形動	①名②形動③副	1484	4
54	結婚	けっこん	自サ	名・自サ変	名・ス自	名・自サ変	名・自スル	20300	4
55	玄関	げんかん	・(副詞的にも)	名	・	名	名	5440	4
56	元気	げんき	①ー②な・に	名(①②ー③形動ダ)	・	名，形動	名・形動	4352	4
57	公園	こうえん	・	名	・	名	名	8855	4
58	紅茶	こうちゃ	・	名	・	名	名	723	4
59	交番	こうばん	・	名①自サ変②ー	・	名	名	769	4
60	午後	ごご	・	名	・	名	名	89497	4
61	九日	ここのか・ここぬか	ー(副詞的にも	名	X	名	×	0	4
62	午前	ごぜん	・	名	・	名	名	119335	4
63	今年	ことし・こんねん	ー(副詞的にも	名	・	名	名	91047	4
64	言葉	ことば	・	名	・	名	名	53016	4
65	子供	こども	・	名	・	名	名	51651	4
66	今月	こんげつ	ー(副詞的にも	名	・	名	名	27252	4
67	今週	こんしゅう	ー(副詞的にも	名	・	名	名	1960	4
68	今晩	こんばん	ー(副詞的にも	名	・	名	名	197	4

69	財布	さいふ	・	名	・	名	名	2039	4
70	作文	さくぶん	自サ	名①自サ変②③ー	・	名・自サ変	①名・自スル②名	1922	4
71	雑誌	ざっし	・	名	・	名	名	14515	4
72	砂糖	さとう	・	名	・	名	名	3412	4
73	散歩	さんぽ	自サ	名・自サ変	名・ス自	名・自サ変	名・自スル	2537	4
74	時間	じかん	・	名	・	名	名	50399	4
75	仕事	しごと	・	名	・	名	名	57933	4
76	辞書	じしょ	・	名	・	名	名	1693	4
77	質問	しつもん	自他サ	名・自他サ変	名・ス他	名・自他サ変	名・自他スル	30320	4
78	字引	じびき	・	名	・	名	名	38	4
79	自分	じぶん	①ー②代	①名②代・自称	・ 代名詞	名，代	①名②代	107942	4
80	写真	しゃしん	・	名	・	名	名	47843	4
81	週間	しゅうかん	・	名	・	名	接尾	17972	4
82	授業	じゅぎょう	自サ	名・自サ変	名・ス自	名・自サ変	名・自スル	13512	4
83	宿題	しゅくだい	・	名	・	名	名	1679	4
84	上手	じょうず	①な・に②「お～」	名①形動ダ②-	名・ダナ	名・形動	名・形動	1887	4
85	丈夫	じょうぶ	な・に	名	ダナ	形動	名	204	4
86	醤油	しょうゆ	名	名	・	名	名	3020	4
87	食堂	しょくどう	・	名	・	名	名	3081	4
88	新聞	しんぶん	・	名	・	名	名	30764	4
89	生徒	せいと	・	名	・	名	名	28901	4
90	石鹸	せっけん	・	名	・	名	名	1060	4
91	背広	せびろ	・	名	・	名	名	1865	4
92	先月	せんげつ	・	名	・	名	名	13166	4
93	先週	せんしゅう	・	名	X	名	名	3822	4
94	先生	せんせい	・	名	・	名	名	27819	4
95	洗濯	せんたく	他サ	名・他サ変	名・ス他	名・他サ変	名・他スル	1900	4
96	全部	ぜんぶ	・	名①副②ー	・	名	名	6186	4
97	掃除	そうじ	他サ	名・他サ変	名・ス他	名・他サ変	名・他スル	3176	4
98	大学	だいがく	・	名	・	名	×	51971	4
99	大切	たいせつ	な・に	名・形動ダ	ダナ	形動	形動	3062	4
100	台所	だいどころ	・	名	・	名	名	3239	4
101	大変	たいへん	①ー②な・に③(副)に	①名②形動ダ③副	ダナ・副・名	名・形動	①名②形動・副	4638	4
102	沢山	たくさん	①(副)②な	①副②形動ダ	ダノナ・副	形動・副	副・形動	8512	4
103	建物	たてもの	・	名	・	名	名	16280	4
104	煙草	たばこ	・	名	・	名	名	8674	4

105	多分	たぶん	①ー②(副)	①名②副	名ナノ・副	名・形動・副詞	名・副	1185	4
106	玉子	たまご	・	名	・	名	名	5058	4
107	地図	ちず	・	名	・	名	名	5152	4
108	茶色	ちゃいろ・ちゃいろい	・	名	名ナノ	名・形動	名	872	4
109	茶碗	ちゃわん	・	名	・	名	名	165	4
110	丁度	ちょうど	副	①副②形動ダ	副	副	副	5900	4
111	一日	ついたち	・	名	・	名	名	0	4
112	手紙	てがみ	・	名	・	名	名	14144	4
113	出口	でぐち	・	名	・	名	名	2061	4
114	天気	てんき	・	名	・	名	名	2607	4
115	電気	でんき	・	名	・	名	名	11210	4
116	電車	でんしゃ	・	名	・	名	名	8697	4
117	電話	でんわ	自サ	名①自サ変②ー	名・ス自	名，自他サ変	名・自スル	61270	4
118	動物	どうぶつ	・	名	・	名	名/的(形動)	10687	4
119	十日	とおか	・	名	・	名	名	0	4
120	時々	ときどき	①ー②(副)	①名②副	①副詞 ②名詞	名・副	①副②名	2753	4
121	時計	とけい	・	名	・	副詞	名	2925	4
122	友達	ともだち	・	名	・	名	名	5045	4
123	何故	なぜ	(副)	副	副ダ	名	副	25170	4
124	七日	なのか・なぬか	・	名	・	名	×	0	4
125	名前	なまえ	・	名	・	名	名	21613	4
126	荷物	にもつ	・	名	・	名	名	3419	4
127	灰皿	はいざら	・	名	・	名	×	364	4
128	葉書	はがき	・	名	・	名	名	6157	4
129	番号	ばんごう	・	名	・	名	名	5952	4
130	半分	はんぶん	①ー②造語	名	・	名	名	12380	4
131	晩飯	ばんめし	・	名	・	名	名	62	4
132	一月	ひとつき	×	×	X	名	×	19269	4
133	一人	ひとり	①ー②(副)	名	①名詞 ②副詞	名	①名②副	32043	4
134	病院	びょういん	・	名	・	名	名	64660	4
135	病気	びょうき	①自サ②ー	名	名・ス自	名	①名・自スル②名	16426	4
136	昼飯	ひるめし	・	名	・	名	名	85	4
137	封筒	ふうとう	・	名	・	名	名	1853	4
138	豚肉	ぶたにく	×	×	X	名	×	1083	4
139	二人	ふたり	・	名	・	名	名	34526	4
140	二日	ふつか	・	名	・	名	×	0	4

141	風呂	ふろ	・	名	・	名	名	287	4
142	文章	ぶんしょう	・	名	・	名	名	6036	4
143	下手	へた	な・に	名・形動ダ	名・ダナ	名・形動	名・形動	657	4
144	部屋	へや	・	名	・	名	名	17203	4
145	勉強	べんきょう	自他サ	名・自他サ変	名・ス他自	名・自他サ変	名・自他スル	19390	4
146	弁当	べんとう	・	名	・	名	名	2739	4
147	便利	べんり	な・に	名・形動ダ	名ナノ	名・形動	名・形動	2531	4
148	帽子	ぼうし	・	名	・	名	名	1795	4
149	本棚	ほんだな	・	名	・	名	名	407	4
150	本当	ほんとう	な・に	名・形動ダ	・	名・形動	名・形動	12757	4
151	毎朝	まいあさ	・	名	・	名・副詞	名	997	4
152	毎週	まいしゅう	・	名	X	名・副詞	×	2620	4
153	毎月	まいつき	・	名	・	名・副詞	×	6121	4
154	毎年	まいねん	×	名	・	名・副詞	名	10850	4
155	毎日	まいにち	・	名	・	名・副詞	名	8039	4
156	毎晩	まいばん	×	名	・	名・副	名	509	4
157	三日	みっか	・	名	・	名	名	0	4
158	六日	むいか	・	名	X	名	×	0	4
159	眼鏡	めがね	・	名	・	名	名	1314	4
160	問題	もんだい	・	名	・	名	名	320522	4
161	野菜	やさい	・	名	・	名	名	8557	4
162	夕方	ゆうがた	・	名	・	名	名	3758	4
163	夕飯	ゆうはん	・	名	・	名	名	219	4
164	有名	ゆうめい	な・に	名・形動ダ	名ナノ	形動	名・形動	3825	4
165	八日	ようか	・	名	X	名	×	0	4
166	洋服	ようふく	・	名	・	名	名	1597	4
167	四日	よっか	・	名	X	名	×	0	4
168	来月	らいげつ	―(副詞的にも	名	・	名	名	6995	4
169	来週	らいしゅう	―(副詞的にも	名	・	名	名	2196	4
170	来年	らいねん	―(副詞的にも	名	・	名	名	40685	4
171	立派	りっぱ	な・に	形動	ダナ	形動	形動	4157	4
172	両親	りょうしん	・	名	・	名	名	10474	4
173	料理	りょうり	他サ	名・他サ変	名・す他	名・他サ変	名・他スル	11141	4
174	旅行	りょこう	自サ	名・自サ変	名・す自	名・自サ変	名・自スル	20593	4
175	練習	れんしゅう	他サ	名・他サ変	名・す他	名・他サ変	名・他スル	16650	4
176	廊下	ろうか	・	名	・	名	名	2497	4

No	漢字表記	日読み	~suru (Verb)	~na (Adjective)	～的	級	漢字表記	韓読み	~hada (V-Active)	~doeda (V-Passive)	~hada (Adjective)	~的
1	明日	あした・あす・みょうにち	0	0	0	4	明日	명일	0	0	0	0
2	医者	いしゃ	0	0	0	4	醫者	의자	0	0	0	0
3	椅子	いす	0	0	0	4	椅子	의자	0	0	0	0
4	一日	いちにち	0	0	0	4	一日	일일	0	0	0	0
5	一番	いちばん	0	0	0	4	一番	일번	0	0	0	0
6	五日	いつか	0	0	0	4	五日	오일	0	0	0	0
7	意味	いみ	1	0	0	4	意味	의미	1	0	0	0
8	入口	いりぐち	0	0	0	4	入口	입구	0	0	0	0
9	色々	いろいろ	0	1	0	4	色色	색색	0	0	0	0
10	映画	えいが	0	0	0	4	映画	영화	0	0	0	1
11	英語	えいご	0	0	0	4	英語	영어	0	0	0	0
12	鉛筆	えんぴつ	0	0	0	4	鉛筆	연필	0	0	0	0
13	大勢	おおぜい	0	0	0	4	大勢	대세	0	0	0	0
14	叔父	おじ・おじさん	0	0	0	4	叔父	숙부	0	0	0	0
15	伯父	おじ・おじさん	0	0	0	4	伯父	백부	0	0	0	0
16	祖父	おじいさん	0	0	0	4	祖父	조부	0	0	0	0
17	大人	おとな・だいにん	0	0	0	4	大人	대인	0	0	0	0
18	叔母	おば・おばさん	0	0	0	4	叔母	숙모	0	0	0	0
19	伯母	おば・おばさん	0	0	0	4	伯母	백모	0	0	0	0
20	祖母	おばあさん	0	0	0	4	祖母	조모	0	0	0	0
21	音楽	おんがく	0	0	0	4	音楽	음악	0	0	0	1
22	外国	がいこく	0	0	0	4	外国	외국	0	0	0	0
23	会社	かいしゃ	0	0	0	4	会社	회사	0	0	0	0
24	階段	かいだん	0	0	0	4	階段	계단	0	0	0	0
25	学生	がくせい	0	0	0	4	学生	학생	0	0	0	0
26	箇月	かげつ	0	0	0	4	箇月	개월	0	0	0	0
27	菓子	かし・おかし	0	0	0	4	菓子	과자	0	0	0	0
28	風邪	かぜ	0	0	0	4	風邪	풍사	0	0	0	0
29	家族	かぞく	0	0	0	4	家族	가족	0	0	0	1
30	学校	がっこう	0	0	0	4	学校	학교	0	0	0	0
31	家庭	かてい	0	0	1	4	家庭	가정	0	0	0	1
32	家内	かない	0	0	0	4	家内	가내	0	0	0	0
33	花瓶	かびん	0	0	0	4	花瓶	화병	0	0	0	0

34	漢字	かんじ	0	0	0	4	漢字	한자	0	0	0	0
35	黄色	きいろ	0	1	0	4	黄色	황색	0	0	0	0
36	切手	きって	0	0	0	4	切手	절수	0	0	0	0
37	昨日	きのう・さくじつ	0	0	0	4	昨日	작일	0	0	0	0
38	牛肉	ぎゅうにく	0	0	0	4	牛肉	우육	0	0	0	0
39	牛乳	ぎゅうにゅう	0	0	0	4	牛乳	우유	0	0	0	0
40	今日	きょう	0	0	0	4	今日	금일	0	0	0	0
41	教室	きょうしつ	0	0	0	4	教室	교실	0	0	0	0
42	兄弟	きょうだい	0	0	0	4	兄弟	형제	0	0	0	0
43	去年	きょねん	0	0	0	4	去年	거년	0	0	0	0
44	綺麗	きれい	0	1	0	4	綺麗	기려	0	0	1	0
45	銀行	ぎんこう	0	0	0	4	銀行	은행	0	0	0	0
46	果物	くだもの	0	0	0	4	果物	과물	0	0	0	0
47	警官	けいかん	0	0	0	4	警官	경관	0	0	0	0
48	今朝	けさ	0	0	0	4	今朝	금조	0	0	0	0
49	結構	けっこう	1	1	0	4	結構	결구	1	0	0	0
50	結婚	けっこん	1	0	0	4	結婚	결혼	1	0	0	0
51	玄関	げんかん	0	0	0	4	玄関	현관	0	0	0	0
52	元気	げんき	0	1	0	4	元気	원기	0	0	0	0
53	公園	こうえん	0	0	0	4	公園	공원	0	0	0	0
54	紅茶	こうちゃ	0	0	0	4	紅茶	홍엽	0	0	0	0
55	交番	こうばん	1	0	0	4	交番	교번	1	0	0	0
56	午後	ごご	0	0	0	4	午後	오후	0	0	0	0
57	九日	ここのか・ここぬか	0	0	0	4	九日	구일	0	0	0	0
58	午前	ごぜん	0	0	0	4	午前	오전	0	0	0	0
59	今年	ことし・こんねん	0	0	0	4	今年	금년	0	0	0	0
60	今月	こんげつ	0	0	0	4	今月	금월	0	0	0	0
61	今週	こんしゅう	0	0	0	4	今週	금주	0	0	0	0
62	今晩	こんばん	0	0	0	4	今晩	금만	0	0	0	0
63	作文	さくぶん	1	0	0	4	作文	작문	1	0	0	0
64	雑誌	ざっし	0	0	0	4	雑誌	잡지	0	0	0	0
65	砂糖	さとう	0	0	0	4	砂糖	사탕	0	0	0	0
66	散歩	さんぽ	1	0	0	4	散歩	산보	1	0	0	0
67	時間	じかん	0	0	0	4	時間	시간	0	0	0	1
68	辞書	じしょ	0	0	0	4	辞書	사서	0	0	0	0
69	質問	しつもん	1	0	0	4	質問	질문	1	0	0	0

70	写真	しゃしん	0	0	0	4	写真	사진	1	0	0	0
71	週間	しゅうかん	0	0	0	4	週間	주간	0	0	0	0
72	授業	じゅぎょう	1	0	0	4	授業	수업	1	0	0	0
73	宿題	しゅくだい	0	0	0	4	宿題	숙제	0	0	0	0
74	上手	じょうず	0	1	0	4	上手	상수	0	0	0	0
75	丈夫	じょうぶ	0	1	0	4	丈夫	장부	0	0	0	0
76	醤油	しょうゆ	0	0	0	4	醤油	장유	0	0	0	0
77	食堂	しょくどう	0	0	0	4	食堂	식당	0	0	0	0
78	新聞	しんぶん	0	0	0	4	新聞	신문	0	0	0	0
79	生徒	せいと	0	0	0	4	生徒	생도	0	0	0	0
80	石鹸	せっけん	0	0	0	4	石鹸	석감	0	0	0	0
81	先月	せんげつ	0	0	0	4	先月	선월	0	0	0	0
82	先週	せんしゅう	0	0	0	4	先週	선주	0	0	0	0
83	先生	せんせい	0	0	0	4	先生	선생	0	0	0	0
84	洗濯	せんたく	1	0	0	4	洗濯	세탁	1	1	0	0
85	全部	ぜんぶ	0	0	0	4	全部	전부	0	0	0	0
86	掃除	そうじ	1	0	0	4	掃除	소제	1	1	0	0
87	大学	だいがく	0	0	0	4	大学	대학	0	0	0	0
88	大変	たいへん	0	1	0	4	大変	대변	0	0	0	0
89	建物	たてもの	0	0	0	4	建物	건물	0	0	0	0
90	煙草	たばこ	0	0	0	4	煙草	연초	0	0	0	0
91	多分	たぶん	0	1	0	4	多分	다분	0	0	1	0
92	地図	ちず	0	0	0	4	地図	지도	0	0	0	0
93	茶色	ちゃいろ・ちゃいろい	0	0	0	4	茶色	다색	0	0	0	0
94	茶碗	ちゃわん	0	0	0	4	茶碗	다완	0	0	0	0
95	一日	ついたち	0	0	0	4	一日	일일	0	0	0	0
96	出口	でぐち	0	0	0	4	出口	출구	1	0	0	0
97	天気	てんき	0	0	0	4	天気	천기	0	0	0	0
98	電気	でんき	0	0	0	4	電気	전기	0	0	0	0
99	電車	でんしゃ	0	0	0	4	電車	전차	0	0	0	0
100	電話	でんわ	1	0	0	4	電話	전화	1	0	0	0
101	動物	どうぶつ	0	0	1	4	動物	동물	0	0	0	1
102	十日	とおか	0	0	0	4	十日	십일	0	0	0	0
103	時計	とけい	0	0	0	4	時計	시계	0	0	0	0
104	何故	なぜ	0	0	0	4	何故	하고	0	0	0	0
105	七日	なのか・なぬか	0	0	0	4	七日	칠일	0	0	0	0

106	荷物	にもつ	0	0	0	4	荷物	하물	0	0	0	0
107	葉書	はがき	0	0	0	4	葉書	엽서	0	0	0	0
108	番号	ばんごう	0	0	0	4	番号	번호	0	0	0	0
109	半分	はんぶん	0	0	0	4	半分	반분	1	1	0	0
110	一月	ひとつき	0	0	0	4	一月	일월	0	0	0	0
111	一人	ひとり	0	0	0	4	一人	일인	0	0	0	0
112	病院	びょういん	0	0	0	4	病院	병원	0	0	0	0
113	病気	びょうき	0	0	0	4	病気	병기	0	0	0	0
114	封筒	ふうとう	0	0	0	4	封筒	봉통	0	0	0	0
115	豚肉	ぶたにく	0	0	0	4	豚肉	돈육	0	0	0	0
116	二人	ふたり	0	0	0	4	二人	이인	0	0	0	0
117	二日	ふつか	0	0	0	4	二日	이일	0	0	0	0
118	文章	ぶんしょう	0	0	0	4	文章	문장	0	0	0	0
119	下手	へた	0	1	0	4	下手	하수	0	0	0	0
120	勉強	べんきょう	1	0	0	4	勉強	면강	1	0	0	0
121	便利	べんり	0	1	0	4	便利	편리	0	0	1	0
122	帽子	ぼうし	0	0	0	4	帽子	모자	0	0	0	0
123	毎朝	まいあさ	0	0	0	4	毎朝	매조	0	0	0	0
124	毎週	まいしゅう	0	0	0	4	毎週	매주	0	0	0	0
125	毎月	まいつき	0	0	0	4	毎月	매월	0	0	0	0
126	毎年	まいとし・まいねん	0	0	0	4	毎年	매년	0	0	0	0
127	毎日	まいにち	0	0	0	4	毎日	매일	0	0	0	0
128	三日	みっか	0	0	0	4	三日	삼일	0	0	0	0
129	六日	むいか	0	0	0	4	六日	육일	0	0	0	0
130	眼鏡	めがね	0	0	0	4	眼鏡	안경	0	0	0	0
131	問題	もんだい	0	0	0	4	問題	문제	0	0	0	0
132	野菜	やさい	0	0	0	4	野菜	야채	0	0	0	0
133	夕飯	ゆうはん	0	0	0	4	夕飯	석반	0	0	0	0
134	有名	ゆうめい	0	1	0	4	有名	유명	0	0	1	0
135	八日	ようか	0	0	0	4	八日	팔일	0	0	0	0
136	洋服	ようふく	0	0	0	4	洋服	양복	0	0	0	0
137	四日	よっか	0	0	0	4	四日	사일	0	0	0	0
138	来月	らいげつ	0	0	0	4	来月	내월	0	0	0	0
139	来週	らいしゅう	0	0	0	4	来週	내주	0	0	0	0
140	来年	らいねん	0	0	0	4	来年	내년	0	0	0	0
141	両親	りょうしん	0	0	0	4	両親	양친	0	0	0	0

142	料理	りょうり	1	0	0	4	料理	요리	1	1	0	0
143	旅行	りょこう	1	0	0	4	旅行	여행	1	0	0	0
144	練習	れんしゅう	1	0	0	4	練習	연습	1	1	0	0
145	廊下	ろうか	0	0	0	4	廊下	낭하	0	0	0	0

No	漢字表記	日読み	~suru (Verb)	~na (Adjective)	～的	品詞	頻度	級
1	一緒	いっしょ	0	0	0	名	5755	4
2	上着	うわぎ	0	0	0	名	855	4
3	切符	きっぷ	0	0	0	名	2271	4
4	靴下	くつした	0	0	0	名	645	4
5	言葉	ことば	0	0	0	名	53016	4
6	子供	こども	0	0	0	名	51651	4
7	財布	さいふ	0	0	0	名	2039	4
8	仕事	しごと	0	0	0	名	57933	4
9	字引	じびき	0	0	0	名	38	4
10	自分	じぶん	0	0	0	代・名	107942	4
11	背広	せびろ	0	0	0	名	1865	4
12	大切	たいせつ	0	1	0	形動	3062	4
13	台所	だいどころ	0	0	0	名	3239	4
14	沢山	たくさん	0	1	0	形動	8512	4
15	玉子	たまご	0	0	0	名	5058	4
16	丁度	ちょうど	0	0	0	副	5900	4
17	手紙	てがみ	0	0	0	名	14144	4
18	時々	ときどき	0	0	0	名	2753	4
19	友達	ともだち	0	0	0	名	5045	4
20	名前	なまえ	0	0	0	名	21613	4
21	灰皿	はいざら	0	0	0	名	364	4
22	晩飯	ばんめし・ばんごはん	0	0	0	名	62	4
23	昼飯	ひるめし・ひるごはん	0	0	0	名	85	4
24	風呂	ふろ	0	0	0	名	287	4
25	部屋	へや	0	0	0	名	17203	4
26	弁当	べんとう・おべんとう	0	0	0	名	2739	4
27	本棚	ほんだな	0	0	0	名	407	4
28	本当	ほんとう	0	1	0	名・副	12757	4
29	毎晩	まいばん	0	0	0	名	509	4
30	夕方	ゆうがた	0	0	0	名	3758	4
31	立派	りっぱ	0	1	0	形動	4157	4
32	挨拶	あいさつ	1	0	0	名	193	3
33	格好	かっこう	0	1	0	形動・名	2449	3
34	彼女	かのじょ	0	0	0	代	14209	3
35	着物	きもの	0	0	0	名	1870	3
36	近所	きんじょ	0	0	0	名	6007	3
37	具合	ぐあい	0	0	0	名	5361	3
38	怪我	けが	1	0	0	名	10813	3
39	見物	けんぶつ	1	0	0	名	1188	3
40	今度	こんど	0	0	0	名	18903	3
41	残念	ざんねん	0	1	0	形動	4577	3
42	仕方	しかた	0	0	0	名	7015	3
43	下着	したぎ	0	0	0	名	1488	3
44	支度	したく	1	0	0	名	751	3
45	承知	しょうち	1	0	0	名	4306	3
46	心配	しんぱい	1	1	0	形動・名	22071	3
47	随分	ずいぶん	0	1	0	形動・副・名	968	3
48	背中	せなか	0	0	0	名	3335	3
49	世話	せわ	1	0	0	名	5097	3
50	駄目	だめ	0	1	0	形動・名	459	3
51	手袋	てぶくろ	0	0	0	名	821	3
52	床屋	とこや	0	0	0	名	269	3
53	泥棒	どろぼう	1	0	0	名	758	3
54	値段	ねだん	0	0	0	名	8471	3
55	寝坊	ねぼう	1	1	0	形動・名	52	3
56	場合	ばあい	0	0	0	名	70313	3
57	花見	はなみ	0	0	0	名	777	3

58	番組	ばんぐみ	0	0	0	名	26995	3
59	昼間	ひるま	0	0	0	名	1763	3
60	布団	ふとん	0	0	0	名	1599	3
61	返事	へんじ	1	0	0	名	4173	3
62	割合	わりあい	0	0	0	副・名	13243	3
63	合図	あいず	1	0	0	名	884	2
64	相手	あいて	0	0	0	名	38539	2
65	生憎	あいにく	0	1	0	副	137	2
66	足元	あしもと	0	0	0	名	3915	2
67	宛名	あてな	0	0	0	名	497	2
68	雨戸	あまど	0	0	0	名	202	2
69	案外	あんがい	0	1	0	副・形動・名	640	2
70	一応	いちおう	0	0	0	副・名	3813	2
71	井戸	いど	0	0	0	名	1220	2
72	裏口	うらぐち	0	0	0	名	393	2
73	英和	えいわ	0	0	0	名	169	2
74	王様	おうさま	0	0	0	名	660	2
75	奥様	おくさま	0	0	0	名	328	2
76	親指	おやゆび	0	0	0	名	788	2
77	御中	おんちゅう	0	0	0	名	19	2
78	書留	かきとめ	0	0	0	名	266	2
79	垣根	かきね	0	0	0	名	1338	2
80	貸間	かしま	0	0	0	名	32	2
81	方々	かたがた	0	0	0	代・名・副	4034	2
82	勝手	かって	0	1	0	形動・名	1248	2
83	神様	かみさま	0	0	0	名	1425	2
84	為替	かわせ	0	0	0	名	4978	2
85	機嫌	きげん	0	1	0	名	452	2
86	器用	きよう	0	1	0	形動・名	169	2
87	行儀	ぎょうぎ	0	0	0	名	223	2
88	気楽	きらく	0	1	0	形動	246	2
89	口紅	くちべに	0	0	0	名	463	2
90	下駄	げた	0	0	0	名	137	2
91	気配	けはい	0	0	0	名	4824	2
92	県庁	けんちょう	0	0	0	名	1499	2
93	見当	けんとう	0	0	0	名	646	2
94	御免	ごめん	0	0	0	感・名	1105	2
95	献立	こんだて	0	0	0	名	670	2
96	最中	さいちゅう・さなか	0	0	0	副・名	2829	2
97	先程	さきほど	0	0	0	名	20	2
98	作製	さくせい	1	0	0	名	766	2
99	座敷	ざしき	0	0	0	名	329	2
100	刺身	さしみ	0	0	0	名	777	2
101	流石	さすが	0	1	0	形動・副	2184	2
102	様々	さまざま	0	1	0	形動・名	623	2
103	下町	したまち	0	0	0	名	1593	2
104	芝居	しばい	0	0	0	名	4567	2
105	芝生	しばふ	0	0	0	名	861	2
106	少々	しょうしょう	0	0	0	名	2300	2
107	商売	しょうばい	1	0	0	名	4889	2
108	書物	しょもつ	0	0	0	名	1029	2
109	真剣	しんけん	0	1	0	形動・名	1215	2
110	親類	しんるい	0	0	0	名	3358	2
111	素敵	すてき	0	1	0	形動	94	2
112	素直	すなお	0	1	0	形動	609	2
113	寸法	すんぽう	0	0	0	名	425	2
114	精々	せいぜい	0	0	0	副・名	2288	2
115	贅沢	ぜいたく	1	1	0	形動・名	130	2
116	雑巾	ぞうきん	0	0	0	名	72	2

117	粗末	そまつ	0	1	0	形動・名	389	2
118	算盤	そろばん	0	0	0	名	327	2
119	退屈	たいくつ	1	1	0	形動・名	525	2
120	大層	たいそう	0	1	0	形動・副	37	2
121	足袋	たび	0	0	0	名	133	2
122	度々	たびたび	0	0	0	副	180	2
123	頂戴	ちょうだい	1	0	0	名	44	2
124	丁目	ちょうめ	0	0	0	名	3049	2
125	塵紙	ちりがみ	0	0	0	名	61	2
126	適確	てきかく	0	1	0	形動	6	2
127	手間	てま	0	0	0	名	2356	2
128	手前	てまえ	0	0	0	名	2585	2
129	所々	ところどころ	0	0	0	名	96	2
130	戸棚	とだな	0	0	0	名	149	2
131	途端	とたん	0	0	0	名	948	2
132	仲間	なかま	0	0	0	名	13072	2
133	謎々	なぞなぞ	0	0	0	名	74	2
134	何分	なにぶん・なんぷん	0	0	0	副・名	210	2
135	苦手	にがて	0	0	0	名	2296	2
136	女房	にょうぼう	0	0	0	名	1217	2
137	寝巻	ねまき	0	0	0	名	213	2
138	年月	ねんげつ・としつき	0	0	0	名	1161	2
139	呑気	のんき	1	1	0	形動・名	68	2
140	馬鹿	ばか	0	1	0	形動・名・感	106	2
141	肌着	はだぎ	0	0	0	名	244	2
142	派手	はで	0	1	0	形動・名	233	2
143	花嫁	はなよめ	0	0	0	名	1058	2
144	早口	はやくち	0	0	0	名	433	2
145	針金	はりがね	0	0	0	名	365	2
146	判子	はんこ	0	0	0	名	211	2
147	番目	ばんめ	0	0	0	名	207	2
148	便箋	びんせん	0	0	0	名	502	2
149	兵隊	へいたい	0	0	0	名	1198	2
150	双子	ふたご	0	0	0	名	1247	2
151	普段	ふだん	0	1	0	形動・名	1797	2
152	踏切	ふみきり	0	0	0	名	1076	2
153	方角	ほうがく	0	0	0	名	329	2
154	包帯	ほうたい	0	0	0	名	324	2
155	包丁・庖丁	ほうちょう	0	0	0	名	2040	2
156	方々	ほうぼう	0	0	0	名	4034	2
157	迷子	まいご	0	0	0	名	222	2
158	毎度	まいど	0	0	0	名	169	2
159	真似	まね	1	0	0	名	1786	2
160	見方	みかた	0	0	0	名	40578	2
161	味方	みかた	1	0	0	名	2123	2
162	見事	みごと	0	1	0	形動・副・名	741	2
163	水着	みずぎ	0	0	0	名	821	2
164	店屋	みせや	0	0	0	名	11	2
165	味噌	みそ	0	0	0	名	149	2
166	道順	みちじゅん	0	0	0	名	117	2
167	無駄	むだ	0	1	0	形動・名	1240	2
168	銘々	めいめい	0	0	0	名	23	2
169	目上	めうえ	0	0	0	名	111	2
170	目印	めじるし	0	0	0	名	455	2
171	目安	めやす	0	0	0	名	2778	2
172	面倒	めんどう	0	1	0	形動・名	2814	2
173	物置	ものおき	0	0	0	名	507	2
174	物語	ものがたり	0	0	0	名	8838	2
175	物事	ものごと	0	0	0	名	1252	2

176	薬缶	やかん	0	0	0	名	230	2
177	役者	やくしゃ	0	0	0	名	2735	2
178	役目	やくめ	0	0	0	名	2279	2
179	矢印	やじるし	0	0	0	名	204	2
180	厄介	やっかい	0	1	0	形動・名	134	2
181	屋根	やね	0	0	0	名	4381	2
182	夕立	ゆうだち	0	0	0	名	108	2
183	湯気	ゆげ	0	0	0	名	308	2
184	油断	ゆだん	1	0	0	名	738	2
185	余計	よけい	0	1	0	形動・副・名	471	2
186	両替	りょうがえ	1	0	0	名	638	2
187	和英	わえい	0	0	0	名	59	2
188	我々	われわれ	0	0	0	代・名	18523	2

日韓同形語			Verb	Adjective
4級	145 語	K	18(1.0%)	4 (0.2%)
		J	15(0.8%)	12 (0.6%)

1872語のうち，0.8%(15語)に相当する日本語における動詞の漢字語。

No	漢字表記	日読み	~suru (Verb)	~na (Adjective)	～的	級	表記	韓読み	~hada (V-Active)	~doeda (V-Passive)	~hada (Adjective)	~的
1	意味	いみ	1	0	0	4	意味	의미	1	0	0	0
2	結構	けっこう	1	1	0	4	結構	결구	1	0	0	0
3	結婚	けっこん	1	0	0	4	結婚	결혼	1	0	0	0
4	交番	こうばん	1	0	0	4	交番	교번	1	0	0	0
5	作文	さくぶん	1	0	0	4	作文	작문	1	0	0	0
6	散歩	さんぽ	1	0	0	4	散歩	산보	1	0	0	0
7	質問	しつもん	1	0	0	4	質問	질문	1	0	0	0
8	授業	じゅぎょう	1	0	0	4	授業	수업	1	0	0	0
9	洗濯	せんたく	1	0	0	4	洗濯	세탁	1	1	0	0
10	掃除	そうじ	1	0	0	4	掃除	소제	1	1	0	0
11	電話	でんわ	1	0	0	4	電話	전화	1	0	0	0
12	勉強	べんきょう	1	0	0	4	勉強	면강	1	0	0	0
13	料理	りょうり	1	0	0	4	料理	요리	1	1	0	0
14	旅行	りょこう	1	0	0	4	旅行	여행	1	0	0	0
15	練習	れんしゅう	1	0	0	4	練習	연습	1	1	0	0

日韓同形語			Verb	Adjective
4級	145 語	K	18(1.0%)	4 (0.2%)
		J	15(0.8%)	12 (0.6%)

1872語のうち，0.6%に相当する日本語における形容詞の漢字語。

No	漢字表記	日読み	~suru (Verb)	~na (Adjective)	～的	級	表記	韓読み	~hada (V-Active)	~doeda (V-Passive)	~hada (Adjective)	~的
1	色々	いろいろ	0	1	0	4	色色	색색	0	0	0	0
2	黄色	きいろ	0	1	0	4	黄色	황색	0	0	0	0
3	綺麗	きれい	0	1	0	4	綺麗	기려	0	0	1	0
4	結構	けっこう	1	1	0	4	結構	결구	1	0	0	0
5	元気	げんき	0	1	0	4	元気	원기	0	0	0	0
6	上手	じょうず	0	1	0	4	上手	상수	0	0	0	0
7	丈夫	じょうぶ	0	1	0	4	丈夫	장부	0	0	0	0
8	大変	たいへん	0	1	0	4	大変	대변	0	0	0	0
9	多分	たぶん	0	1	0	4	多分	다분	0	0	1	0
10	下手	へた	0	1	0	4	下手	하수	0	0	0	0
11	便利	べんり	0	1	0	4	便利	편리	0	0	1	0
12	有名	ゆうめい	0	1	0	4	有名	유명	0	0	1	0

日韓同形語			Verb	Adjective
4級	145 語	K	18(1.0%)	4 (0.2%)
		J	15(0.8%)	12 (0.6%)

1872語のうち，1.0%に相当する韓国語における動詞の漢字語。

No	漢字表記	日読み	~suru (Verb)	~na (Adjective)	～的	級	表記	韓読み	~hada (V-Active)	~doeda (V-Passive)	~hada (Adjective)	~的
1	意味	いみ	1	0	0	4	意味	의미	1	0	0	0
2	結構	けっこう	1	1	0	4	結構	결구	1	0	0	0
3	結婚	けっこん	1	0	0	4	結婚	결혼	1	0	0	0
4	交番	こうばん	1	0	0	4	交番	교번	1	0	0	0
5	作文	さくぶん	1	0	0	4	作文	작문	1	0	0	0
6	散歩	さんぽ	1	0	0	4	散歩	산보	1	0	0	0
7	質問	しつもん	1	0	0	4	質問	질문	1	0	0	0
8	写真	しゃしん	0	0	0	4	写真	사진	1	0	0	0
9	授業	じゅぎょう	1	0	0	4	授業	수업	1	0	0	0
10	洗濯	せんたく	1	0	0	4	洗濯	세탁	1	1	0	0
11	掃除	そうじ	1	0	0	4	掃除	소제	1	1	0	0
12	出口	でぐち	0	0	0	4	出口	출구	1	0	0	0
13	電話	でんわ	1	0	0	4	電話	전화	1	0	0	0
14	半分	はんぶん	0	0	0	4	半分	반분	1	1	0	0
15	勉強	べんきょう	1	0	0	4	勉強	면강	1	0	0	0
16	料理	りょうり	1	0	0	4	料理	요리	1	1	0	0
17	旅行	りょこう	1	0	0	4	旅行	여행	1	0	0	0
18	練習	れんしゅう	1	0	0	4	練習	연습	1	1	0	0

日韓同形語			Verb	Adjective
4級	145 語	K	18(1.0%)	4 (0.2%)
		J	15(0.8%)	12 (0.6%)

1872語のうち，0.2%に相当する韓国語における形容詞の漢字語。

No	漢字表記	日読み	~suru (Verb)	~na (Adjective)	～的	級	表記	韓読み	~hada (V-Active)	~doeda (V-Passive)	~hada (Adjective)	~的
1	綺麗	きれい	0	1	0	4	綺麗	기려	0	0	1	0
2	多分	たぶん	0	1	0	4	多分	다분	0	0	1	0
3	便利	べんり	0	1	0	4	便利	편리	0	0	1	0
4	有名	ゆうめい	0	1	0	4	有名	유명	0	0	1	0

No	漢字表記	日読み	~na (Adjective)	~suru (Verb)	～的	級	一致有無	漢字表記	韓読み	~hada (Adjective)	~hada (V-Active)	~doeda (V-Passive)	~的
1	色々	いろいろ	1	0	0	4	0	色色	색색	0	0	0	0
2	黄色	きいろ	1	0	0	4	0	黄色	황색	0	0	0	0
3	綺麗	きれい	1	0	0	4	1	綺麗	기려	1	0	0	0
4	結構	けっこう	1	1	0	4	0	結構	결구	0	1	0	0
5	元気	げんき	1	0	0	4	0	元気	원기	0	0	0	0
6	上手	じょうず	1	0	0	4	0	上手	상수	0	0	0	0
7	丈夫	じょうぶ	1	0	0	4	0	丈夫	장부	0	0	0	0
8	大変	たいへん	1	0	0	4	0	大変	대변	0	0	0	0
9	多分	たぶん	1	0	0	4	1	多分	다분	1	0	0	0
10	下手	へた	1	0	0	4	0	下手	하수	0	0	0	0
11	便利	べんり	1	0	0	4	1	便利	편리	1	0	0	0
12	有名	ゆうめい	1	0	0	4	1	有名	유명	1	0	0	0
13	安心	あんしん	1	1	0	3	0	安心	안심	0	1	1	0
14	安全	あんぜん	1	0	0	3	1	安全	안전	1	0	0	0
15	簡単	かんたん	1	0	0	3	1	簡単	간단	1	0	0	0
16	危険	きけん	1	0	0	3	1	危険	위험	1	0	0	0
17	時代	じだい	1	0	0	3	0	時代	시대	0	0	0	1
18	失礼	しつれい	1	1	0	3	0	失礼	실례	0	1	1	0
19	邪魔	じゃま	1	1	0	3	0	邪魔	사마	0	0	0	0
20	自由	じゆう	1	0	0	3	0	自由	자유	0	0	0	0
21	親切	しんせつ	1	0	0	3	1	親切	친절	1	0	0	0
22	大事	だいじ	1	0	0	3	0	大事	대사	0	0	0	0
23	大抵	たいてい	1	0	0	3	0	大抵	대저	0	0	0	0
24	丁寧	ていねい	1	0	0	3	1	丁寧	정녕	1	0	0	0
25	適当	てきとう	1	1	0	3	1	適当	적당	1	0	0	0
26	特別	とくべつ	1	0	0	3	1	特別	특별	1	0	0	0
27	熱心	ねっしん	1	1	0	3	0	熱心	열심	0	0	0	0
28	反対	はんたい	1	1	0	3	0	反対	반대	0	1	1	0
29	必要	ひつよう	1	0	1	3	1	必要	필요	1	0	0	0
30	複雑	ふくざつ	1	0	0	3	1	複雑	복잡	1	0	0	0
31	普通	ふつう	1	0	0	3	0	普通	보통	0	0	0	0
32	不便	ふべん	1	0	0	3	1	不便	불편	1	0	0	0
33	無理	むり	1	1	0	3	1	無理	무리	1	1	0	0

【「資料Ⅱ」 日韓同形２字漢字語 3,419 語】

〔シート１〕『旧試験』日本語２字漢字語 3,698 語

〔シート２〕 日韓同形２字漢字語 3,419 語

〔シート３〕 韓国語に無い 279 語

No	漢字表記	日読み	品詞	~suru (V)	~na (a)	～的	頻度	級	漢字表記	韓読み
1	明日	あした	名	0	0	0	2228	4	明日	명일
2	医者	いしゃ	名	0	0	0	4660	4	医者	의자
3	椅子	いす	名	0	0	0	257	4	椅子	의자
4	一日	いちにち	名	0	0	0	18614	4	一日	일일
5	一番	いちばん	名・副	0	0	0	15195	4	一番	일번
6	五日	いつか	名	0	0	0	0	4	五日	오일
7	一緒	いっしょ	名, 自サ変	0	0	0	5755	4	一緒	-
8	意味	いみ	名・他サ変	1	0	0	43472	4	意味	의미
9	入口	いりぐち	X	0	0	0	5029	4	入口	입구
10	色々	いろいろ	名・形動, 副詞	0	1	0	274	4	色色	색색
11	上着	うわぎ	名	0	0	0	855	4	上着	-
12	映画	えいが	名	0	0	0	37275	4	映画	영화
13	英語	えいご	名	0	0	0	13038	4	英語	영어
14	鉛筆	えんぴつ	名	0	0	0	1259	4	鉛筆	연필
15	大勢	おおぜい	名	0	0	0	8938	4	大勢	대세
16	叔父	おじ	名	0	0	0	732	4	叔父	숙부
17	伯父	おじ	名	0	0	0	338	4	伯父	백부
18	祖父	おじいさん	名	0	0	0	769	4	祖父	조부
19	大人	おとな	名	0	0	0	11459	4	大人	대인
20	叔母	おば	名	0	0	0	463	4	叔母	숙모
21	伯母	おば	名	0	0	0	208	4	伯母	백모
22	祖母	おばあさん	名	0	0	0	1293	4	祖母	조모
23	音楽	おんがく	名	0	0	0	19777	4	音楽	음악
24	外国	がいこく	名	0	0	0	33746	4	外国	외국
25	会社	かいしゃ	名	0	0	0	121162	4	会社	회사
26	階段	かいだん	名	0	0	0	3680	4	階段	계단
27	学生	がくせい	名	0	0	0	42414	4	学生	학생
28	箇月	かげつ	造	0	0	0	68392	4	箇月	개월
29	菓子	かし・おかし	名	0	0	0	2748	4	菓子	과자
30	風邪	かぜ	名	0	0	0	1634	4	風邪	풍사
31	家族	かぞく	名	0	0	0	47974	4	家族	가족
32	学校	がっこう	名	0	0	0	51047	4	学校	학교
33	家庭	かてい	名	0	0	1	27732	4	家庭	가정
34	家内	かない	名	0	0	0	733	4	家内	가내

35	花瓶	かびん	名	0	0	0	214	4	花瓶	화병
36	漢字	かんじ	名	0	0	0	3337	4	漢字	한자
37	黄色	きいろ	名・形動	0	1	0	1157	4	黄色	황색
38	切手	きって	名	0	0	0	2202	4	切手	절수
39	切符	きっぷ	名	0	0	0	2271	4	切符	-
40	昨日	きのう・さくじつ	名	0	0	0	1046	4	昨日	작일
41	牛肉	ぎゅうにく	名	0	0	0	5211	4	牛肉	우육
42	牛乳	ぎゅうにゅう	名	0	0	0	3157	4	牛乳	우유
43	今日	きょう	名	0	0	0	14588	4	今日	금일
44	教室	きょうしつ	名	0	0	0	10533	4	教室	교실
45	兄弟	きょうだい	名	0	0	0	5215	4	兄弟	형제
46	去年	きょねん	名	0	0	0	8116	4	去年	거년
47	綺麗	きれい	形動	0	1	0	1261	4	綺麗	기려
48	銀行	ぎんこう	名	0	0	0	61818	4	銀行	은행
49	果物	くだもの	名	0	0	0	2088	4	果物	과물
50	靴下	くつした	名	0	0	0	645	4	靴下	-
51	警官	けいかん	名	0	0	0	6432	4	警官	경관
52	今朝	けさ	名	0	0	0	413	4	今朝	금조
53	結構	けっこう	名・形動, 副	1	1	0	1484	4	結構	결구
54	結婚	けっこん	名・自サ変	1	0	0	20300	4	結婚	결혼
55	玄関	げんかん	名	0	0	0	5440	4	玄関	현관
56	元気	げんき	名, 形動	0	1	0	4352	4	元気	원기
57	公園	こうえん	名	0	0	0	8855	4	公園	공원
58	紅茶	こうちゃ	名	0	0	0	723	4	紅茶	홍엽
59	交番	こうばん	名・サ変	1	0	0	769	4	交番	교번
60	午後	ごご	名	0	0	0	89497	4	午後	오후
61	九日	ここのか	名	0	0	0	0	4	九日	구일
62	午前	ごぜん	名	0	0	0	119335	4	午前	오전
63	今年	ことし・こんねん	名	0	0	0	91047	4	今年	금년
64	言葉	ことば	名	0	0	0	53016	4	言葉	-
65	子供	こども	名	0	0	0	51651	4	子供	-
66	今月	こんげつ	名	0	0	0	27252	4	今月	금월
67	今週	こんしゅう	名	0	0	0	1960	4	今週	금주
68	今晩	こんばん	名	0	0	0	197	4	今晩	금만
69	財布	さいふ	名	0	0	0	2039	4	財布	-
70	作文	さくぶん	名・自サ変	1	0	0	1922	4	作文	작문

71	雑誌	ざっし	名	0	0	0	14515	4	雑誌	잡지
72	砂糖	さとう	名	0	0	0	3412	4	砂糖	사탕
73	散歩	さんぽ	名・自サ変	1	0	0	2537	4	散歩	산보
74	時間	じかん	名	0	0	0	50399	4	時間	시간
75	仕事	しごと	名	0	0	0	57933	4	仕事	-
76	辞書	じしょ	名	0	0	0	1693	4	辞書	사서
77	質問	しつもん	名・自他サ変	1	0	0	30320	4	質問	질문
78	字引	じびき	名	0	0	0	38	4	字引	-
79	自分	じぶん	名，代	0	0	0	107942	4	自分	-
80	写真	しゃしん	名	0	0	0	47843	4	写真	사진
81	週間	しゅうかん	名	0	0	0	17972	4	週間	주간
82	授業	じゅぎょう	名・自サ変	1	0	0	13512	4	授業	수업
83	宿題	しゅくだい	名	0	0	0	1679	4	宿題	숙제
84	上手	じょうず	名・形動	0	1	0	1887	4	上手	상수
85	丈夫	じょうぶ	形動	0	1	0	204	4	丈夫	장부
86	醤油	しょうゆ	名	0	0	0	3020	4	醤油	장유
87	食堂	しょくどう	名	0	0	0	3081	4	食堂	식당
88	新聞	しんぶん	名	0	0	0	30764	4	新聞	신문
89	生徒	せいと	名	0	0	0	28901	4	生徒	생도
90	石鹸	せっけん	名	0	0	0	1060	4	石鹸	석감
91	背広	せびろ	名	0	0	0	1865	4	背広	-
92	先月	せんげつ	名	0	0	0	13166	4	先月	선월
93	先週	せんしゅう	名	0	0	0	3822	4	先週	선주
94	先生	せんせい	名	0	0	0	27819	4	先生	선생
95	洗濯	せんたく	名・他サ変	1	0	0	1900	4	洗濯	세탁
96	全部	ぜんぶ	名	0	0	0	6186	4	全部	전부
97	掃除	そうじ	名・他サ変	1	0	0	3176	4	掃除	소제
98	大学	だいがく	名	0	0	0	51971	4	大学	대학
99	大切	たいせつ	形動	0	1	0	3062	4	大切	-
100	台所	だいどころ	名	0	0	0	3239	4	台所	-
101	大変	たいへん	名・形動	0	1	0	4638	4	大変	대변
102	沢山	たくさん	形動・副	0	1	0	8512	4	沢山	-
103	建物	たてもの	名	0	0	0	16280	4	建物	건물
104	煙草	たばこ	名	0	0	0	8674	4	煙草	연초
105	多分	たぶん	名・形動・副詞	0	1	0	1185	4	多分	다분
106	玉子	たまご	名	0	0	0	5058	4	玉子	-

107	地図	ちず	名	0	0	0	5152	4	地図	지도
108	茶色	ちゃいろ	名・形動	0	1	0	872	4	茶色	다색
109	茶碗	ちゃわん	名	0	0	0	165	4	茶碗	다완
110	丁度	ちょうど	副	0	0	0	5900	4	丁度	-
111	一日	ついたち	名	0	0	0	0	4	一日	일일
112	手紙	てがみ	名	0	0	0	14144	4	手紙	-
113	出口	でぐち	名	0	0	0	2061	4	出口	출구
114	天気	てんき	名	0	0	0	2607	4	天気	천기
115	電気	でんき	名	0	0	0	11210	4	電気	전기
116	電車	でんしゃ	名	0	0	0	8697	4	電車	전차
117	電話	でんわ	名，自他サ変	1	0	0	61270	4	電話	전화
118	動物	どうぶつ	名	0	0	1	10687	4	動物	동물
119	十日	とおか	名	0	0	0	0	4	十日	십일
120	時々	ときどき	名・副	0	0	0	2753	4	時々	-
121	時計	とけい	副詞	0	0	0	2925	4	時計	시계
122	友達	ともだち	名	0	0	0	5045	4	友達	-
123	何故	なぜ	名	0	0	0	25170	4	何故	하고
124	七日	なのか	名	0	0	0	0	4	七日	칠일
125	名前	なまえ	名	0	0	0	21613	4	名前	-
126	荷物	にもつ	名	0	0	0	3419	4	荷物	하물
127	灰皿	はいざら	名	0	0	0	364	4	灰皿	-
128	葉書	はがき	名	0	0	0	6157	4	葉書	엽서
129	番号	ばんごう	名	0	0	0	5952	4	番号	번호
130	半分	はんぶん	名	0	0	0	12380	4	半分	반분
131	晩飯	ばんめし	名	0	0	0	62	4	晩飯	-
132	一月	ひとつき	名	0	0	0	19269	4	一月	일월
133	一人	ひとり	名	0	0	0	32043	4	一人	일인
134	病院	びょういん	名	0	0	0	64660	4	病院	병원
135	病気	びょうき	名	0	0	0	16426	4	病気	병기
136	昼飯	ひるめし	名	0	0	0	85	4	昼飯	-
137	封筒	ふうとう	名	0	0	0	1853	4	封筒	봉통
138	豚肉	ぶたにく	名	0	0	0	1083	4	豚肉	돈육
139	二人	ふたり	名	0	0	0	34526	4	二人	이인
140	二日	ふつか	名	0	0	0	0	4	二日	이일
141	風呂	ふろ	名	0	0	0	287	4	風呂	-
142	文章	ぶんしょう	名	0	0	0	6036	4	文章	문장

143	下手	へた	名・形動	0	1	0	657	4	下手	하수
144	部屋	へや	名	0	0	0	17203	4	部屋	-
145	勉強	べんきょう	名・自他サ変	1	0	0	19390	4	勉強	면강
146	弁当	べんとう	名	0	0	0	2739	4	弁当	-
147	便利	べんり	名・形動	0	1	0	2531	4	便利	편리
148	帽子	ぼうし	名	0	0	0	1795	4	帽子	모자
149	本棚	ほんだな	名	0	0	0	407	4	本棚	-
150	本当	ほんとう	名・形動	0	1	0	12757	4	本当	-
151	毎朝	まいあさ	名・副詞	0	0	0	997	4	毎朝	매조
152	毎週	まいしゅう	名・副詞	0	0	0	2620	4	毎週	매주
153	毎月	まいつき	名・副詞	0	0	0	6121	4	毎月	매월
154	毎年	まいとし・まいねん	名・副詞	0	0	0	10850	4	毎年	매년
155	毎日	まいにち	名・副詞	0	0	0	8039	4	毎日	매일
156	毎晩	まいばん	名・副	0	0	0	509	4	毎晩	-
157	三日	みっか	名	0	0	0	0	4	三日	삼일
158	六日	むいか	名	0	0	0	0	4	六日	육일
159	眼鏡	めがね	名	0	0	0	1314	4	眼鏡	안경
160	問題	もんだい	名	0	0	0	320522	4	問題	문제
161	野菜	やさい	名	0	0	0	8557	4	野菜	야채
162	夕方	ゆうがた	名	0	0	0	3758	4	夕方	-
163	夕飯	ゆうはん	名	0	0	0	219	4	夕飯	석반
164	有名	ゆうめい	形動	0	1	0	3825	4	有名	유명
165	八日	ようか	名	0	0	0	0	4	八日	팔일
166	洋服	ようふく	名	0	0	0	1597	4	洋服	양복
167	四日	よっか	名	0	0	0	0	4	四日	사일
168	来月	らいげつ	名	0	0	0	6995	4	来月	내월
169	来週	らいしゅう	名	0	0	0	2196	4	来週	내주
170	来年	らいねん	名	0	0	0	40685	4	来年	내년
171	立派	りっぱ	形動	0	1	0	4157	4	立派	-
172	両親	りょうしん	名	0	0	0	10474	4	両親	양친
173	料理	りょうり	名・他サ変	1	0	0	11141	4	料理	요리
174	旅行	りょこう	名・自サ変	1	0	0	20593	4	旅行	여행
175	練習	れんしゅう	名・他サ変	1	0	0	16650	4	練習	연습
176	廊下	ろうか	名	0	0	0	2497	4	廊下	낭하

No	漢字表記	日読み	~suru (V)	~na (a)	～的	級	漢字表記	韓読み	~hada (V)	~doeda (V)	~hada (a)	~的
1873	愛想	あいそ・あいそう	0	0	0	1	愛想	애상	0	0	0	0
1874	赤字	あかじ	0	0	0	1	赤字	적자	0	0	0	0
1875	悪化	あっか	1	0	0	1	悪化	악화	1	1	0	0
1876	斡旋	あっせん	1	0	0	1	斡旋	알선	1	1	0	0
1877	圧倒	あっとう	1	0	1	1	圧倒	압도	1	1	0	1
1878	圧迫	あっぱく	1	0	0	1	圧迫	압박	1	1	0	0
1879	圧力	あつりょく	0	0	0	1	圧力	압력	0	0	0	0
1880	雨具	あまぐ	0	0	0	1	雨具	우구	0	0	0	0
1881	暗殺	あんさつ	1	0	0	1	暗殺	암살	1	1	0	0
1882	暗算	あんざん	1	0	0	1	暗算	암산	1	0	0	0
1883	暗示	あんじ	1	0	0	1	暗示	암시	1	1	0	0
1884	安静	あんせい	0	1	0	1	安静	안정	1	0	1	0
1885	医院	いいん	0	0	0	1	医院	의원	0	0	0	0
1886	家出	いえで	1	0	0	1	家出	가출	1	0	0	0
1887	異議	いぎ	1	0	0	1	異議	이의	0	0	0	0
1888	幾多	いくた	0	0	0	1	幾多	기다	1	1	0	0
1889	育成	いくせい	1	0	0	1	育成	육성	0	0	0	0
1890	異見	いけん	0	0	0	1	異見	이견	0	0	0	0
1891	意向	いこう	0	0	0	1	意向	의향	0	0	0	0
1892	移行	いこう	1	0	0	1	移行	이행	1	1	0	0
1893	意地	いじ	0	0	0	1	意地	의지	0	0	0	0
1894	移住	いじゅう	1	0	0	1	移住	이주	1	0	0	0
1895	異性	いせい	0	0	0	1	異性	이성	0	0	0	0
1896	遺跡	いせき	0	0	0	1	遺跡	유적	0	0	0	0
1897	依然	いぜん	0	0	0	1	依然	의연	0	0	1	0
1898	依存	いぞん	1	0	0	1	依存	의존	1	1	0	1
1899	委託	いたく	1	0	0	1	委託	위탁	1	1	0	0
1900	一同	いちどう	0	0	0	1	一同	일동	0	0	0	0
1901	一面	いちめん	0	0	1	1	一面	일면	1	0	0	1
1902	一目	いちもく	0	0	0	1	一目	일목	0	0	0	0
1903	一様	いちよう	0	1	0	1	一様	일양	0	0	0	0
1904	一律	いちりつ	0	1	0	1	一律	일률	0	0	0	1
1905	一連	いちれん	0	0	0	1	一連	일련	0	0	0	0
1906	一括	いっかつ	1	0	0	1	一括	일괄	1	1	0	1

1907	一気	いっき	0	0	0	1	一気	일기	0	0	0	0
1908	一見	いっけん	0	0	0	1	一見	일견	1	0	0	0
1909	一切	いっさい	0	0	0	1	一切	일절	0	0	0	0
1910	一心	いっしん	0	0	0	1	一心	일심	1	0	0	0
1911	一帯	いったい	0	0	0	1	一帯	일대	0	0	0	0
1912	一変	いっぺん	1	0	0	1	一変	일변	1	1	0	0
1913	意図	いと	1	0	1	1	意図	의도	1	0	0	1
1914	異動	いどう	1	0	0	1	異動	이동	0	0	0	0
1915	移民	いみん	1	0	0	1	移民	이민	1	0	0	0
1916	意欲	いよく	0	0	1	1	意欲	의욕	0	0	0	1
1917	衣料	いりょう	0	0	0	1	衣料	의료	0	0	0	0
1918	威力	いりょく	0	0	0	1	威力	위력	0	0	0	0
1919	衣類	いるい	0	0	0	1	衣類	의류	0	0	0	0
1920	異論	いろん	0	0	0	1	異論	이론	1	0	0	0
1921	印鑑	いんかん	0	0	0	1	印鑑	인감	0	0	0	0
1922	陰気	いんき	0	1	0	1	陰気	음기	0	0	0	0
1923	隠居	いんきょ	1	0	0	1	隠居	은거	1	0	0	0
1924	団扇	うちわ	0	0	0	1	団扇	단선	0	0	0	0
1925	内訳	うちわけ	0	0	0	1	内訳	내역	0	0	0	0
1926	雨天	うてん	0	0	0	1	雨天	우천	0	0	0	0
1927	運営	うんえい	1	0	0	1	運営	운영	1	1	0	0
1928	運送	うんそう	1	0	0	1	運送	운송	1	1	0	0
1929	運賃	うんちん	0	0	0	1	運賃	운임	0	0	0	0
1930	云々	うんぬん	1	0	0	1	云云	운운	1	0	0	0
1931	運搬	うんぱん	1	0	0	1	運搬	운반	1	1	0	0
1932	運命	うんめい	1	0	1	1	運命	운명	0	0	0	1
1933	運輸	うんゆ	0	0	0	1	運輸	운수	1	0	0	0
1934	運用	うんよう	1	0	0	1	運用	운용	1	1	0	0
1935	英字	えいじ	0	0	0	1	英字	영자	0	0	0	0
1936	映写	えいしゃ	1	0	0	1	映写	영사	1	1	0	0
1937	衛星	えいせい	0	0	0	1	衛星	위성	0	0	0	0
1938	映像	えいぞう	0	0	0	1	映像	영상	0	0	0	0
1939	英雄	えいゆう	0	0	0	1	英雄	영웅	0	0	0	1
1940	閲覧	えつらん	1	0	0	1	閲覧	열람	1	0	0	0
1941	円滑	えんかつ	1	1	0	1	円滑	원활	0	0	1	0
1942	沿岸	えんがん	0	0	0	1	沿岸	연안	0	0	0	0

1943	婉曲	えんきょく	0	1	0	1	婉曲	완곡	0	0	1	0
1944	演出	えんしゅつ	1	0	0	1	演出	연출	1	0	0	0
1945	沿線	えんせん	0	0	0	1	沿線	연선	0	0	0	0
1946	縁談	えんだん	0	0	0	1	縁談	연담	0	0	0	0
1947	遠方	えんぽう	0	0	0	1	遠方	원방	0	0	0	0
1948	円満	えんまん	0	1	0	1	円満	원만	0	0	1	0
1949	応急	おうきゅう	0	0	0	1	応急	응급	1	0	0	0
1950	黄金	おうごん・こがね	0	0	0	1	黄金	황금	0	0	0	0
1951	往診	おうしん	1	0	0	1	往診	왕진	1	0	0	0
1952	応募	おうぼ	1	0	0	1	応募	응모	1	1	0	0
1953	大方	おおかた	0	0	0	1	大方	대방	0	0	0	0
1954	大柄	おおがら	0	1	0	1	大柄	대병	0	0	0	0
1955	大空	おおぞら	0	0	0	1	大空	대공	0	0	0	0
1956	大幅	おおはば	0	1	0	1	大幅	대폭	0	0	0	1
1957	大水	おおみず	0	0	0	1	大水	대수	0	0	0	0
1958	親父	おやじ	0	0	0	1	親父	친부	0	0	0	0
1959	織物	おりもの	0	0	0	1	織物	직물	0	0	0	0
1960	温和	おんわ	0	1	0	1	温和	온화	0	0	1	0
1961	改悪	かいあく	1	0	0	1	改悪	개악	1	1	0	0
1962	海運	かいうん	0	0	0	1	海運	해운	0	0	0	0
1963	外貨	がいか	0	0	0	1	外貨	외화	0	0	0	0
1964	改革	かいかく	1	0	0	1	改革	개혁	1	1	0	1
1965	貝殻	かいがら	0	0	0	1	貝殻	패각	0	0	0	0
1966	外観	がいかん	0	0	0	1	外観	외관	0	0	0	0
1967	階級	かいきゅう	0	0	0	1	階級	개급	0	0	0	1
1968	海峡	かいきょう	0	0	0	1	海峡	해협	0	0	0	0
1969	会見	かいけん	1	0	0	1	会見	회견	1	0	0	0
1970	介護	かいご	1	0	0	1	介護	개호	1	0	0	0
1971	開催	かいさい	1	0	0	1	開催	개최	1	1	0	0
1972	回収	かいしゅう	1	0	0	1	回収	회수	1	1	0	0
1973	改修	かいしゅう	1	0	0	1	改修	개수	1	1	0	0
1974	怪獣	かいじゅう	0	0	0	1	怪獣	괴수	0	0	0	0
1975	解除	かいじょ	1	0	0	1	解除	해제	1	1	0	0
1976	外相	がいしょう	0	0	0	1	外相	외상	0	0	0	0
1977	概説	がいせつ	1	0	0	1	概説	개설	1	0	0	0
1978	回送	かいそう	1	0	0	1	回送	회송	1	1	0	0

1979	階層	かいそう	0	0	0	1	階層	개층	0	0	0	1
1980	開拓	かいたく	1	0	0	1	開拓	개척	1	1	0	0
1981	会談	かいだん	1	0	0	1	会談	회담	1	0	0	0
1982	改定	かいてい	1	0	0	1	改定	개정	1	1	0	0
1983	改訂	かいてい	1	0	0	1	改訂	개정	1	1	0	0
1984	街道	かいどう	0	0	0	1	街道	가도	0	0	0	0
1985	街頭	がいとう	0	0	0	1	街頭	가두	0	0	0	0
1986	該当	がいとう	1	0	0	1	該当	해당	1	1	0	0
1987	介入	かいにゅう	1	0	0	1	介入	개입	1	1	0	0
1988	概念	がいねん	0	0	1	1	概念	개념	0	0	0	1
1989	開発	かいはつ	1	0	0	1	開発	개발	1	1	0	0
1990	海抜	かいばつ	0	0	0	1	海抜	해발	0	0	0	0
1991	解剖	かいぼう	1	0	0	1	解剖	해부	1	1	0	0
1992	概要	がいよう	0	0	0	1	概要	개요	0	0	0	0
1993	外来	がいらい	0	0	0	1	外来	외래	0	0	0	0
1994	回覧	かいらん	1	0	0	1	回覧	회람	1	1	0	0
1995	概略	がいりゃく	0	0	0	1	概略	개략	1	0	0	1
1996	海流	かいりゅう	0	0	0	1	海流	해류	0	0	0	0
1997	改良	かいりょう	1	0	0	1	改良	개량	1	1	0	0
1998	回路	かいろ	0	0	0	1	回路	회로	0	0	0	0
1999	海路	かいろ	0	0	0	1	海路	해로	0	0	0	0
2000	課外	かがい	0	0	0	1	課外	과외	0	0	0	0
2001	学芸	がくげい	0	0	0	1	学芸	학예	0	0	0	0
2002	格差	かくさ	0	0	0	1	格差	격차	0	0	0	0
2003	拡散	かくさん	1	0	0	1	拡散	광산	1	1	0	0
2004	学士	がくし	0	0	0	1	学士	학사	0	0	0	0
2005	各種	かくしゅ	0	0	0	1	各種	각종	0	0	0	0
2006	隔週	かくしゅう	0	0	0	1	隔週	격주	1	0	0	0
2007	確信	かくしん	1	0	0	1	確信	확신	1	0	0	0
2008	革新	かくしん	1	0	1	1	革新	혁신	1	1	0	1
2009	学説	がくせつ	0	0	0	1	学説	학설	0	0	0	0
2010	確定	かくてい	1	0	1	1	確定	확정	1	1	0	1
2011	獲得	かくとく	1	0	0	1	獲得	획득	1	1	0	0
2012	楽譜	がくふ	0	0	0	1	楽譜	악보	0	0	0	0
2013	格別	かくべつ	0	1	0	1	格別	각별	0	0	1	0
2014	確保	かくほ	1	0	0	1	確保	확보	1	1	0	0

2015	革命	かくめい	0	0	1	1	革命	혁명	1	0	0	1
2016	確立	かくりつ	1	0	0	1	確立	확립	1	1	0	0
2017	学歴	がくれき	0	0	0	1	学歴	학력	0	0	0	0
2018	家計	かけい	0	0	0	1	家計	가계	0	0	0	0
2019	加工	かこう	1	0	0	1	加工	가공	1	1	0	0
2020	化合	かごう	1	0	0	1	化合	화합	1	1	0	0

No	漢字表記	日読み	品詞	~suru (V)	~na (a)	～的	頻度	級
… (4・3・2級は省く)								
189	間柄	あいだがら	名	0	0	0	686	1
190	合間	あいま	名	0	0	0	2285	1
191	油絵	あぶらえ	名	0	0	0	837	1
192	甘口	あまくち	名・形動	0	1	0	54	1
193	衣装	いしょう	名	0	0	0	2519	1
194	稲光	いなびかり	名	0	0	0	14	1
195	今更	いまさら	副, 形動ナリ	0	0	0	687	1
196	腕前	うでまえ	名	0	0	0	494	1
197	浮気	うわき	名・形動	1	1	0	334	1
198	獲物	えもの	名	0	0	0	367	1
199	縁側	えんがわ	名	0	0	0	214	1
200	大筋	おおすじ	名	0	0	0	2857	1
201	憶病・臆病	おくびょう	名・形動	0	1	0	146	1
202	介抱	かいほう	名	1	0	0	88	1
203	金槌	かなづち	名	0	0	0	37	1
204	肝心	かんじん	名・形動	0	1	0	156	1
205	勘弁	かんべん	名	1	0	0	311	1
206	気軽	きがる	形動	0	1	0	404	1
207	気障	きざ	名・形動	0	1	0	73	1
208	窮屈	きゅうくつ	名・形動	0	1	0	219	1
209	近眼	きんがん	名	0	0	0	35	1
210	首輪	くびわ	名	0	0	0	116	1
211	家来	けらい	名	0	0	0	81	1
212	小柄	こがら	名・形動	0	1	0	210	1
213	小銭	こぜに	名	0	0	0	400	1
214	事柄	ことがら	名	0	0	0	1157	1
215	言伝	ことづて	名	0	0	0	2	1
216	下心	したごころ	名	0	0	0	112	1
217	地元	じもと	名	0	0	0	39430	1
218	仕様	しよう	名	0	0	0	1269	1
219	辛抱	しんぼう	名	1	0	0	507	1
220	相場	そうば	名	0	0	0	11123	1
221	短大	たんだい	名	0	0	0	4968	1
222	抽選	ちゅうせん	名	1	0	0	3503	1
223	辻褄	つじつま	名	0	0	0	7	1
224	津波	つなみ	名	0	0	0	1648	1
225	手軽	てがる	名・形動	0	1	0	1418	1
226	手頃	てごろ	名・形動	0	1	0	65	1
227	手数	てすう・てかず	名	0	0	0	302	1
228	手近	てぢか	名・形動	0	1	0	27	1
229	手筈	てはず	名	0	0	0	333	1
230	手元	てもと	名	0	0	0	2337	1
231	同士	どうし	名	0	0	0	13171	1
232	時折	ときおり	副	0	0	0	1161	1
233	年頃	としごろ	名	0	0	0	11	1
234	突如	とつじょ	副	0	0	0	441	1
235	殿様	とのさま	名	0	0	0	267	1
236	土俵	どひょう	名	0	0	0	3338	1

237	鳥居	とりい	名	0	0	0	317	1
238	取引	とりひき	名	1	0	0	40746	1
239	問屋	とんや	名	0	0	0	1268	1
240	内緒	ないしょ	名	0	0	0	23	1
241	中程	なかほど	名	0	0	0	181	1
242	名残	なごり	名	0	0	0	655	1
243	西日	にしび	名	0	0	0	60	1
244	黴菌	ばいきん	名	0	0	0	56	1
245	拝借	はいしゃく	名	1	0	0	111	1
246	裸足	はだし	名	0	0	0	260	1
247	初耳	はつみみ	名	0	0	0	159	1
248	浜辺	はまべ	名	0	0	0	589	1
249	半端	はんぱ	名・形動	0	1	0	52	1
250	日陰・日蔭	ひかげ	名	0	0	0	296	1
251	日頃	ひごろ	名，副詞的に	0	0	0	2382	1
252	人柄	ひとがら	名・形動	0	1	0	1865	1
253	一頃	ひところ	名	0	0	0	663	1
254	一筋	ひとすじ	形動・名	0	1	0	858	1
255	日向	ひなた	名	0	0	0	118	1
256	返答	へんとう	名	1	0	0	737	1
257	褒美	ほうび	名	0	0	0	152	1
258	本気	ほんき	名・形動	0	1	0	775	1
259	本音	ほんね	名	0	0	0	5707	1
260	本場	ほんば	名	0	0	0	1299	1
261	真上	まうえ	名	0	0	0	330	1
262	真下	ました	名	0	0	0	248	1
263	丸々	まるまる	名，副スル	0	0	0	249	1
264	身近	みぢか	名・形動	0	1	0	602	1
265	道端	みちばた	名	0	0	0	499	1
266	無口	むくち	名・形動	0	1	0	102	1
267	無茶	むちゃ	名・形動	0	1	0	103	1
268	無闇	むやみ	名・形動	0	1	0	323	1
269	目方	めかた	名	0	0	0	82	1
270	目途	めど	名	0	0	0	8770	1
271	夜具	やぐ	名	0	0	0	25	1
272	役場	やくば	名	0	0	0	2044	1
273	屋敷	やしき	名	0	0	0	574	1
274	横綱	よこづな	名	0	0	0	6316	1
275	余程	よほど	副，形動	0	1	0	1322	1
276	来場	らいじょう	名	1	0	0	379	1
277	了承	りょうしょう	名	1	0	0	8112	1
278	若者	わかもの	名	0	0	0	21101	1
279	和文	わぶん	名	0	0	0	80	1

【「資料Ⅲ」韓国語２字漢字語 2,000 語】

〔シート１〕韓国語の高使用頻度 2,000 語

〔シート２〕韓国語母語話者判定と辞書記述

〔シート３〕韓日同形２字漢字語 1,930 語

〔シート４〕日本語に無い漢字語 70 語

No	韓国語	漢字表記	動詞(-*hada*)	動詞(-*doeda*)	形容詞(-*hada*)	形容詞(-*doeda*)	-的	使用頻度
1	문제	問題	0	0	0	0	0	12877
2	사회	社會	0	0	0	0	1	11763
3	사실	事實	0	0	0	0	0	9017
4	시작	始作	1	1	0	0	0	7898
5	인간	人間	0	0	0	0	1	7536
6	정도	程度	0	0	0	0	0	7131
7	필요	必要	0	0	1	0	0	7108
8	정부	政府	0	0	0	0	0	6671
9	문화	文化	0	0	0	0	1	6006
10	정치	政治	1	0	0	0	1	5901
11	의미	意味	1	0	0	0	0	5733
12	시간	時間	0	0	0	0	1	5727
13	여자	女子	0	0	0	0	0	5559
14	국민	國民	0	0	0	0	1	5507
15	경제	經濟	1	0	0	0	1	5492
16	대학	大學	0	0	0	0	0	5484
17	세계	世界	0	0	0	0	1	5336
18	학교	學校	0	0	0	0	0	5258
19	생활	生活	1	0	0	0	1	5183
20	교육	教育	1	1	0	0	1	5095
21	학생	學生	0	0	0	0	0	4963
22	역사	歷史	0	0	0	0	1	4694
23	방법	方法	0	0	0	0	0	4498
24	주장	主張	1	1	0	0	0	4395
25	관계	關係	1	1	0	0	0	4375
26	국가	國家	0	0	0	0	1	4365
27	정보	情報	0	0	0	0	0	4350
28	여성	女性	0	0	0	0	1	4310

29	관련	關聯	1	1	0	0	0	4248
30	영화	映畵	0	0	0	0	1	4237
31	지역	地域	0	0	0	0	1	4227
32	연구	硏究	1	1	0	0	0	4101
33	시대	時代	0	0	0	0	1	4096
34	사건	事件	0	0	0	0	0	4029
35	이유	理由	0	0	0	0	0	3998
36	내용	內容	0	0	0	0	1	3993
37	현실	現實	0	0	0	0	1	3987
38	선생	先生	0	0	0	0	0	3942
39	사용	使用	1	1	0	0	0	3895
40	이후	以後	0	0	0	0	0	3788
41	변화	變化	1	1	0	0	0	3735
42	과정	過程	0	0	0	0	0	3668
43	세상	世上	0	0	0	0	0	3668
44	작품	作品	0	0	0	0	0	3581
45	민족	民族	0	0	0	0	1	3577
46	언론	言論	0	0	0	0	0	3571
47	모양	模樣	0	0	0	0	0	3566
48	운동	運動	1	0	0	0	0	3528
49	이해	理解	1	1	0	0	0	3508
50	이상	以上	0	0	0	0	0	3417
51	상황	狀況	0	0	0	0	0	3387
52	지금	只今	0	0	0	0	0	3360
53	정신	精神	0	0	0	0	1	3333
54	결과	結果	1	0	0	0	1	3290
55	자연	自然	0	0	1	0	1	3236
56	남자	男子	0	0	0	0	0	3108
57	일반	一般	0	0	0	0	1	3104
58	요구	要求	1	1	0	0	0	3088
59	전체	全體	0	0	0	0	1	3074

60	중심	中心	1	1	0	0	1	3074
61	자체	自體	0	0	0	0	1	3062
62	신문	新聞	0	0	0	0	0	3054
63	자유	自由	0	0	0	0	0	3010
64	관심	關心	1	0	0	0	0	2999
65	이용	利用	1	1	0	0	0	2993
66	발전	發展	1	1	0	0	1	2987
67	국제	國際	0	0	0	0	1	2975
68	결정	決定	1	1	0	0	1	2933
69	존재	存在	1	0	0	0	1	2930
70	대상	對象	0	0	0	0	1	2891
71	개발	開發	1	1	0	0	0	2888
72	상태	狀態	0	0	0	0	0	2872
73	교수	教授	1	0	0	0	0	2864
74	문학	文學	0	0	0	0	1	2834
75	과학	科學	0	0	0	0	1	2814
76	설명	說明	1	1	0	0	1	2814
77	개인	個人	0	0	0	0	1	2788
78	친구	親舊	0	0	0	0	0	2758
79	부분	部分	0	0	0	0	1	2704
80	의식	意識	1	1	0	0	1	2670
81	국내	國內	0	0	0	0	1	2624
82	계획	計劃	1	1	0	0	1	2621
83	노력	努力	1	0	0	0	0	2615
84	선거	選擧	1	1	0	0	0	2609
85	발표	發表	1	1	0	0	0	2566
86	입장	立場	0	0	0	0	0	2561
87	일부	一部	0	0	0	0	0	2546
88	대중	大衆	0	0	0	0	1	2538
89	대표	代表	1	0	0	0	1	2531
90	제도	制度	0	0	0	0	1	2502

91	활동	活動	1	0	0	0	1	2500
92	기업	企業	0	0	0	0	1	2491
93	표현	表現	1	1	0	0	1	2429
94	역할	役割	0	0	0	0	0	2424
95	과거	過去	0	0	0	0	0	2396
96	방송	放送	1	1	0	0	0	2394
97	평가	評價	1	1	0	0	0	2378
98	정책	政策	0	0	0	0	1	2342
99	당시	當時	0	0	0	0	0	2327
100	예술	藝術	0	0	0	0	1	2298
101	기능	機能	1	0	0	0	1	2286
102	현상	現象	0	0	0	0	0	2270
103	금융	金融	0	0	0	0	0	2265
104	영향	影響	0	0	0	0	0	2242
105	행동	行動	1	0	0	0	1	2238
106	도시	都市	0	0	0	0	1	2234
107	계속	繼續	1	1	0	0	1	2232
108	구조	構造	0	0	0	0	1	2182
109	다양	多樣	0	0	1	0	0	2168
110	조사	調査	1	1	0	0	0	2145
111	인식	認識	1	1	0	0	1	2144
112	보도	報道	1	1	0	0	0	2138
113	거리	距離	0	0	0	0	0	2137
114	효과	效果	0	0	0	0	1	2133
115	구성	構成	1	1	0	0	1	2130
116	형태	形態	0	0	0	0	1	2105
117	기자	記者	0	0	0	0	0	2103
118	기술	技術	0	0	0	0	1	2101
119	전화	電話	1	0	0	0	0	2100
120	기본	基本	0	0	0	0	1	2095
121	대답	對答	1	0	0	0	0	2077

122	발견	發見	1	1	0	0	0	2071
123	성격	性格	0	0	0	0	1	2064
124	태도	態度	0	0	0	0	0	2059
125	결혼	結婚	1	0	0	0	0	2052
126	통일	統一	1	1	0	0	1	2051
127	작업	作業	1	0	0	0	0	2030
128	방식	方式	0	0	0	0	0	1984
129	전국	全國	0	0	0	0	1	1974
130	이론	理論	0	0	0	0	1	1968
131	시장	市場	0	0	0	0	0	1933
132	교사	敎師	0	0	0	0	0	1927
133	강조	强調	1	1	0	0	0	1902
134	회의	會議	1	0	0	0	0	1902
135	지배	支配	1	1	0	0	1	1901
136	해결	解決	1	1	0	0	0	1889
137	수준	水準	0	0	0	0	0	1880
138	참여	參與	1	0	0	0	0	1880
139	가족	家族	0	0	0	0	1	1876
140	능력	能力	0	0	0	0	0	1875
141	가치	價値	0	0	0	0	0	1870
142	차이	差異	0	0	0	0	0	1870
143	비판	批判	1	1	0	0	1	1868
144	전통	傳統	0	0	0	0	1	1868
145	순간	瞬間	0	0	0	0	1	1856
146	인사	人事	1	0	0	0	0	1855
147	생산	生産	1	1	0	0	1	1853
148	증가	增加	1	1	0	0	0	1853
149	사상	思想	0	0	0	0	1	1849
150	행위	行爲	0	0	0	0	0	1848

No	韓国語	漢字表記	『標準国語大辞典』見出し語		母語話者判定			
			動詞	形容詞	母語話者１（動詞）	母語話者１（形容詞）	母語話者２（動詞）	母語話者２（形容詞）
1	문제	問題	0	0	0	0	0	0
2	사회	社會	0	0	0	0	0	0
3	사실	事實	0	0	0	0	0	0
4	시작	始作	1	0	1	0	1	0
5	인간	人間	0	0	0	0	0	0
6	정도	程度	0	0	0	0	0	0
7	필요	必要	0	1	0	1	0	1
8	정부	政府	0	0	0	0	0	0
9	문화	文化	0	0	0	0	0	0
10	정치	政治	1	0	1	0	1	0
11	의미	意味	1	0	1	0	1	0
12	시간	時間	0	0	0	0	0	0
13	여자	女子	0	0	0	0	0	0
14	국민	國民	0	0	0	0	0	0
15	경제	經濟	1	0	0	0	0	0
16	대학	大學	0	0	0	0	0	0
17	세계	世界	0	0	0	0	0	0
18	학교	學校	0	0	0	0	0	0
19	생활	生活	1	0	1	0	1	0
20	교육	教育	1	0	1	0	1	0
21	학생	學生	0	0	0	0	1	0
22	역사	歷史	0	0	0	0	1	0
23	방법	方法	0	0	0	0	0	0
24	주장	主張	1	0	1	0	1	0
25	관계	關係	1	0	1	0	1	0
26	국가	國家	0	0	0	0	0	0

27	정보	情報	0	0	0	0	0	0
28	여성	女性	0	0	0	0	0	0
29	관련	關聯	1	0	1	0	1	0
30	영화	映畵	0	0	1	0	1	0
31	지역	地域	0	0	0	0	0	0
32	연구	硏究	1	0	1	0	1	0
33	시대	時代	0	0	0	0	0	0
34	사건	事件	0	0	0	0	0	0
35	이유	理由	0	0	0	0	0	0
36	내용	內容	0	0	0	0	0	0
37	현실	現實	0	0	0	0	0	0
38	선생	先生	0	0	0	0	1	0
39	사용	使用	1	0	1	0	1	0
40	이후	以後	0	0	0	0	0	0
41	변화	變化	1	0	1	0	1	0
42	과정	過程	0	0	0	0	0	0
43	세상	世上	0	0	0	0	0	0
44	작품	作品	0	0	0	0	1	0
45	민족	民族	0	0	0	0	0	0
46	언론	言論	0	0	0	0	0	0
47	모양	模樣	0	0	0	0	0	0
48	운동	運動	1	0	1	0	1	0
49	이해	理解	1	0	1	0	1	0
50	이상	以上	0	0	0	0	0	0
51	상황	狀況	0	0	0	0	0	0
52	지금	只今	0	0	0	0	1	0
53	정신	精神	0	0	0	0	0	0
54	결과	結果	1	0	0	0	0	0
55	자연	自然	0	1	0	0	0	0
56	남자	男子	0	0	0	0	0	0
57	일반	一般	0	0	0	0	0	0

58	요구	要求	1	0	1	0	1	0
59	전체	全體	0	0	0	0	0	0
60	중심	中心	1	0	0	0	0	0
61	자체	自體	0	0	0	0	0	0
62	신문	新聞	0	0	0	0	0	0
63	자유	自由	0	0	0	0	0	0
64	관심	關心	1	0	0	0	0	0
65	이용	利用	1	0	1	0	1	0
66	발전	發展	1	0	1	0	1	0
67	국제	國際	0	0	0	0	0	0
68	결정	決定	1	0	1	0	1	0
69	존재	存在	1	0	1	0	1	0
70	대상	對象	0	0	0	0	0	0
71	개발	開發	1	0	1	0	1	0
72	상태	狀態	0	0	0	0	0	0
73	교수	教授	1	0	1	0	1	0
74	문학	文學	0	0	0	0	1	0
75	과학	科學	0	0	0	0	1	0
76	설명	說明	1	0	1	0	1	0
77	개인	個人	0	0	0	0	0	0
78	친구	親舊	0	0	1	0	1	0
79	부분	部分	0	0	0	0	0	0
80	의식	意識	1	0	1	0	1	0
81	국내	國內	0	0	0	0	0	0
82	계획	計劃	1	0	1	0	1	0
83	노력	努力	1	0	1	0	1	0
84	선거	選擧	1	0	1	0	1	0
85	발표	發表	1	0	1	0	1	0
86	입장	立場	0	0	0	0	0	0
87	일부	一部	0	0	0	0	0	0
88	대중	大衆	0	0	0	0	0	0

89	대표	代表	1	0	1	0	1	0
90	제도	制度	0	0	0	0	0	0
91	활동	活動	1	0	1	0	1	0
92	기업	企業	0	0	0	0	0	0
93	표현	表現	1	0	1	0	1	0
94	역할	役割	0	0	0	0	1	0
95	과거	過去	0	0	0	0	0	0
96	방송	放送	1	0	1	0	1	0
97	평가	評價	1	0	1	0	1	0
98	정책	政策	0	0	0	0	0	0
99	당시	當時	0	0	0	0	0	0
100	예술	藝術	0	0	1	0	1	0
101	기능	機能	1	0	1	0	1	0
102	현상	現象	0	0	0	0	0	0
103	금융	金融	0	0	0	0	0	0
104	영향	影響	0	0	0	0	0	0
105	행동	行動	1	0	1	0	1	0
106	도시	都市	0	0	0	0	0	0
107	계속	繼續	1	0	1	0	1	0
108	구조	構造	0	0	0	0	0	0
109	다양	多樣	0	1	0	1	0	1
110	조사	調査	1	0	1	0	1	0
111	인식	認識	1	0	1	0	1	0
112	보도	報道	1	0	1	0	1	0
113	거리	距離	0	0	0	0	0	0
114	효과	效果	0	0	0	0	0	0
115	구성	構成	1	0	1	0	1	0
116	형태	形態	0	0	0	0	0	0
117	기자	記者	0	0	0	0	1	0
118	기술	技術	0	0	0	0	0	0
119	전화	電話	1	0	1	0	1	0

120	기본	基本	0	0	0	0	0	0
121	대답	對答	1	0	1	0	1	0
122	발견	發見	1	0	1	0	1	0
123	성격	性格	0	0	0	0	0	0
124	태도	態度	0	0	0	0	0	0
125	결혼	結婚	1	0	1	0	1	0
126	통일	統一	1	0	1	0	1	0
127	작업	作業	1	0	1	0	1	0
128	방식	方式	0	0	0	0	0	0
129	전국	全國	0	0	0	0	0	0
130	이론	理論	0	0	0	0	0	0
131	시장	市場	0	0	0	0	0	0
132	교사	教師	0	0	0	0	1	0
133	강조	强調	1	0	1	0	1	0
134	회의	會議	1	0	1	0	1	0
135	지배	支配	1	0	1	0	1	0
136	해결	解決	1	0	1	0	1	0
137	수준	水準	0	0	0	0	0	0
138	참여	參與	1	0	1	0	1	0
139	가족	家族	0	0	0	0	0	0
140	능력	能力	0	0	0	0	0	0
141	가치	價値	0	0	0	0	0	0
142	차이	差異	0	0	0	0	0	0
143	비판	批判	1	0	1	0	1	0
144	전통	傳統	0	0	0	0	0	0
145	순간	瞬間	0	0	0	0	0	0
146	인사	人事	1	0	1	0	1	0
147	생산	生産	1	0	1	0	1	0
148	증가	增加	1	0	1	0	1	0
149	사상	思想	0	0	0	0	0	0
150	행위	行爲	0	0	0	0	1	0

No	漢字表記	韓国語読み	動詞 (-hada/-doeda)	形容詞 (-hada)	- 的 (/-jeog/)	漢字表記	日本語読み	品詞	動詞 (-suru)	形容詞 (-na)	-的 (/-teki/)	頻度(日)
1	問題	문제	0	0	0	問題	もんだい	・	0	0	0	320522
2	社會	사회	0	0	1	社会	しゃかい	・	0	0	1	78643
3	事實	사실	0	0	0	事実	じじつ	名/副	0	0	0	44875
4	始作	시작	1	0	0	—	—	—	—	—	—	—
5	人間	인간	0	0	1	人間	にんげん	・	0	0	1	44374
6	程度	정도	0	0	0	程度	ていど	・	0	0	0	43901
7	必要	필요	0	1	0	必要	ひつよう	名・形動	0	1	1	77214
8	政府	정부	0	0	0	政府	せいふ	・	0	0	0	226219
9	文化	문화	0	0	1	文化	ぶんか	・	0	0	1	32385
10	政治	정치	1	0	1	政治	せいじ	・	0	0	1	91629
11	意味	의미	1	0	0	意味	いみ	名(スル)	1	0	0	43472
12	時間	시간	0	0	1	時間	じかん	・	0	0	0	50399
13	女子	여자	0	0	0	女子	じょし	・	0	0	0	23981
14	國民	국민	0	0	1	国民	こくみん	・	0	0	1	97650
15	經濟	경제	1	0	1	経済	けいざい	名(スル)	1	0	1	130052
16	大學	대학	0	0	0	大学	だいがく	・	0	0	0	51971
17	世界	세계	0	0	1	世界	せかい	・	0	0	1	82469
18	學校	학교	0	0	0	学校	がっこう	・	0	0	0	51047
19	生活	생활	1	0	1	生活	せいかつ	名(スル)	1	0	0	73822
20	教育	교육	1	0	1	教育	きょういく	名(スル)	1	0	1	46728
21	學生	학생	0	0	0	学生	がくせい	・	0	0	0	42414
22	歴史	역사	0	0	1	歴史	れきし	・	0	0	1	33891
23	方法	방법	0	0	0	方法	ほうほう	・	0	0	1	39743
24	主張	주장	1	0	0	主張	しゅちょう	名(スル)	1	0	0	59217
25	關係	관계	1	0	0	関係	かんけい	名(スル)	1	0	0	137511
26	國家	국가	0	0	1	国家	こっか	・	0	0	1	31802
27	情報	정보	0	0	0	情報	じょうほう	・	0	0	0	78459
28	女性	여성	0	0	1	女性	じょせい	・	0	0	1	100290

29	關聯	관련	1	0	0	関連	かんれん	名(スル)	1	0	0	44779
30	映畵	영화	0	0	1	映画	えいが	・	0	0	0	37275
31	地域	지역	0	0	1	地域	ちいき	・	0	0	1	85958
32	硏究	연구	1	0	0	研究	けんきゅう	名(スル)	1	0	0	72568
33	時代	시대	0	0	1	時代	じだい	名/名・形動	0	1	0	89444
34	事件	사건	0	0	0	事件	じけん	・	0	0	0	123659
35	理由	이유	0	0	0	理由	りゆう	・	0	0	0	58182
36	內容	내용	0	0	1	内容	ないよう	・	0	0	0	65992
37	現實	현실	0	0	1	現実	げんじつ	・	0	0	1	22934
38	先生	선생	0	0	0	先生	せんせい	・	0	0	1	27819
39	使用	사용	1	0	0	使用	しよう	名(スル)	1	0	0	29427
40	以後	이후	0	0	0	以後	いご	・	0	0	0	8642
41	變化	변화	1	0	0	変化	へんか	名(スル)	1	0	0	32886
42	過程	과정	0	0	0	過程	かてい	・	0	0	0	12095
43	世上	세상	0	0	0	世上	せじょう	・	0	0	0	・
44	作品	작품	0	0	0	作品	さくひん	・	0	0	0	44554
45	民族	민족	0	0	1	民族	みんぞく	・	0	0	1	16526
46	言論	언론	0	0	0	言論	げんろん	・	0	0	0	2953
47	模樣	모양	0	0	0	模様	もよう	・	0	0	0	12574
48	運動	운동	1	0	0	運動	うんどう	名(スル)	1	0	0	39145
49	理解	이해	1	0	0	理解	りかい	名(スル)	1	0	0	38422
50	以上	이상	0	0	0	以上	いじょう	名/副	0	0	0	67468
51	狀況	상황	0	0	0	状況	じょうきょう	・	0	0	0	56117
52	只今	지금	0	0	0	只今	ただいま	名/感	0	0	0	2/66511
53	精神	정신	0	0	1	精神	せいしん	・	0	0	1	13240
54	結果	결과	1	0	1	結果	けっか	名(スル)	1	0	1	62931
55	自然	자연	0	1	1	自然	しぜん	名/形動/副	0	1	1	20938
56	男子	남자	0	0	0	男子	だんし	・	0	0	0	18511
57	一般	일반	0	0	1	一般	いっぱん	名・形動	0	1	1	38140
58	要求	요구	1	0	0	要求	ようきゅう	名(スル)	1	0	0	47607
59	全體	전체	0	0	1	全体	ぜんたい	名/副	0	0	0	52969

60	中心	중심	1	0	1	中心	ちゅうしん	・	0	0	1	86136
61	自體	자체	0	0	1	自体	じたい	名/副	0	0	0	12408
62	新聞	신문	0	0	0	新聞	しんぶん	・	0	0	0	30764
63	自由	자유	0	0	0	自由	じゆう	名・形動	0	1	0	26789
64	關心	관심	1	0	0	関心	かんしん	名(スル)	1	0	0	27671
65	利用	이용	1	0	0	利用	りよう	名(スル)	1	0	0	66293
66	發展	발전	1	0	1	発展	はってん	名(スル)	1	0	1	23230
67	國際	국제	0	0	1	国際	こくさい	・	0	0	1	71948
68	決定	결정	1	0	1	決定	けってい	名(スル)	1	0	1	55408
69	存在	존재	1	0	1	存在	そんざい	名(スル)	1	0	0	31783
70	對象	대상	0	0	1	対象	たいしょう	・	0	0	0	66959
71	開發	개발	1	0	0	開発	かいはつ	名(スル)	1	0	0	74168
72	狀態	상태	0	0	0	状態	じょうたい	・	0	0	0	47371
73	教授	교수	1	0	0	教授	きょうじゅ	名(スル)	1	0	0	52183
74	文學	문학	0	0	1	文学	ぶんがく	・	0	0	1	9272
75	科學	과학	0	0	1	科学	かがく	・	0	0	1	11021
76	說明	설명	1	0	1	説明	せつめい	名(スル)	1	0	0	66723
77	個人	개인	0	0	1	個人	こじん	・	0	0	1	41883
78	親舊	친구	0	0	0	親旧	しんきゅう	・	0	0	0	・
79	部分	부분	0	0	1	部分	ぶぶん	・	0	0	1	34321
80	意識	의식	1	0	1	意識	いしき	名(スル)	1	0	1	30109
81	國內	국내	0	0	1	国内	こくない	・	0	0	0	62326
82	計劃	계획	1	0	1	計画	けいかく	名(スル)	1	0	1	94728
83	努力	노력	1	0	0	努力	どりょく	名(スル)	1	0	0	41902
84	選擧	선거	1	0	0	選挙	せんきょ	名(スル)	1	0	0	83743
85	發表	발표	1	0	0	発表	はっぴょう	名(スル)	1	0	0	117428
86	立場	입장	0	0	0	立場	たちば	・	0	0	0	49020
87	一部	일부	0	0	0	一部	いちぶ	・	0	0	0	55496
88	大衆	대중	0	0	1	大衆	たいしゅう	・	0	0	1	5247
89	代表	대표	1	0	1	代表	だいひょう	名(スル)	1	0	1	106777
90	制度	제도	0	0	1	制度	せいど	・	0	0	1	79086

91	活動	활동	1	0	1	活動	かつどう	名(スル)	1	0	1	68927
92	企業	기업	0	0	1	企業	きぎょう	・	0	0	0	148653
93	表現	표현	1	0	1	表現	ひょうげん	名(スル)	1	0	0	26623
94	役割	역할	0	0	0	役割	やくわり	・	0	0	0	29219
95	過去	과거	0	0	0	過去	かこ	・	0	0	0	40726
96	放送	방송	1	0	0	放送	ほうそう	名(スル)	1	0	0	32477
97	評價	평가	1	0	0	評価	ひょうか	名(スル)	1	0	0	49454
98	政策	정책	0	0	1	政策	せいさく	・	0	0	0	88023
99	當時	당시	0	0	0	当時	とうじ	・	0	0	0	37046
100	藝術	예술	0	0	1	芸術	げいじゅつ	・	0	0	1	9335

No	漢字表記	韓国語読み	使用頻度	動詞 (-hada/-doeda)	形容詞 (-hada)	-的 (/-jeog/)
1	始作	시작	7898	1	0	0
2	代身	대신	1394	1	0	0
3	受惠	수혜	1379	0	0	0
4	便紙	편지	1049	1	0	0
5	與否	여부	880	0	0	0
6	日製	일제	849	0	0	0
7	部處	부처	786	0	0	0
8	處地	처지	727	0	0	0
9	苦生	고생	688	1	0	0
10	傷處	상처	672	0	0	0
11	形便	형편	666	0	0	0
12	食口	식구	661	0	0	0
13	對備	대비	653	1	0	0
14	促求	촉구	650	1	0	0
15	次例	차례	613	0	0	0
16	威脅	위협	610	1	0	1
17	膳物	선물	578	1	0	0
18	節次	절차	558	0	0	0
19	操心	조심	544	1	0	0
20	近處	근처	538	0	0	0
21	失手	실수	497	1	0	0
22	呼訴	호소	448	1	0	0
23	爲主	위주	444	0	0	0
24	與野	여야	442	0	0	0
25	協助	협조	439	1	0	0
26	祖上	조상	429	0	0	0
27	待接	대접	428	1	0	0
28	窓門	창문	405	0	0	0
29	作定	작정	395	1	0	0
30	病席	병석	391	0	0	0
31	未安	미안	388	0	1	0
32	于先	우선	367	0	0	0
33	團束	단속	364	1	0	0
34	法院	법원	354	0	0	0
35	隣近	인근	350	0	0	0
36	謝過	사과	349	1	0	0
37	容恕	용서	324	1	0	0
38	賂物	뇌물	314	0	0	0
39	便安	편안	314	0	1	0
40	大選	대선	308	0	0	0
41	當付	당부	302	1	0	0
42	惹端	야단	302	1	0	0
43	擧論	거론	300	1	0	0

44	公薦	공천	300	1	0	0
45	箱子	상자	291	0	0	0
46	搖亂	요란	285	0	1	0
47	疲困	피곤	263	0	1	0
48	冊床	책상	255	0	0	0
49	句節	구절	252	0	0	0
50	初盤	초반	250	0	0	0
51	校監	교감	249	0	0	0
52	妓生	기생	247	0	0	0
53	邑內	읍내	245	0	0	0
54	痛症	통증	242	0	0	0
55	額數	액수	227	0	0	0
56	堪當	감당	226	1	0	0
57	異意	이의	226	0	0	0
58	按酒	안주	224	0	0	0
59	措處	조처	222	1	0	0
60	迎入	영입	221	1	0	0
61	親庭	친정	219	0	0	0
62	浦口	포구	219	0	0	0
63	鬚髯	수염	217	0	0	0
64	換率	환율	214	0	0	0
65	外換	외환	209	0	0	0
66	飯饌	반찬	206	0	0	0
67	當場	당장	193	0	0	0
68	手票	수표	192	0	0	0
69	巡使	순사	192	0	0	0
70	指稱	지칭	190	1	0	0

謝　辞

本論文を執筆するにあたり、多くの皆様に大変お世話になりました。この場をお借りして感謝と敬意を申し上げます。

まず、本論文の査読と審査をしてくださいました、玉岡賀津雄先生、鹿島央先生、杉村泰先生、山口県立大学の林炫情先生、筑波大学の李在鎬先生におきましては、大変貴重な御助言をいただき、心より感謝申し上げます。

私が名古屋にくるきっかけを作ってくださった指導教授の玉岡先生には、私が研究できる居場所を与えていただきました。紆余曲折を経て研究生になり、博士後期課程の２度の受験の果てに、ここで研究をはじめることになりました。修士課程での分野とは異なる分野で、気持ちを切り替えて、言語研究の基礎から始めることになった私に、貴重な御指導をしてくださいました。研究に取り組む姿勢や論文の執筆方法、統計処理の方法、データの分析など大変丁寧な御指導を頂き、短い４年間ではありましたが、様々なことを教えていただきました。今後、私が研究者・指導者の道に進むにあたって、見習うべきお姿だと思っております。

また、研究生時代や博士論文を書き上げる課程では、玉岡ゼミの皆さんから励ましていただいたり、早川杏子さん、木村あずささんには、論文の執筆のネイティブチェックでお手伝いして頂いたりと、非母語話者の私にとって大変心強いサポートをしてくださいました。さらに、２年の間支援をして頂いた米山ロータリークラブの名古屋錦会員の皆様におきましては、多くの関心を示していただき、励ましもいただきました。この場をお借りして、感謝をお伝えしたいと思います。

最後に、陰で支えてくれた友人や多くの方々、私が今まで留学を続けられるよう支援してくれた家族がいたからこそ、ここまで来ることができ、研究の成果を出すことができたのだと思います。今まで、応援してくださった全ての方々に、心より深く感謝申し上げます。

2014 年３月

朴 善 嫺